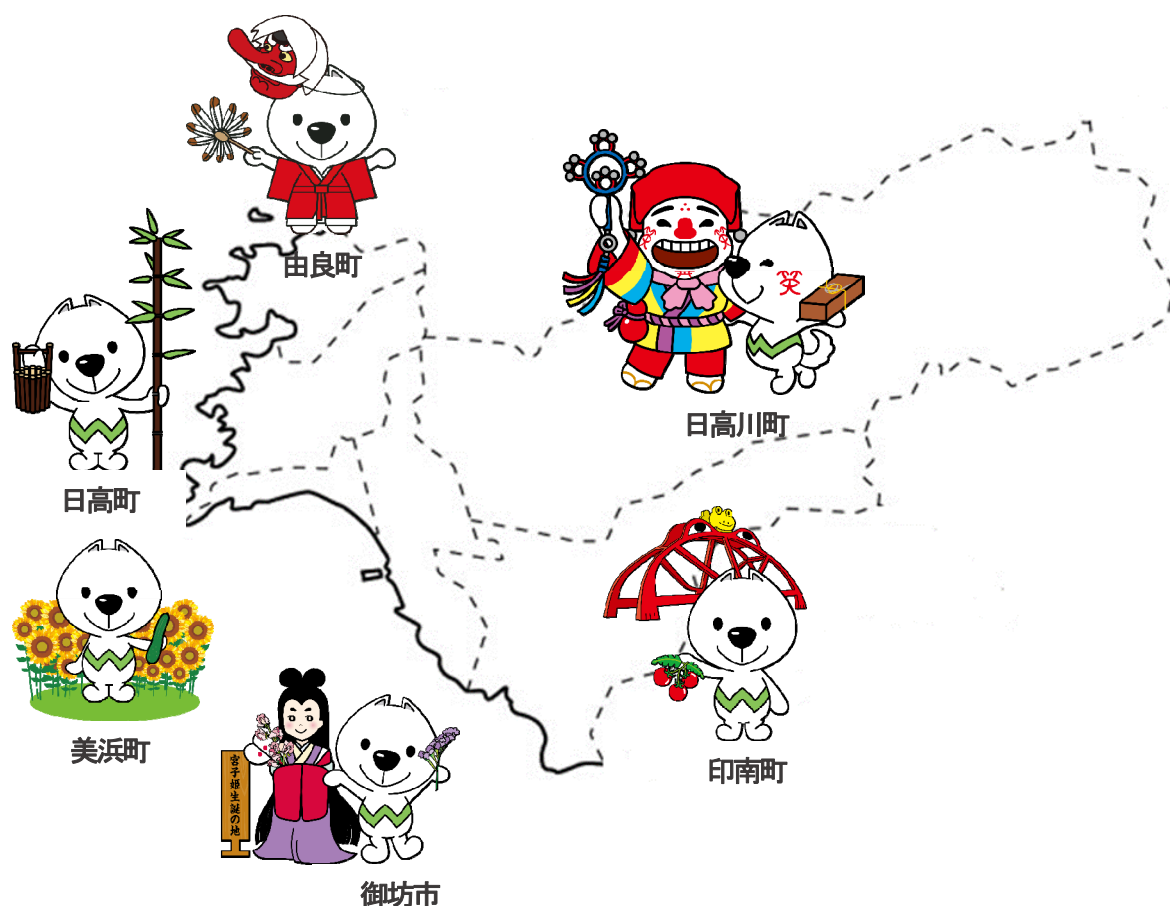


みんなで進めよう！ 健康日高21(第2次)

「健康日高21(第2次)」最終評価報告書



令和5年3月

健康日高21推進協議会

はじめに

平成25年度に健康日高21推進協議会が策定した「健康日高21（第2次）」では、（1）栄養・食生活、（2）運動・身体活動、（3）休養・こころの健康、（4）酒・たばこ、（5）歯・口の健康、（6）生活習慣病の6分野について目標を定め、令和4年度までの10年間を計画期間として、健康づくりに関する様々な施策に取り組んできました。

また、国の「健康日本21（第二次）」や県の「第三次和歌山県健康増進計画」が、他計画との整合性を図るために計画期間を1年延長したことを受け、「健康日高21（第2次）」も令和4年度に1年延長することを決定し、計画期間が令和5年度までとなりました。

令和4年度には、これまでに取り組んできた施策の成果や地域の現状を把握するため、「生活習慣に関する調査（アンケート）」を実施し、策定時（基準値）、平成29年中間評価、健（検）診結果等の各種データと合わせて最終評価を行い、本報告書としてとりまとめました。

今回の最終評価では、目標を「達成」している項目数は少なく、また、目標値と最終評価とに大きな差がみられる項目も多くありました。

今後は、新たに見つかった課題については課題解決に向けて取組を進めるとともに、改善した項目についてもさらなる向上を目指して取り組んでいきますので、皆様の一層の御支援、御協力をお願いします。

令和5年3月

健康日高21推進協議会長
新谷 浩子

目 次

1 「健康日高21（第2次）」推進事業の経過	・・・・・・・・・・ P 1
2 令和4年度健康日高21（第2次）「生活習慣に関する調査」	・・・・・・・・・・ P 2
3 「健康日高21（第2次）」各分野別最終評価	
(1) 栄養・食生活	・・・・・・・・・・ P 10
(2) 運動・身体活動	・・・・・・・・・・ P 28
(3) 休養・こころの健康	・・・・・・・・・・ P 34
(4) 酒・たばこ	・・・・・・・・・・ P 38
(5) 歯・口の健康	・・・・・・・・・・ P 57
(6) 生活習慣病	・・・・・・・・・・ P 63
4 今後の方向性	・・・・・・・・・・ P 81
5 「健康日高21（第2次）」最終評価判定一覧	・・・・・・・・・・ P 82
6 健康日高21推進協議会設置要綱	・・・・・・・・・・ P 86

1 「健康日高21（第2次）」推進事業の経過

「健康日高21（第2次）」推進事業の経過

21世紀における国民健康づくり運動「健康日本21（第二次）」を受け、平成25年度に健康日高21推進協議会で「健康日高21（第2次）」計画を策定し、令和5年度を最終評価年度（令和4年度に1年延長が決定）として地域の環境整備や健康づくりの推進を図ってきた。

年度	重点項目	取 組 内 容
H25年度		「健康日高21（第2次）」策定（基準値、目標値の設定）
H26年度	健（検）診 受診率向上	<ul style="list-style-type: none"> 健康講座「わっはっは笑いの大学Part X」開催 ヘルスポイント事業の実施 メンタルヘルスセミナー開催 「健康日高21推進週間」「健康日高21普及月間」啓発実施 ラッピングバス事業の実施 健康ウォーキングイベント開催
H27年度	健（検）診 受診率向上	<ul style="list-style-type: none"> 健康講座「わっはっは笑いの大学Part X I」開催 ヘルスポイント事業の実施 メンタルヘルスセミナー開催 「健康日高21普及月間」啓発実施 ラッピングバス事業の実施 健康ウォーキングイベント開催
H28年度	健（検）診 受診率向上	<ul style="list-style-type: none"> 健康講座「わっはっは笑いの大学Part X II」開催 ヘルスポイント事業の実施 メンタルヘルスセミナー開催 「健康日高21普及月間」啓発実施 ラッピングバス事業の実施 健康ウォーキングイベント開催
H29年度	健（検）診 受診率向上 たばこ対策 中間評価	<ul style="list-style-type: none"> 健康講座「わっはっは笑いの大学Part X III」開催 ヘルスポイント事業の実施 メンタルヘルスセミナー開催 「健康日高21普及月間」啓発実施 たばこ専門部会の設置 生活習慣に関する調査（アンケート）実施 中間評価の実施 ラッピングバス事業の実施 健康ウォーキングイベント開催
H30年度	健（検）診 受診率向上 たばこ対策	<ul style="list-style-type: none"> 健康講座「わっはっは笑いの大学Part XIV」開催 ヘルスポイント事業の実施 メンタルヘルスセミナー開催 「健康日高21普及月間」啓発実施 たばこ専門部会の開催 健康ウォーキングイベント開催
R1年度	健（検）診 受診率向上 たばこ対策	<ul style="list-style-type: none"> 健康講座「わっはっは笑いの大学Part XV」開催 ヘルスポイント事業の実施 メンタルヘルスセミナー開催 「健康日高21普及月間」啓発実施 たばこ専門部会の開催 健康ウォーキングイベント開催
R2年度	健（検）診 受診率向上 たばこ対策	<ul style="list-style-type: none"> 健康講座「わっはっは笑いの大学Part 16」開催 ヘルスポイント事業の実施 メンタルヘルスセミナー開催 「健康日高21普及月間」啓発実施 たばこ専門部会の開催（書面開催） 健康ウォーキングイベント開催
R3年度	健（検）診 受診率向上 たばこ対策	<ul style="list-style-type: none"> 健康講座「わっはっは笑いの大学Part 17」（新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ中止） ヘルスポイント事業の実施 メンタルヘルスセミナー開催 「健康日高21普及月間」啓発実施 たばこ専門部会（新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ中止） 健康ウォーキングイベント開催
R4年度	健（検）診 受診率向上 たばこ対策 最終評価	<ul style="list-style-type: none"> 健康講座「わっはっは笑いの大学Part 18」開催 ヘルスポイント事業の実施 メンタルヘルスセミナー開催 「健康日高21普及月間」啓発実施 たばこ専門部会の開催 生活習慣に関する調査（アンケート）実施 最終評価の実施 健康ウォーキングイベント開催

令和2年度以降は、笑いの大学の数字をローマ数字からアラビア数字に変更

2 令和4年度健康日高21（第2次）
「生活習慣に関する調査」

令和4年度健康日高21（第2次）「生活習慣に関する調査」

【目的】

平成22年度に実施した生活習慣に関する調査（アンケート）と健康指標をもとに作成した「健康日高21（第2次）」計画の評価を行い、地域の健康度を評価するとともに、今後、新たな施策の展開を行うための基礎データとする。

【調査方法】

令和4年8月に御坊保健所管内1市5町の20歳以上の住民から4,000人（男性1,876人、女性2,124人）を無作為抽出し、インターネットもしくは郵送による自記式で無記名のアンケート調査を実施した。

調査項目は、性別、年齢階級（10歳階級）、身長・体重、理想とする体重、体重維持の心がけ、食習慣、運動習慣、ロコモティブシンドロームの認知度、ストレス、睡眠、飲酒習慣、飲酒の健康影響知識、喫煙習慣、喫煙の健康影響知識、喫煙対策、COPDの認知度、歯の本数、口腔ケア状況、健診受診状況、疾病罹患、メタボリックシンドロームの認知度、ヘルスポイント事業、外出状況、地域活動など45項目である。

なお、食習慣の中で食事バランスの質問、喫煙習慣の中でたばこ製品の種類の質問を新たに追加し、平成29年度に事業が終了したラッピングバスの認知度を削除した。

また、ヘルスポイント事業は40歳以上の人を、外出状況と地域活動については60歳以上の人を対象とした。

【対象者数・回答者数・回答率、性年齢階級別構成割合】

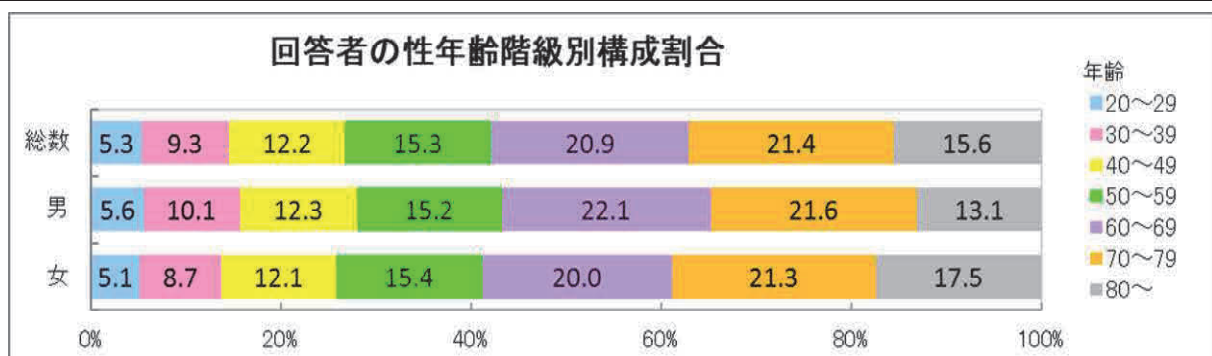
調査の回答者数・回答率は、男性1,111人（59.2%）、女性1,445人（68.0%）の計2,556人（63.9%）であった。性・年齢別の回答率をみると、男女とも70歳代で最も高く、それぞれ75.0%、81.7%であった。逆に最も低かったのは、男女とも20歳代で、それぞれ34.3%、46.8%であった。

また、性年齢階級別構成をみると、60歳以上で約6割を占めた。

対象者数・回答者数・回答率

(人・%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計
総数	対象者数	337	448	608	620	714	697	576	4,000
	回答者数	135	237	312	391	534	548	399	2,556
	回答率	40.1	52.9	51.3	63.1	74.8	78.6	69.3	63.9
男	対象者数	181	230	306	299	345	320	195	1,876
	回答者数	62	112	137	169	245	240	146	1,111
	回答率	34.3	48.7	44.8	56.5	71.0	75.0	74.9	59.2
女	対象者数	156	218	302	321	369	377	381	2,124
	回答者数	73	125	175	222	289	308	253	1,445
	回答率	46.8	57.3	57.9	69.2	78.3	81.7	66.4	68.0



生活習慣に関する調査

該当する番号を○で囲んでください。

問1 あなたの年齢は次のどれに当てはまりますか。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 20～29歳 | 3. 40～49歳 | 5. 60～69歳 | 7. 80歳以上 |
| 2. 30～39歳 | 4. 50～59歳 | 6. 70～79歳 | |

問2 あなたの性別を教えてください。

1. 男 2. 女

問3 現在の身長と体重を書いてください。

1. 現在の身長 (cm) くらい
2. 現在の体重 (kg) くらい

あなたの身長であなたが理想と考える体重はどれくらいですか。

理想の体重 (kg) くらい

問4 あなたは、現在、理想の体重に近づけよう、あるいは理想の体重を維持しようと心がけていますか。(1つだけ選んでください。)

1. はい

↳ それはなぜですか。(1つだけ選んでください。)

1. 体重が変化しはじめたから
2. 病気を指摘されたから
3. 健康のため
4. きれいで(かっこよく)ありたいから

2. いいえ

問5 あなたは現在のご自身の食事をどのように思いますか。

1. 大変よい
2. よい
3. ふつう
4. 少し問題あり
5. 問題が多い

問6 ご自身の食事について、今後どのようにしたいと思っていますか。

1. 今よりよくしたい
2. 今のままでよい
3. 特に考えていない

問7 あなたは、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日2回以上あるのは、週に何日ありますか。

1. ほぼ毎日食べている
2. 週に4～5日は食べている
3. 週に2～3日は食べている
4. ほとんど食べない

《説明》「主食」とは、ごはん・パン・めんなど、「主菜」とは、肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメイン料理、「副菜」とは、野菜・きのこ・いも・海藻などを使った料理です。

問8 あなたは毎日牛乳を飲んでいますか。

1. 毎日牛乳を飲んでいる
2. 週に4～6日は牛乳を飲んでいる
3. 週に1～3日は牛乳を飲んでいる
4. 週に1日未満

次のページへ➡

問 9 あなたは毎日乳製品（ヨーグルト、チーズ等）を摂取していますか。

1. 毎日乳製品を摂取している
2. 週に4～6日は乳製品を摂取している
3. 週に1～3日は乳製品を摂取している
4. 週に1日未満

問 10 あなたは毎食野菜を食べていますか。

1. 毎食野菜を食べている
2. 1日2回野菜を食べている
3. 1日1回野菜を食べている
4. 毎日は食べていない
5. ほとんど食べない

問 11 あなたは果物を食べていますか。

1. 毎日果物を食べている
2. 週に4～6日は果物を食べている
3. 週に1～3日は果物を食べている
4. 週に1日未満

問 12 あなたはうどん、そば、ラーメン等の汁は全部飲みますか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらとも言えない

問 13 あなたは油を使った料理を好みますか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらとも言えない

問 14 あなたは日頃の食生活の中で減塩を実行していますか。

1. している
2. 時々している
3. していない
4. わからない

問 15 あなたは日頃から、食生活について学ぶ機会をもっていますか。

1. はい



どんな機会に学んでいますか。

1. スマホ、インターネット
2. テレビを通じて
3. 雑誌、新聞等を通じて
4. 市町主催の健康教室・料理教室等への参加
5. 民間やNPO等が主催する料理教室等の事業への参加
6. その他（内容: _____）

2. いいえ

問 16 あなたは日頃から、日常生活の中で、健康維持・増進のために意識的に運動をしていますか。

1. いつもしている
2. 時々している
3. 以前はしていたが、現在はしていない
4. 全くしたことがない

問 17 あなたは運動習慣がありますか。

(「運動習慣あり」とは、おおよそ週2回、1回30分以上の運動を1年以上継続している場合をいいます。)

1. 運動習慣がある
2. 条件は満たさないが運動している
3. 健康上の理由で運動はしていない
4. 健康以外の理由で運動はしていない

問 18 あなたは歩数計を使っていますか。

1. はい・・・1日平均 約()歩
2. いいえ

問 19 あなたは「ロコモティブシンドローム」を知っていますか。

1. 「ロコモティブシンドローム」という言葉だけは知っている
2. 「ロコモティブシンドローム」という言葉も意味も知っている
3. 知らない

問 20 あなたは最近1か月間にストレスを感じたことがありましたか。

1. 非常にストレスを感じた
2. ストレスを感じた
3. ストレスはあまり感じなかった
4. ストレスは全く感じなかった

問 21 あなたは睡眠による休養をとれていますか。

1. 十分とれている
2. 十分でないがとれている
3. あまりとれていない
4. 全くとれていない

問 22 あなたは飲酒の習慣がありますか。

1. 以前から(ほとんど)飲んでいない
2. 以前は飲酒の習慣があったが、現在はない
3. 現在飲酒の習慣あり

《説明》飲酒の習慣とは、飲酒頻度として週3回以上で1回に飲む量が酒で1合(ビールで大びん1本、ウイスキーでダブル1杯)以上の場合をいいます。

→ 2・3と回答した方にお尋ねします。

○ 飲酒習慣がある(又はあった)場合、どのような種類のお酒を1日平均してどの程度飲みます(又は飲みました)か。複数該当する場合は、全てに○をつけてください。 其他のお酒の場合は、似た種類の欄に書いてください。(ビールの場合は種類を1つだけ選んで、○をつけてください。)

1. ビール _____ 本
(種類: 大びん633ml、中びん500ml、小びん334ml、カン500ml、カン350ml)
2. 日本酒 _____ 合
3. ウイスキーダブルで _____ 杯 (ブランデーを含む)
4. 焼酎(薄めない量で) _____ 合 (25度の量)
* 35度の場合は1. 4倍してください。
5. ワイン1杯120ml _____ 杯
6. 缶チューハイ350ml (アルコール度数5度) _____ 缶
缶チューハイ350ml (アルコール度数7度) _____ 缶
缶チューハイ350ml (アルコール度数9度) _____ 缶
* 500mlの場合は1. 4倍してください。

次のページへ➡

問 2 3 あなたは適度な飲酒量を知っていますか。

1. 知っている

↳ では、適度な飲酒量とはどれだけですか。

(それぞれの項目について、正しいと思う番号すべてに○をつけてください。)

1. 中びんビール (500ml) 1本
2. 酒 1合
3. ウイスキー・ブランデー ダブル1杯
4. 焼酎 0.5合
5. ワイン グラス2杯
6. 缶チューハイ (アルコール度数5度 約520ml) 1.5缶

2. 知らない

問 2 4 次の病気について、アルコールを飲むと影響があると思いますか。

肝臓障害	1. 思う	2. 思わない	3. わからない
すい炎・糖尿病	1. 思う	2. 思わない	3. わからない
心臓病	1. 思う	2. 思わない	3. わからない
高血圧	1. 思う	2. 思わない	3. わからない
胃腸障害	1. 思う	2. 思わない	3. わからない
がん	1. 思う	2. 思わない	3. わからない
脳機能障害	1. 思う	2. 思わない	3. わからない
睡眠障害・うつ病	1. 思う	2. 思わない	3. わからない
依存症	1. 思う	2. 思わない	3. わからない

問 2 5 あなたはたばこ (加熱式たばこを含む) を吸いますか。

1. 以前から (ほとんど) 吸わない
2. 以前は吸っていたが、今は吸わない
3. 現在喫煙している

↳ 喫煙習慣がある (又はあった) 場合、平均本数と喫煙期間を記入してください。

1日平均 _____ 本 喫煙歴 (期間) _____ 年

3. 現在喫煙していると回答した人にお聞きします。

あなたが吸っているたばこ製品について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 紙巻たばこ
2. 加熱式たばこ
3. その他 (_____)

問 2 6 次の病気について、たばこを吸うとかかりやすくなると思いますか。

肺がん	1. 思う	2. 思わない	3. わからない
喘息	1. 思う	2. 思わない	3. わからない
気管支炎	1. 思う	2. 思わない	3. わからない
心臓病	1. 思う	2. 思わない	3. わからない
脳卒中	1. 思う	2. 思わない	3. わからない
胃潰瘍	1. 思う	2. 思わない	3. わからない
妊娠に関連した異常	1. 思う	2. 思わない	3. わからない
歯周病	1. 思う	2. 思わない	3. わからない

問 2 7 あなたの家庭での喫煙対策についてあてはまるものを1つ選んでください。

1. あなたを含め家族に喫煙者がいない
2. あなたを含め家族に喫煙者はいるが、家の中ではいっさい吸わない
3. あなたを含め家族に喫煙者はいるが、ほかの家族がいる場所では吸わない
4. あなたを含め家族に喫煙者はいるが、喫煙対策は何もしていない (どこでも吸っている)

問28 あなたの職場での喫煙対策についてあてはまるものを1つ選んでください。

1. 誰も吸っていない
2. 職場は禁煙となっている
3. 職場は分煙となっている
4. 特に喫煙対策はしていない
5. 働いていない

《説明》分煙とは、限定した場所を設定し、その場所以外では禁煙する方法

問29 あなたは「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」を知っていますか。

1. 「COPD」という言葉だけは知っている
2. 「COPD」という言葉も意味も知っている
3. 知らない

問30 現在、あなたご自身の歯は何本ありますか。 ※永久歯は、親知らずを含むと32本あります。

1. 自分の歯は_____本（治療によりつめたり、かぶせたりした歯も含みます。）

問31 あなたは過去1年間に歯科検診を受けましたか。

1. 受けた
2. 受けていない

問32 あなたは過去1年間に歯石除去や歯面清掃を受けましたか。

1. 受けた
2. 受けていない

問33 あなたは次の歯間部清掃用器具を使用していますか。

1. 使用している
2. 使用していない

→ 「使用している」を選択した方は、最もよく使用するものを1つだけ選んでください。

1. デンタルフロス・糸（付）ようじ
2. 歯間ブラシ
3. 歯間刺激子（ゴム製の円錐型の清掃用具）
4. 水流式口腔洗浄器（口の中の食べ物のかすを洗い流すことができる器具）
5. 普通のつまようじ

問34 あなたは健診（血圧、尿検査、血液検査、内科診察等）を受けていますか。

1. 年1回は受けている
2. 過去に受けていたが、定期的には受けていない
3. 今まで受けたことがない

→ **2・3と回答した方にお尋ねします。**

○ **健診を年1回受けていないのはどうしてですか。1つ選んでください。**

1. 健康であるため必要ないと思う
2. 受けようと思っているが、ついつい忘れてしまう
3. 面倒だから
4. お金がかかるから
5. 受診場所が遠いから
6. 病気になればいつでも受診できるから
7. 健診日が合わない
8. その他（)

次のページへ➡

問35 あなたは健診で血圧が高いと言われたことがありますか。

1. ない
2. ある
3. わからない

問36 あなたは健診で血圧の治療が必要と言われたことがありますか。

1. ない
2. ある
3. わからない

→ 2. 「ある」場合、治療を受けていますか。

1. 受けている
2. 受けていない
3. わからない

問37 あなたは健診で脂質異常症（高脂血症）と言われたことがありますか。

1. ない
2. ある
3. わからない

問38 あなたは健診で脂質異常症（高脂血症）の治療が必要と言われたことがありますか。

1. ない
2. ある
3. わからない

→ 2. 「ある」場合、治療を受けていますか。

1. 受けている
2. 受けていない
3. わからない

問39 あなたは健診で糖尿病（境界型糖尿病含む）または血糖が高いと言われたことがありますか。

1. ない
2. ある
3. わからない

→ 2. 「ある」場合、事後指導を受けましたか。

1. 受けた
2. 受けなかった
3. わからない

問40 あなたは健診で糖尿病の治療が必要と言われたことがありますか。

1. ない
2. ある
3. わからない

→ 2. 「ある」場合、治療を受けていますか。

1. 受けている
2. 受けていない
3. わからない

問 4 1 あなたが今までかかったことのある又は今かかっている病気を選んでください。

1. 高血圧
2. 脂質異常症（高脂血症）
3. 糖尿病
4. がん
5. 心臓病
6. 脳卒中
7. 腰痛、ひざ等関節痛
8. 骨粗しょう症
9. B型肝炎又はC型肝炎
10. その他
11. ない（健康）

問 4 2 あなたは「メタボリックシンドローム」を知っていますか。

1. 「メタボリックシンドローム」という言葉だけは知っている
2. 「メタボリックシンドローム」という言葉も意味も知っている
3. 知らない

40歳未満の方は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

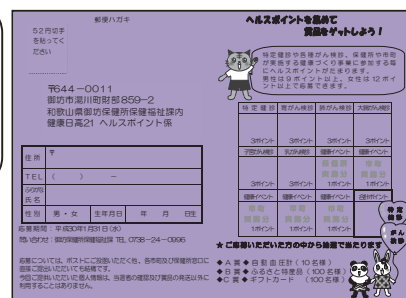
☆ 40歳以上の方は、以下の質問にもご回答をお願いします。

問 4 3 「ヘルスポイント事業」についてお尋ねします。

《説明》ヘルスポイント事業

管内の40歳～74歳の住民を対象に、各市町等が実施する各種健（検）診の受診や健康づくりに関するイベント等への参加で、ヘルスポイントカードにポイントを加算し、ポイントを一定数集め応募した方を対象に抽選で賞品を贈呈するという内容の健康づくりを推進する事業。

1. 応募したことがある
2. 知っているが応募したことはない
3. 知らない



60歳未満の方は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

☆ 60歳以上の方は、以下の質問にもご回答をお願いします。

問 4 4 あなたは買い物や散歩などに積極的に外出する方ですか。

1. そう思う
2. そうは思わない

問 4 5 あなたは何か地域活動（ボランティア、老人クラブなど）をしていますか。

1. している
2. していない

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

3 「健康日高21（第2次）」各分野別最終評価

- (1) 栄養・食生活
- (2) 運動・身体活動
- (3) 休養・こころの健康
- (4) 酒・たばこ
- (5) 歯・口の健康
- (6) 生活習慣病

判定区分	判定基準
◎達成	到達係数 100 以上
○順調に改善	到達係数 50～99
△やや改善	到達係数 1～49
×横ばい・悪化	到達係数 0 以下
—判定不能	データがないため判定不能

※ 到達係数 = $\frac{\text{最終評価} - \text{基準値}}{\text{目標値} - \text{基準値}} \times 100$

(1) 栄養・食生活

1. Body Mass Index (BMI) による肥満判定

自己申告による身長、体重からBMIを求め、日本肥満学会の判定基準に基づき判定を行った結果、適正な範囲(18.5～24.9kg/m²)にあった人の割合は、男性の20歳代と80歳以上、女性の50歳代で7割以上であり、他の年代でも男性の50歳代を除いて、6割以上の人が適正な範囲だった。

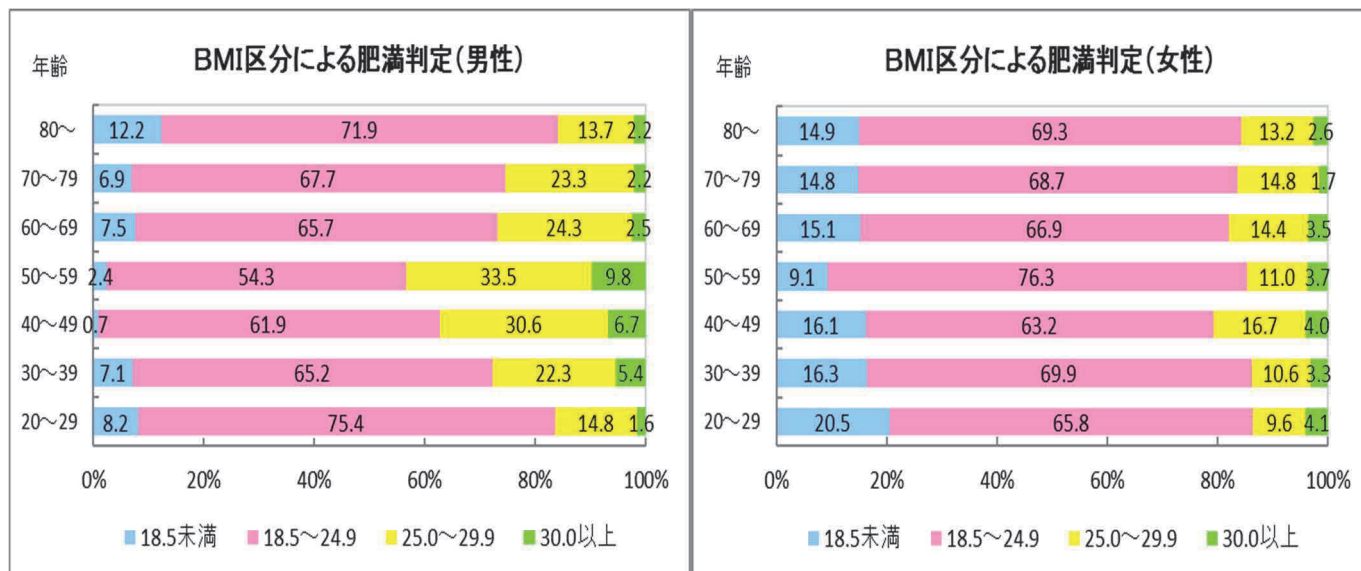
しかし、男性の50歳代では、4割以上の人がBMI 25kg/m²以上の肥満者だった。

BMI 18.5kg/m²未満のやせの人は、男性は80歳以上で、女性は20歳代で割合が高かった。

表(1) - 1

(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
総数	(前回)	(11.1)	(12.7)	(8.6)	(4.3)	(8.5)	(10.6)	(15.8)	(9.7)	(9.3)
	低体重[やせ](18.5未満)	14.9	11.9	9.4	6.3	11.7	11.3	13.9	11.0	10.7
	(前回)	(65.9)	(66.5)	(72.5)	(72.0)	(70.5)	(71.5)	(71.6)	(70.7)	(71.5)
	普通(18.5～24.9)	70.1	67.7	62.7	66.8	66.3	68.2	70.3	67.3	67.1
	(前回)	(16.3)	(14.9)	(14.4)	(19.9)	(18.8)	(16.0)	(12.0)	(16.5)	(16.7)
	①軽度肥満(25.0～29.9)	11.9	16.2	22.7	20.6	18.9	18.5	13.4	18.1	18.7
	(前回)	(6.7)	(5.9)	(4.5)	(3.8)	(2.3)	(1.9)	(0.7)	(3.1)	(2.6)
	②肥満(30.0以上)	3.0	4.3	5.2	6.3	3.1	1.9	2.5	3.6	3.6
	(前回)	(23.0)	(20.8)	(18.8)	(23.7)	(21.1)	(17.9)	(12.7)	(19.6)	(19.2)
①+②	14.9	20.4	27.9	26.9	22.0	20.4	15.8	21.7	22.3	
男	(前回)	(6.8)	(5.5)	(2.2)	(1.8)	(5.2)	(12.1)	(13.8)	(6.6)	(6.7)
	低体重[やせ](18.5未満)	8.2	7.1	0.7	2.4	7.5	6.9	12.2	6.4	6.2
	(前回)	(61.6)	(64.8)	(66.2)	(64.6)	(66.1)	(69.8)	(76.1)	(67.3)	(68.0)
	普通(18.5～24.9)	75.4	65.2	61.9	54.3	65.7	67.7	71.9	65.2	64.5
	(前回)	(23.3)	(20.9)	(25.2)	(29.3)	(25.5)	(17.1)	(10.1)	(22.2)	(22.3)
	①軽度肥満(25.0～29.9)	14.8	22.3	30.6	33.5	24.3	23.3	13.7	24.1	25.0
	(前回)	(8.2)	(8.8)	(6.5)	(4.3)	(3.2)	(1.0)	(0.0)	(3.9)	(3.0)
	②肥満(30.0以上)	1.6	5.4	6.7	9.8	2.5	2.2	2.2	4.3	4.3
	(前回)	(31.5)	(29.7)	(31.7)	(33.5)	(28.7)	(18.1)	(10.1)	(26.1)	(25.3)
①+②	16.4	27.7	37.3	43.3	26.8	25.4	15.8	28.4	29.3	
女	(前回)	(16.1)	(17.7)	(13.8)	(6.3)	(11.4)	(9.3)	(16.9)	(12.2)	(11.3)
	低体重[やせ](18.5未満)	20.5	16.3	16.1	9.1	15.1	14.8	14.9	14.6	14.1
	(前回)	(71.0)	(67.7)	(77.6)	(77.8)	(74.4)	(73.0)	(68.9)	(73.5)	(74.3)
	普通(18.5～24.9)	65.8	69.9	63.2	76.3	66.9	68.7	69.3	68.9	69.0
	(前回)	(8.1)	(10.8)	(5.7)	(12.6)	(12.8)	(15.0)	(13.1)	(11.8)	(12.1)
	①軽度肥満(25.0～29.9)	9.6	10.6	16.7	11.0	14.4	14.8	13.2	13.4	14.0
	(前回)	(4.8)	(3.8)	(2.9)	(3.4)	(1.4)	(2.7)	(1.1)	(2.5)	(2.2)
	②肥満(30.0以上)	4.1	3.3	4.0	3.7	3.5	1.7	2.6	3.1	3.0
	(前回)	(12.9)	(14.6)	(8.6)	(15.9)	(14.2)	(17.7)	(14.2)	(14.3)	(14.4)
①+②	13.7	13.8	20.7	14.6	18.0	16.5	15.8	16.5	17.0	



2. 適正体重の認識

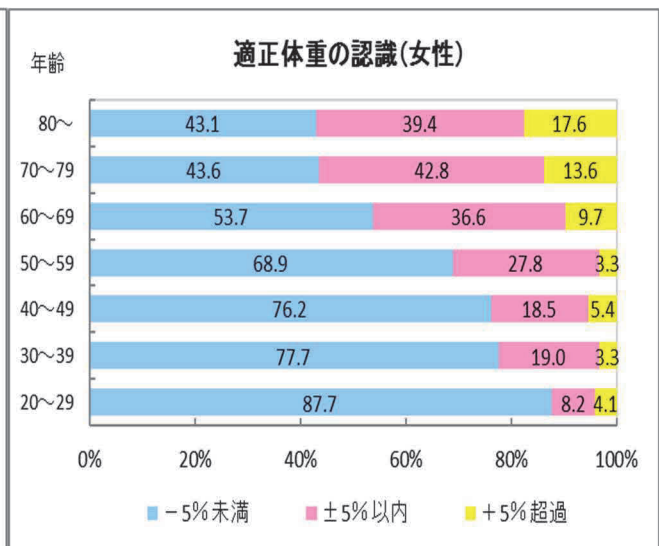
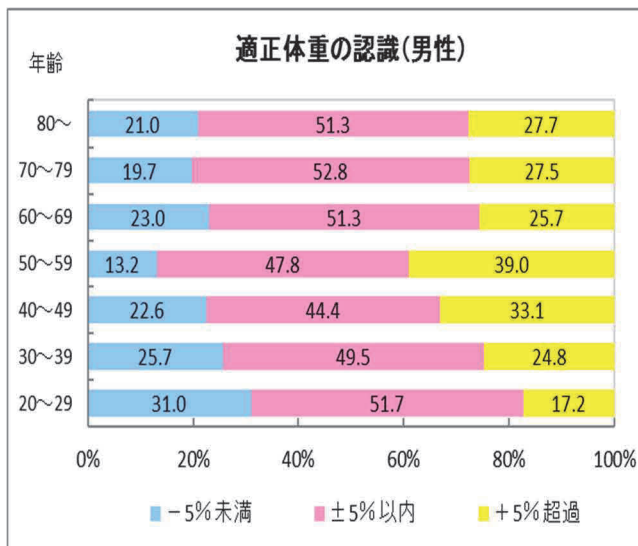
BMI 22kg/m²に相当する体重を適正体重と定義したとき、自分の理想体重との差が±5%以内の場合に適正体重の認識ができているとし、その割合をみると、男性は20歳代と70歳代以上、女性は20～50歳代で前回は上回る結果だった。しかし、若年層の女性は、適正体重との差が-5%未満を理想体重としている人の割合が高く、20歳代と30歳代では、それぞれ87.7%、77.7%だった。40歳代でも76.2%が、適正体重との差が-5%未満を理想体重としていた。

また、全年代において、男性の方が女性よりも自分の適正体重を知っている割合が高く、女性は全ての年代で、-5%未満の割合が±5%以内の割合を上回った。

表(1) - 2

(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
総数	(前回)	(62.9)	(56.3)	(51.6)	(44.7)	(35.9)	(33.2)	(35.8)	(43.0)	(39.9)
	-5%未満	62.6	53.5	52.5	45.0	39.6	32.8	34.5	42.7	40.1
	(前回)	(21.2)	(33.8)	(35.1)	(36.1)	(46.8)	(47.1)	(42.8)	(40.0)	(42.1)
	±5%以内	27.5	33.2	29.9	36.4	43.4	47.3	44.0	39.5	41.0
男	(前回)	(15.9)	(9.9)	(13.3)	(19.2)	(17.3)	(19.6)	(21.4)	(17.1)	(18.0)
	+5%超過	9.9	13.3	17.6	18.6	17.1	19.9	21.5	17.8	18.8
	(前回)	(40.6)	(20.0)	(15.7)	(16.9)	(18.2)	(25.8)	(30.3)	(22.0)	(20.6)
	-5%未満	31.0	25.7	22.6	13.2	23.0	19.7	21.0	21.2	20.0
女	(前回)	(33.3)	(60.0)	(57.5)	(49.4)	(54.5)	(51.6)	(44.9)	(51.6)	(52.3)
	±5%以内	51.7	49.5	44.4	47.8	51.3	52.8	51.3	50.0	49.9
	(前回)	(26.1)	(20.0)	(26.9)	(33.8)	(27.3)	(22.5)	(24.7)	(26.4)	(27.1)
	+5%超過	17.2	24.8	33.1	39.0	25.7	27.5	27.7	28.8	30.0
女	(前回)	(87.3)	(82.9)	(79.3)	(67.0)	(52.0)	(40.0)	(39.3)	(60.3)	(55.7)
	-5%未満	87.7	77.7	76.2	68.9	53.7	43.6	43.1	59.7	55.8
	(前回)	(7.9)	(14.6)	(17.8)	(25.5)	(39.8)	(43.0)	(41.4)	(30.3)	(33.8)
	±5%以内	8.2	19.0	18.5	27.8	36.6	42.8	39.4	31.2	34.1
女	(前回)	(4.8)	(2.4)	(2.9)	(7.5)	(8.3)	(17.0)	(19.3)	(9.4)	(10.5)
	+5%超過	4.1	3.3	5.4	3.3	9.7	13.6	17.6	9.1	10.1



3. 理想体重に近づけよう又は理想体重を維持しようとの心がけ

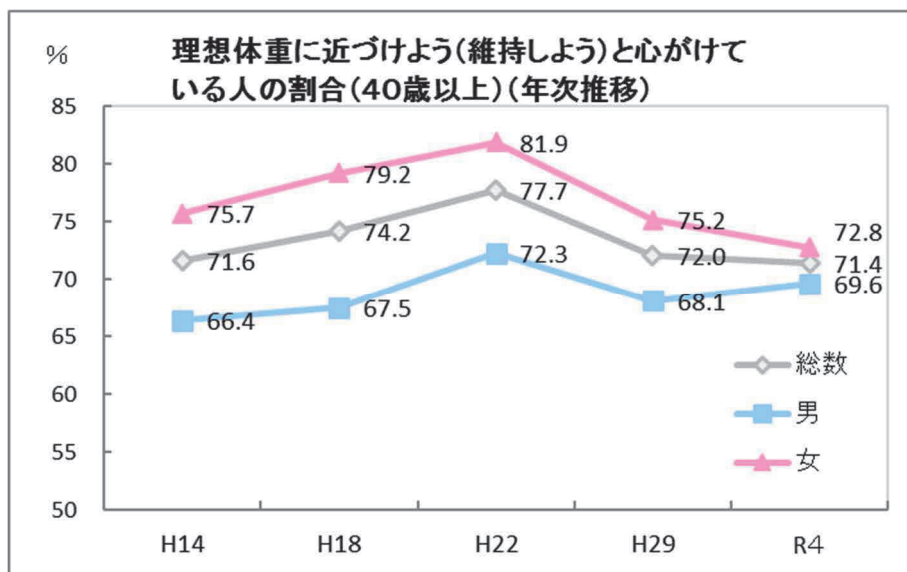
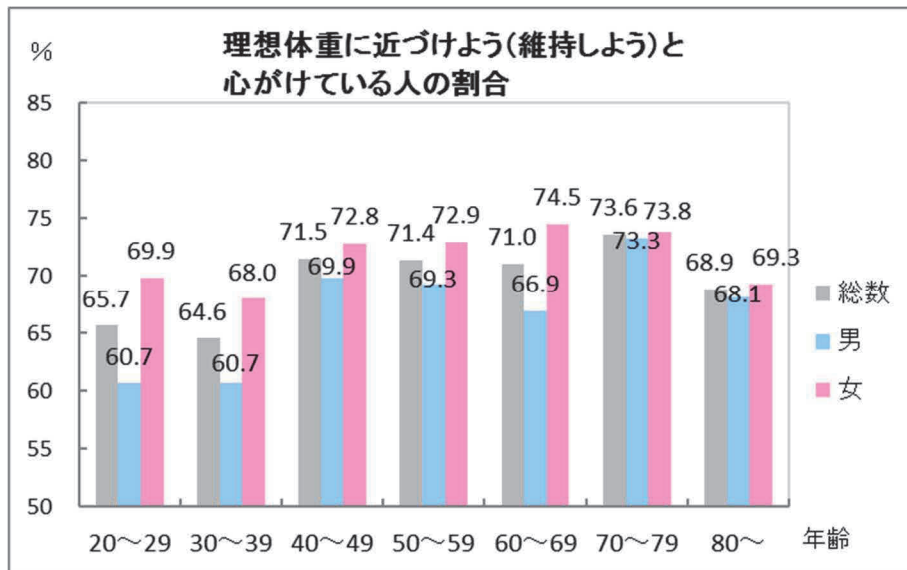
理想の体重に近づけよう又は理想体重を維持しようとの心がけている人の割合は、前回調査と比較して、男性は 68.2% (+1.4 ポイント) で増加し、女性は 72.2% (-2.9 ポイント) で減少した。最も割合が高かったのは、男性は 70 歳代で 73.3%、女性は 60 歳代で 74.5% だった。

また、男性の 20～30 歳代が最も低く、いずれも 60.7% だった。

表(1) - 3

(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
総数	(前回)	(60.4)	(72.9)	(70.9)	(71.8)	(70.3)	(77.1)	(69.5)	(71.4)	(72.0)
	はい	65.7	64.6	71.5	71.4	71.0	73.6	68.9	70.4	71.4
男	(前回)	(51.4)	(66.7)	(63.6)	(62.7)	(68.8)	(70.3)	(75.9)	(66.8)	(68.1)
	はい	60.7	60.7	69.9	69.3	66.9	73.3	68.1	68.2	69.6
女	(前回)	(70.3)	(77.3)	(76.7)	(78.9)	(71.7)	(83.1)	(65.6)	(75.1)	(75.2)
	はい	69.9	68.0	72.8	72.9	74.5	73.8	69.3	72.2	72.8



4. 理想体重に近づけよう又は維持しよう と心がける理由

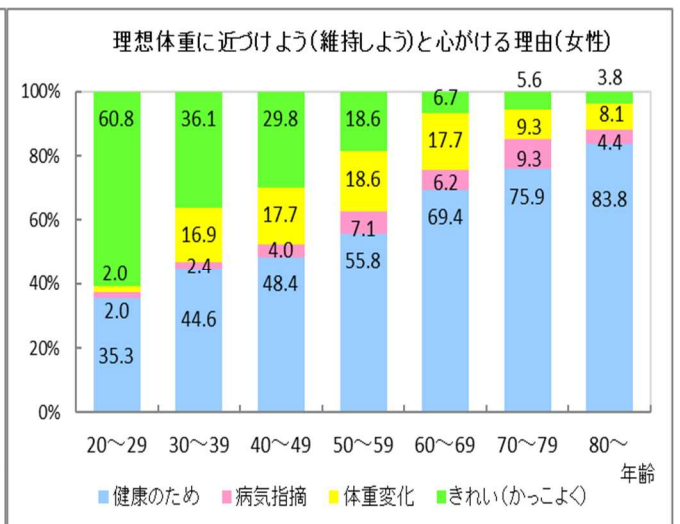
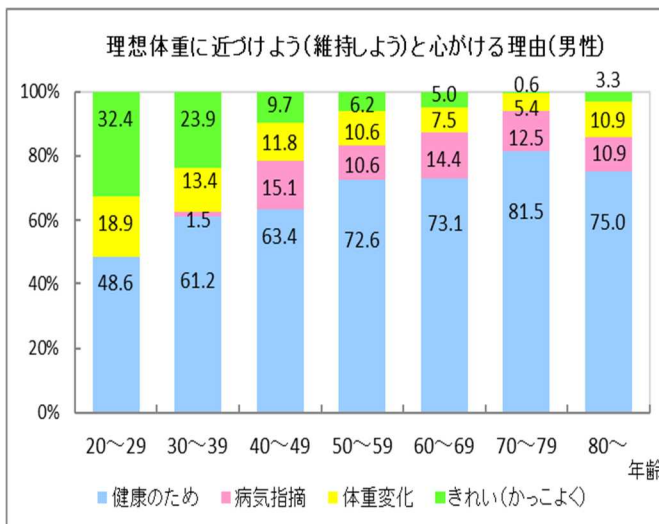
理想体重に近づけよう又は維持しよう と心がける理由についてみると、男性では全ての年代で、女性では30歳以上で、「健康のため」と答えた人の割合が最も高かった。

また、20歳代の女性では、「きれいで(かっこよく) ありたいから」という理由が60.8% (+14.1ポイント) で最も高かった。これらの傾向は前回調査と同様の結果だった。

表(1) - 4

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(33.3)	(46.1)	(55.9)	(67.2)	(74.7)	(79.4)	(82.2)	(68.0)	(72.5)
	健康のため	40.9	52.0	54.8	62.8	71.0	78.4	80.6	67.6	70.7
	(前回)	(6.2)	(3.9)	(4.5)	(10.8)	(9.2)	(11.3)	(8.9)	(8.5)	(9.2)
	病氣指摘	1.1	2.0	8.8	8.6	9.8	10.7	6.7	8.1	9.1
	(前回)	(19.8)	(18.2)	(16.7)	(12.0)	(10.1)	(7.8)	(8.0)	(11.8)	(10.6)
	体重変化	9.1	15.3	15.2	15.2	13.3	7.6	9.1	11.9	11.7
(前回)	(40.7)	(31.8)	(23.0)	(10.0)	(6.0)	(1.6)	(0.9)	(11.6)	(7.7)	
きれいで(かっこよく)	48.9	30.7	21.2	13.4	6.0	3.4	3.6	12.4	8.5	
男	(前回)	(50.0)	(53.2)	(64.4)	(69.3)	(46.5)	(77.4)	(78.2)	(70.7)	(73.9)
	健康のため	48.6	61.2	63.4	72.6	73.1	81.5	75.0	71.6	74.1
	(前回)	(11.1)	(4.8)	(3.4)	(14.9)	(12.9)	(13.1)	(12.6)	(11.2)	(11.9)
	病氣指摘	0.0	1.5	15.1	10.6	14.4	12.5	10.9	11.1	12.8
	(前回)	(5.6)	(12.9)	(10.3)	(7.9)	(7.1)	(8.0)	(8.0)	(8.4)	(8.1)
	体重変化	18.9	13.4	11.8	10.6	7.5	5.4	10.9	9.6	8.6
(前回)	(33.3)	(29.0)	(21.8)	(7.9)	(3.5)	(1.5)	(1.1)	(9.7)	(6.2)	
きれいで(かっこよく)	32.4	23.9	9.7	6.2	5.0	0.6	3.3	7.7	4.5	
女	(前回)	(20.0)	(41.3)	(50.4)	(65.8)	(73.2)	(80.9)	(84.9)	(66.1)	(71.5)
	健康のため	35.3	44.6	48.4	55.8	69.4	75.9	83.8	64.6	68.2
	(前回)	(2.2)	(3.3)	(5.2)	(8.2)	(6.1)	(9.8)	(6.3)	(6.6)	(7.3)
	病氣指摘	2.0	2.4	4.0	7.1	6.2	9.3	4.4	5.9	6.5
	(前回)	(31.1)	(21.7)	(20.7)	(14.6)	(12.6)	(7.7)	(7.9)	(14.3)	(12.5)
	体重変化	2.0	16.9	17.7	18.6	17.7	9.3	8.1	13.6	14.0
(前回)	(46.7)	(33.7)	(23.7)	(11.4)	(8.1)	(1.6)	(0.8)	(13.0)	(8.8)	
きれいで(かっこよく)	60.8	36.1	29.8	18.6	6.7	5.6	3.8	15.9	11.3	



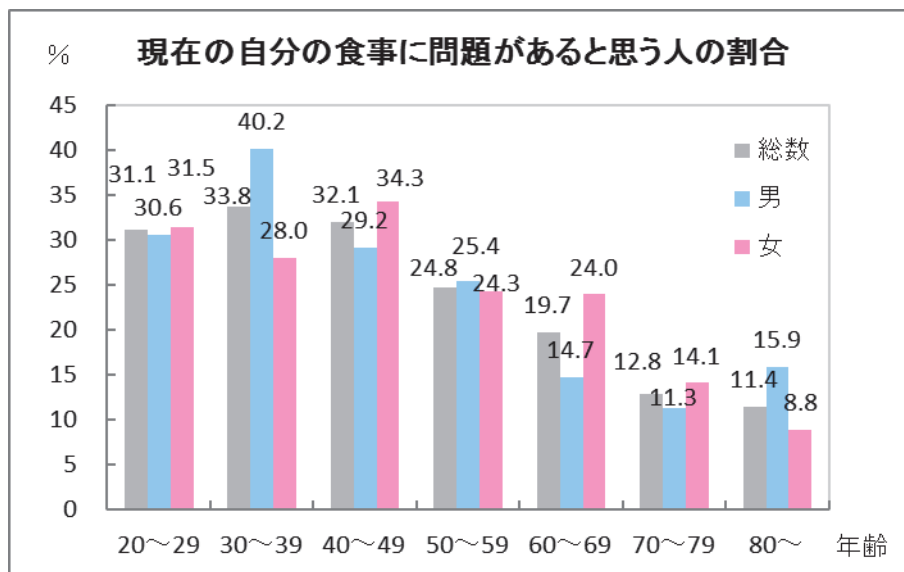
5. 現在の自分の食事

現在の自分の食事については、「ふつう」と答えた人の割合が、男女とも全ての年代で最も高かった。
また、現在の自分の食事に「少し問題がある」と答えた人の割合は、男性は30歳代、女性は40歳代で3割を超えた。

表(1) - 5

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	大変よい	5.9	4.2	5.1	4.1	3.2	4.0	7.4	4.6	4.6
	よい	18.5	15.2	11.9	15.9	20.1	22.2	17.0	17.9	18.1
	ふつう	44.4	46.8	51.0	55.2	57.0	60.9	64.2	56.3	58.1
	(前回)	(22.6)	(29.6)	(26.1)	(23.1)	(13.9)	(9.9)	(6.7)	(17.3)	(15.5)
	①少し問題	23.7	28.3	27.6	21.0	16.1	11.4	8.6	17.6	16.1
	(前回)	(7.3)	(7.2)	(5.0)	(4.0)	(2.4)	(2.5)	(2.4)	(3.8)	(3.1)
	②問題が多い	7.4	5.5	4.5	3.8	3.6	1.5	2.8	3.5	3.1
	(前回)	(29.9)	(36.8)	(31.1)	(27.1)	(16.3)	(12.4)	(9.1)	(21.1)	(18.6)
①+②	31.1	33.8	32.1	24.8	19.7	12.8	11.4	21.2	19.2	
男	大変よい	9.7	4.5	8.8	4.1	4.9	6.3	10.3	6.5	6.5
	よい	16.1	17.0	13.9	20.1	30.2	25.8	17.2	21.9	22.9
	ふつう	43.5	38.4	48.2	50.3	50.2	56.7	56.6	50.6	52.6
	(前回)	(19.2)	(34.4)	(19.7)	(18.2)	(15.6)	(7.9)	(9.8)	(16.3)	(14.2)
	①少し問題	24.2	33.9	24.1	21.9	11.4	10.8	11.7	17.5	15.1
	(前回)	(5.5)	(6.5)	(6.3)	(5.5)	(3.5)	(4.5)	(2.5)	(4.7)	(4.4)
	②問題が多い	6.5	6.3	5.1	3.6	3.3	0.4	4.1	3.5	3.0
	(前回)	(24.7)	(40.9)	(26.0)	(23.7)	(19.1)	(12.4)	(12.3)	(21.0)	(18.6)
①+②	30.6	40.2	29.2	25.4	14.7	11.3	15.9	21.0	18.1	
女	大変よい	2.7	4.0	2.3	4.1	1.7	2.3	5.6	3.2	3.1
	よい	20.5	13.6	10.3	12.6	11.5	19.3	16.9	14.8	14.5
	ふつう	45.2	54.4	53.1	59.0	62.8	64.3	68.7	60.8	62.3
	(前回)	(26.6)	(26.2)	(31.1)	(26.9)	(12.4)	(11.6)	(4.9)	(18.0)	(16.6)
	①少し問題	23.3	23.2	30.3	20.3	20.1	11.8	6.8	17.7	16.9
	(前回)	(9.4)	(7.7)	(3.9)	(2.9)	(1.4)	(0.8)	(2.4)	(3.1)	(2.1)
	②問題が多い	8.2	4.8	4.0	4.1	3.8	2.3	2.0	3.5	3.1
	(前回)	(36.0)	(33.9)	(35.0)	(29.8)	(13.8)	(12.4)	(7.3)	(21.1)	(18.7)
①+②	31.5	28.0	34.3	24.3	24.0	14.1	8.8	21.3	20.0	



6. 今後の自分の食事

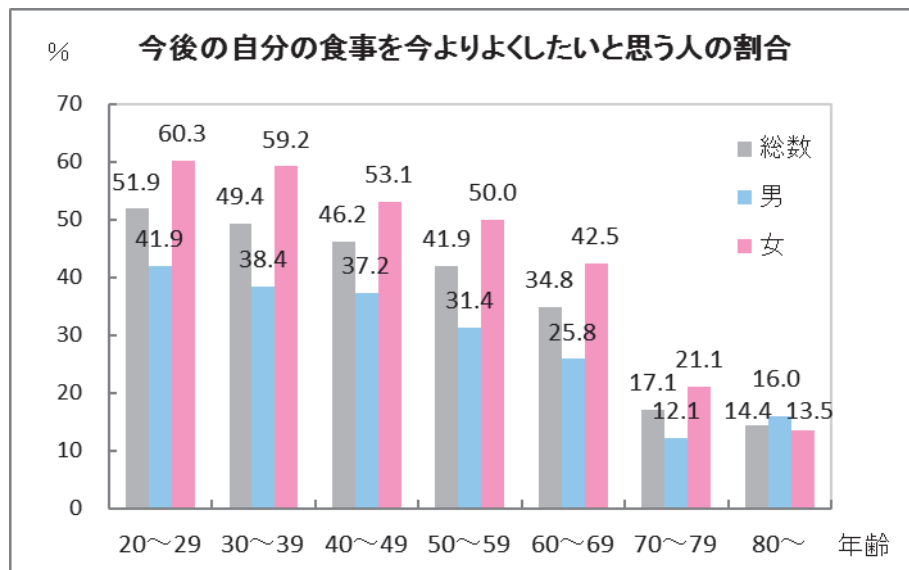
今後の自分の食事について、「今よりよくしたい」と答えた人の割合は、男女ともに20歳代で最も高く、男性41.9% (+7.7ポイント)、女性60.3% (-0.6ポイント) だった。

また、「今よりよくしたい」と答えた人の割合が、前回より最も増加したのは60歳代女性で、11.3ポイント増加した。

表(1) - 6

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(46.7)	(52.2)	(47.8)	(42.2)	(27.1)	(19.9)	(10.2)	(32.1)	(28.9)
	今よりよくしたい	51.9	49.4	46.2	41.9	34.8	17.1	14.4	32.6	29.6
	今のまま	31.9	27.4	33.7	38.9	43.5	60.4	60.5	45.7	48.6
	特になし	16.3	23.2	20.2	19.2	21.7	22.5	25.1	21.7	21.8
男	(前回)	(34.2)	(41.9)	(35.7)	(32.1)	(22.7)	(15.8)	(12.4)	(25.9)	(23.5)
	今よりよくしたい	41.9	38.4	37.2	31.4	25.8	12.1	16.0	26.0	23.4
	今のまま	41.9	33.0	40.1	45.6	53.3	65.4	60.4	51.4	54.2
	特になし	16.1	28.6	22.6	23.1	20.9	22.5	23.6	22.7	22.4
女	(前回)	(60.9)	(59.5)	(57.3)	(50.2)	(31.2)	(23.3)	(8.8)	(37.1)	(33.1)
	今よりよくしたい	60.3	59.2	53.1	50.0	42.5	21.1	13.5	37.7	34.2
	今のまま	23.3	22.4	28.6	33.8	35.1	56.4	60.6	41.4	44.3
	特になし	16.4	18.4	18.3	16.2	22.5	22.4	25.9	20.9	21.4



7. 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べているか

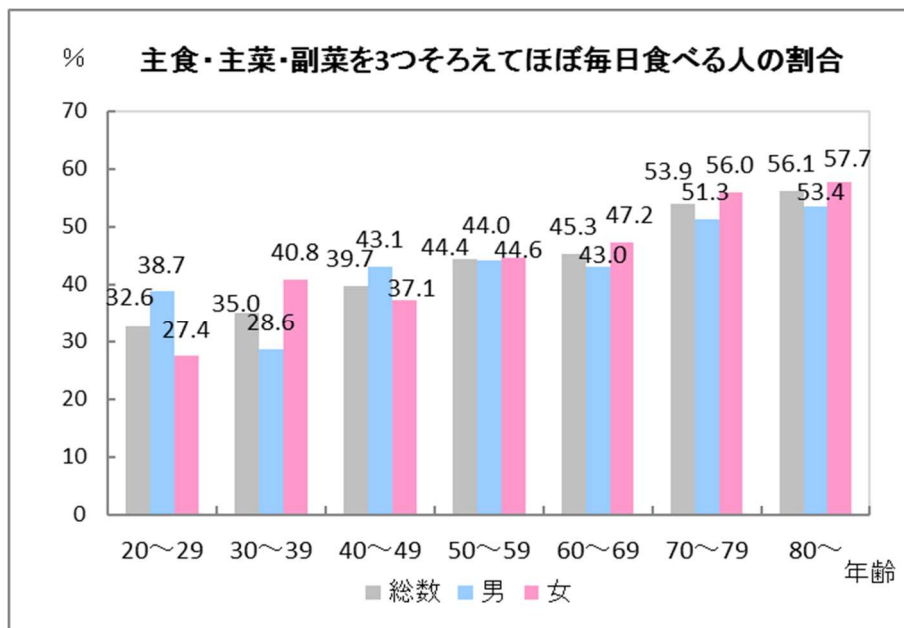
主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日2回以上あるかとの問いに対し、「ほぼ毎日」と答えた人の割合は、男女ともに70歳以上で50%を超えた。

また、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることについて、「ほとんど食べない」と答えた人の割合は、20歳代女性で最も高く、2割を超えた。

表(1) - 7

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	ほぼ毎日	32.6	35.0	39.7	44.4	45.3	53.9	56.1	46.3	48.4
	週4~5日	23.0	26.2	23.4	23.3	23.9	23.6	17.8	22.9	22.5
	週2~3日	28.9	24.5	26.9	21.3	24.8	18.3	21.6	22.8	22.3
	ほとんど食べない	15.6	14.3	9.9	11.0	6.0	4.2	4.6	7.9	6.8
男	ほぼ毎日	38.7	28.6	43.1	44.0	43.0	51.3	53.4	44.6	47.0
	週4~5日	22.6	26.8	21.9	19.6	24.6	23.3	15.1	22.1	21.5
	週2~3日	30.6	27.7	23.4	22.0	26.2	19.6	24.0	23.9	23.0
	ほとんど食べない	8.1	17.0	11.7	14.3	6.1	5.8	7.5	9.4	8.6
女	ほぼ毎日	27.4	40.8	37.1	44.6	47.2	56.0	57.7	47.7	49.6
	週4~5日	23.3	25.6	24.6	26.1	23.3	23.8	19.4	23.5	23.3
	週2~3日	27.4	21.6	29.7	20.7	23.6	17.2	20.2	22.0	21.7
	ほとんど食べない	21.9	12.0	8.6	8.6	5.9	3.0	2.8	6.8	5.4



8. 野菜摂取頻度

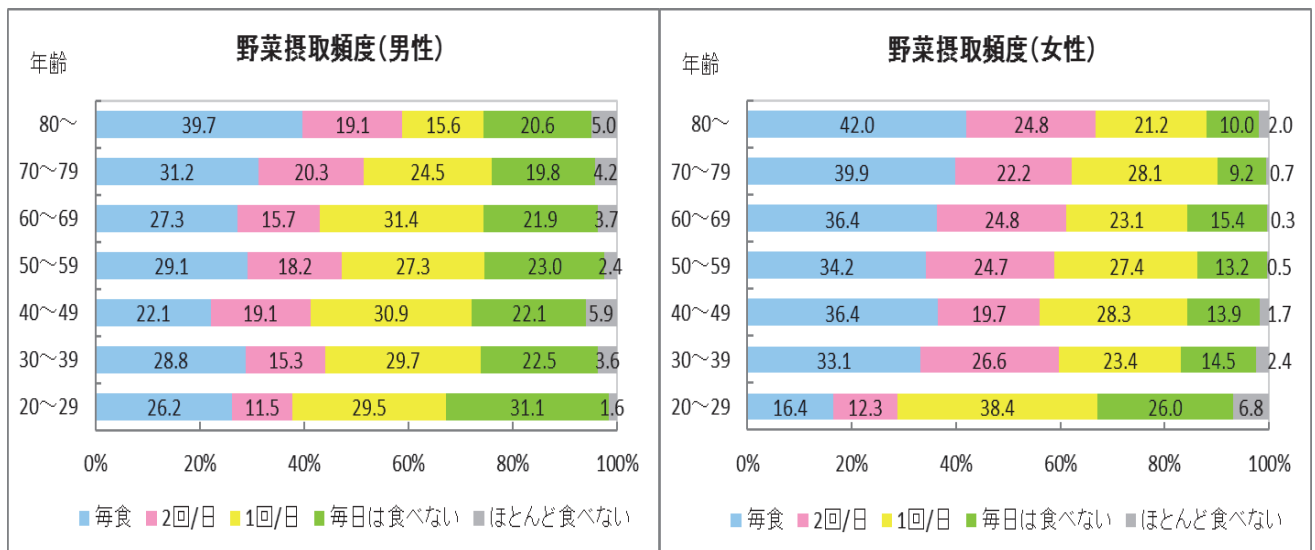
野菜を「1日1回以上」食べると答えた人の割合は、全体は80.5%（-3.7ポイント）、男性は74.0%（-4.6ポイント）、女性は85.5%（-3.1ポイント）で、前回調査と比較すると減少した。

また、「毎食食べる」と答えた人の割合は、男性は30歳代、女性は40歳代で、前回よりも増加した。

表(1) - 8

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(28.7)	(32.6)	(31.3)	(38.4)	(38.0)	(41.6)	(44.4)	(37.7)	(38.8)
	①毎食	20.9	31.1	30.1	32.0	32.2	36.1	41.2	33.4	34.5
	②2回/日	11.9	21.3	19.4	21.9	20.6	21.4	22.8	20.8	21.3
	③1回/日	34.3	26.4	29.4	27.3	26.9	26.5	19.2	26.3	25.8
	(前回)	(76.5)	(77.2)	(80.7)	(85.2)	(84.2)	(87.8)	(89.4)	(84.2)	(85.5)
	①+②+③	67.2	78.7	79.0	81.3	79.7	84.0	83.1	80.5	81.6
	毎日食べない	28.4	18.3	17.5	17.4	18.4	13.8	13.8	17.0	16.1
男	(前回)	(34.2)	(21.5)	(31.9)	(32.7)	(31.5)	(39.3)	(44.7)	(34.1)	(35.4)
	①毎食	26.2	28.8	22.1	29.1	27.3	31.2	39.7	29.5	29.8
	②2回/日	11.5	15.3	19.1	18.2	15.7	20.3	19.1	17.7	18.3
	③1回/日	29.5	29.7	30.9	27.3	31.4	24.5	15.6	26.9	26.4
	(前回)	(75.3)	(67.7)	(75.9)	(77.6)	(79.9)	(81.6)	(85.4)	(78.6)	(80.0)
	①+②+③	67.2	73.9	72.1	74.5	74.4	75.9	74.5	74.0	74.5
	毎日食べない	31.1	22.5	22.1	23.0	21.9	19.8	20.6	22.0	21.4
女	(前回)	(22.2)	(40.5)	(30.7)	(43.0)	(43.9)	(43.5)	(44.2)	(40.5)	(41.6)
	①毎食	16.4	33.1	36.4	34.2	36.4	39.9	42.0	36.5	38.0
	②2回/日	12.3	26.6	19.7	24.7	24.8	22.2	24.8	23.1	23.4
	③1回/日	38.4	23.4	28.3	27.4	23.1	28.1	21.2	25.9	25.4
	(前回)	(77.7)	(84.0)	(84.3)	(91.3)	(88.2)	(92.8)	(91.8)	(88.6)	(89.8)
	①+②+③	67.1	83.1	84.4	86.3	84.3	90.2	88.0	85.5	86.9
	毎日食べない	26.0	14.5	13.9	13.2	15.4	9.2	10.0	13.1	12.2
ほとんど食べない	6.8	2.4	1.7	0.5	0.3	0.7	2.0	1.4	1.0	



9. 牛乳摂取頻度

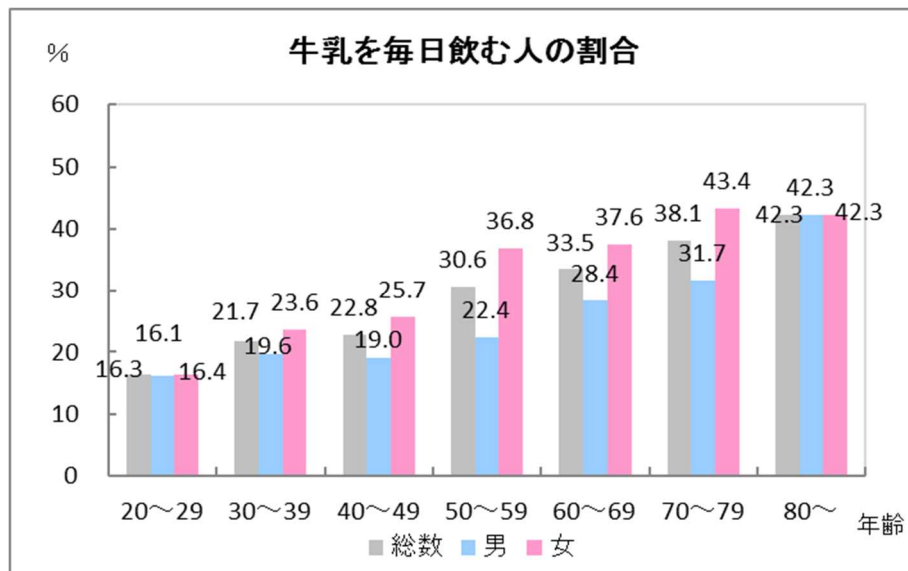
牛乳を「毎日飲む」と答えた人の割合は、男性は80歳以上、女性は70歳代が最も高く、それぞれ42.3%（-5.2ポイント）、43.4%（+1.3ポイント）だった。

また、牛乳を「毎日飲む」と答えた人の割合が最も低かったのは、男女ともに20歳代で、それぞれ16.1%（-3.3ポイント）、16.4%（+0.8ポイント）だった。

表(1) - 9

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(17.6)	(25.6)	(24.8)	(29.3)	(29.3)	(38.3)	(46.3)	(31.4)	(33.1)
	毎日	16.3	21.7	22.8	30.6	33.5	38.1	42.3	31.8	33.9
	週4~6日	4.4	9.8	10.3	7.0	8.6	9.5	9.1	8.7	8.9
	週1~3日	18.5	16.2	12.5	11.2	14.4	14.4	12.2	13.7	13.1
	週1日未満	60.7	52.3	54.5	51.2	43.6	37.9	36.4	45.8	44.1
男	(前回)	(19.4)	(15.2)	(19.4)	(22.8)	(26.0)	(33.9)	(47.5)	(26.7)	(28.6)
	毎日	16.1	19.6	19.0	22.4	28.4	31.7	42.3	27.1	28.8
	週4~6日	1.6	6.3	8.0	4.8	7.8	9.0	3.6	6.6	7.0
	週1~3日	22.6	13.4	13.1	10.9	11.6	12.7	10.2	12.6	11.8
	週1日未満	59.7	60.7	59.9	61.8	52.2	46.6	43.8	53.8	52.5
女	(前回)	(15.6)	(32.8)	(29.0)	(34.5)	(32.2)	(42.1)	(45.7)	(35.1)	(36.5)
	毎日	16.4	23.6	25.7	36.8	37.6	43.4	42.3	35.4	37.9
	週4~6日	6.8	13.0	12.0	8.6	9.2	9.9	12.6	10.4	10.3
	週1~3日	15.1	18.7	12.0	11.4	16.7	15.8	13.5	14.6	14.2
	週1日未満	61.6	44.7	50.3	43.2	36.5	30.9	31.6	39.6	37.6



10. 乳製品の摂取頻度

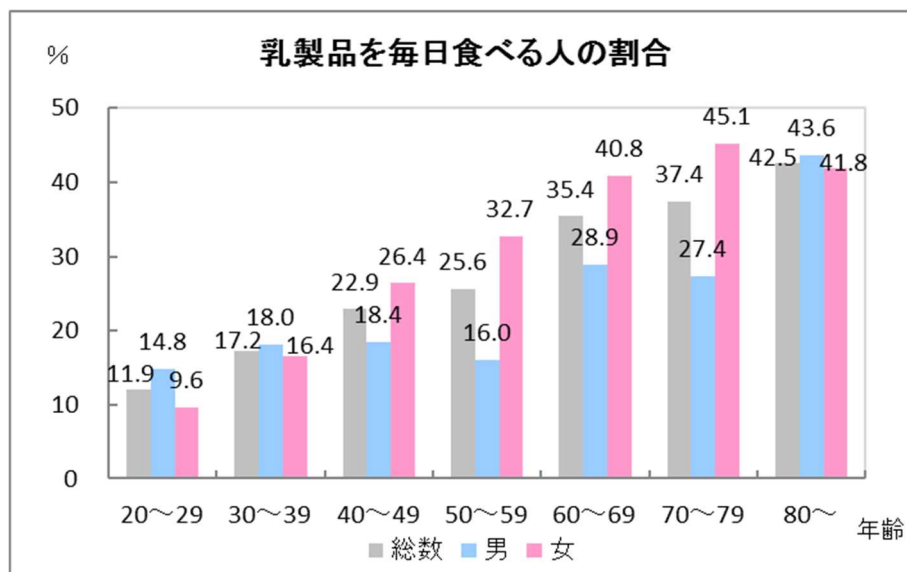
乳製品を「毎日食べる」と答えた人の割合は、前回調査と比較して男女とも増加しており、それぞれ25.1% (+1.8ポイント)、34.9% (+2.0ポイント) だった。

最も増加したのは、男性では30歳代で18.0% (+8.2ポイント)、女性では70歳代で45.1% (+6.4ポイント) だった。

表(1) - 10

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(19.6)	(16.4)	(18.8)	(26.6)	(33.7)	(36.3)	(36.9)	(28.7)	(30.9)
	毎日	11.9	17.2	22.9	25.6	35.4	37.4	42.5	30.7	33.4
	週4~6日	12.7	10.7	14.2	9.9	10.8	13.9	9.1	11.6	11.6
	週1~3日	32.1	32.2	26.8	27.2	18.0	18.6	19.5	23.0	21.4
	週1日未満	43.3	39.9	36.1	37.3	35.8	30.1	28.9	34.7	33.6
男	(前回)	(17.8)	(9.8)	(14.3)	(16.7)	(27.0)	(33.1)	(35.9)	(23.3)	(25.2)
	毎日	14.8	18.0	18.4	16.0	28.9	27.4	43.6	25.1	26.7
	週4~6日	4.9	9.0	11.8	6.1	8.9	11.4	6.8	8.9	9.1
	週1~3日	41.0	27.9	21.3	25.2	16.6	17.8	12.0	20.8	18.5
	週1日未満	39.3	45.0	48.5	52.8	45.5	43.4	37.6	45.2	45.6
女	(前回)	(22.2)	(21.4)	(21.5)	(34.0)	(39.6)	(38.7)	(37.5)	(32.9)	(35.0)
	毎日	9.6	16.4	26.4	32.7	40.8	45.1	41.8	34.9	38.4
	週4~6日	19.2	12.3	16.1	12.7	12.4	15.7	10.5	13.7	13.5
	週1~3日	24.7	36.1	31.0	28.6	19.1	19.2	24.1	24.8	23.6
	週1日未満	46.6	35.2	26.4	25.9	27.7	19.9	23.6	26.7	24.5



11. 果物摂取頻度

果物を「毎日食べる」と答えた人の割合は、全体は20.1%（-2.7ポイント）、男性は15.9%（-1.9ポイント）、女性は23.3%（-3.6ポイント）で、前回調査と比較すると減少した。

また、全体の20歳代では約半数が、男性の30歳代では6割以上が「週1日未満の摂取」だった。

表(1) - 11

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(8.1)	(9.8)	(9.1)	(17.7)	(28.9)	(31.4)	(36.0)	(22.8)	(25.3)
	毎日	4.5	8.2	10.7	11.8	22.2	29.9	32.3	20.1	22.4
	週4~6日	6.7	10.7	12.0	11.3	16.1	21.4	18.8	15.4	16.4
	週1~3日	38.8	32.6	31.1	34.0	33.5	32.3	30.5	32.8	32.4
	週1日未満	50.0	48.5	46.3	42.9	28.3	16.4	18.5	31.8	28.8
男	(前回)	(6.9)	(3.2)	(9.2)	(9.7)	(22.7)	(23.1)	(38.1)	(17.8)	(20.3)
	毎日	1.6	8.1	6.6	7.3	17.2	26.2	28.1	15.9	17.8
	週4~6日	3.3	3.6	8.8	4.9	15.1	16.7	12.9	11.0	12.4
	週1~3日	36.1	26.1	27.9	34.8	33.1	35.6	33.1	32.7	33.3
	週1日未満	59.0	62.2	56.6	53.0	34.7	21.5	25.9	40.4	36.6
女	(前回)	(9.5)	(14.5)	(9.0)	(24.2)	(34.5)	(38.2)	(34.8)	(26.9)	(29.3)
	毎日	6.8	8.2	13.9	15.1	26.4	32.8	34.7	23.3	25.8
	週4~6日	9.6	17.2	14.5	16.1	16.9	25.1	22.0	18.7	19.4
	週1~3日	41.1	38.5	33.5	33.5	33.8	29.8	29.0	32.8	31.7
	週1日未満	42.5	36.1	38.2	35.3	22.9	12.4	14.3	25.1	23.0

12. うどん、そば、ラーメンの汁を全部飲むか

「うどん、そば、ラーメンの汁を全部飲む」と答えた人の割合は、全体ではわずかに減少したが、50歳代男性が36.8%（+6.5ポイント）と最も高かった。

また、最も割合が低かったのは、男性では20歳代で14.8%（-5.7ポイント）、女性では50歳代で5.0%（-1.8ポイント）だった。

表(1) - 12

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(14.7)	(12.9)	(20.6)	(17.2)	(19.9)	(14.6)	(18.8)	(17.5)	(18.2)
	はい	12.0	14.9	15.5	18.5	20.5	15.8	18.3	17.2	17.8
	いいえ	69.2	58.3	63.9	58.2	61.6	67.3	61.4	62.7	62.7
	どちらともいえない	18.8	26.8	20.6	23.2	18.0	16.9	20.3	20.1	19.5
男	(前回)	(20.5)	(24.7)	(36.9)	(30.3)	(31.1)	(22.6)	(27.0)	(28.4)	(29.4)
	はい	14.8	22.5	24.3	36.8	30.0	24.2	28.2	27.2	28.6
	いいえ	62.3	44.1	47.1	35.6	46.5	53.4	51.4	47.7	47.2
	どちらともいえない	23.0	33.3	28.7	27.6	23.5	22.5	20.4	25.1	24.2
女	(前回)	(7.9)	(4.6)	(7.8)	(6.8)	(9.9)	(7.9)	(14.0)	(8.8)	(9.3)
	はい	9.7	8.1	8.6	5.0	12.3	9.2	12.6	9.6	9.8
	いいえ	75.0	71.0	77.0	75.0	74.4	78.2	67.2	74.1	74.4
	どちらともいえない	15.3	21.0	14.4	20.0	13.3	12.5	20.2	16.3	15.9

1 3. 油を使った料理を好むか

「油を使った料理を好む」と答えた人の割合は、全年代で増加しており、男女とも20歳代が最も高かった。最も割合が低かったのは、男性は70歳代で30.4% (+0.1ポイント)、女性は80歳以上で24.5% (+1.2ポイント) だった。

表(1) - 13

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(52.9)	(55.1)	(45.5)	(37.2)	(34.0)	(26.0)	(25.2)	(36.5)	(33.2)
	はい	61.9	57.9	47.4	41.0	37.9	27.1	31.2	39.3	35.9
	いいえ	9.0	8.5	14.5	15.3	19.5	31.5	28.9	20.7	22.8
	どちらともいえない	29.1	33.6	38.1	43.6	42.6	41.3	39.9	40.0	41.3
男	(前回)	(56.2)	(58.5)	(57.4)	(43.6)	(39.8)	(30.3)	(28.5)	(42.4)	(39.6)
	はい	67.2	64.0	59.6	50.9	39.9	30.4	43.0	46.3	42.8
	いいえ	6.6	6.3	8.1	13.9	18.9	30.4	26.1	18.3	20.5
	どちらともいえない	26.2	29.7	32.4	35.2	41.2	39.2	31.0	35.4	36.7
女	(前回)	(49.2)	(52.7)	(36.1)	(32.0)	(28.9)	(22.4)	(23.3)	(31.7)	(28.2)
	はい	57.5	52.4	37.9	33.6	36.1	24.6	24.5	34.0	30.7
	いいえ	11.0	10.5	19.5	16.4	20.0	32.5	30.5	22.6	24.5
	どちらともいえない	31.5	37.1	42.5	50.0	43.9	43.0	45.0	43.4	44.8

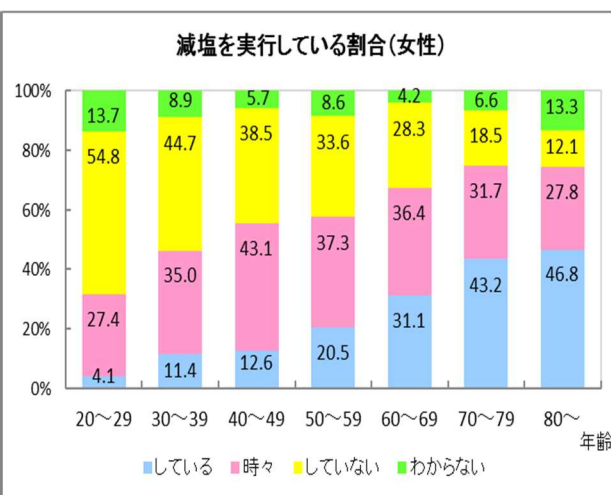
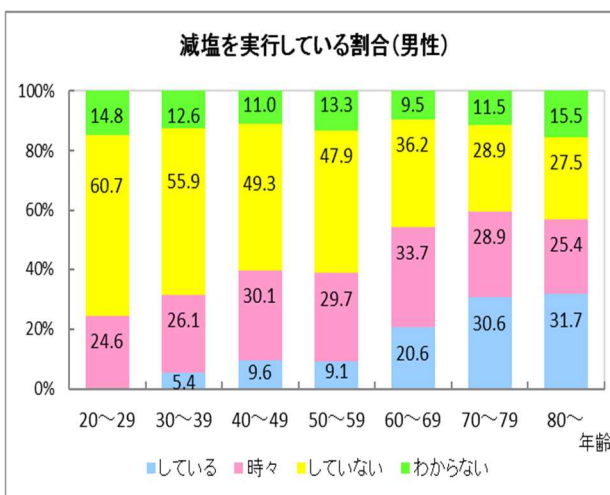
1 4. 減塩を実行しているか

「減塩を実行している」と答えた人の割合は、男性は40歳代を除いた全年代で減少しており、女性は70歳代以上を除いた全年代で減少した。また、女性の80歳以上が最も高く、46.8% (+9.6ポイント) だった。

表(1) - 14

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(9.6)	(9.3)	(11.5)	(19.7)	(32.3)	(33.4)	(37.2)	(24.9)	(27.7)
	している	2.2	8.5	11.3	15.6	26.3	37.7	41.3	24.6	27.8
	時々	26.1	30.8	37.4	34.0	35.2	30.5	26.9	32.1	32.6
	(前回)	(55.1)	(50.2)	(57.3)	(39.5)	(27.0)	(22.7)	(20.7)	(35.2)	(32.2)
していない	57.5	50.0	43.2	39.7	31.9	23.0	17.7	33.5	30.2	
わからない	14.2	10.7	8.1	10.6	6.6	8.7	14.1	9.8	9.4	
男	(前回)	(9.6)	(6.4)	(6.4)	(12.8)	(23.6)	(31.5)	(37.2)	(20.2)	(22.5)
	している	0.0	5.4	9.6	9.1	20.6	30.6	31.7	18.4	21.2
	時々	24.6	26.1	30.1	29.7	33.7	28.9	25.4	29.3	30.0
	(前回)	(54.8)	(54.3)	(61.7)	(48.8)	(31.9)	(25.5)	(21.5)	(39.7)	(36.9)
していない	60.7	55.9	49.3	47.9	36.2	28.9	27.5	40.3	37.0	
わからない	14.8	12.6	11.0	13.3	9.5	11.5	15.5	12.1	11.8	
女	(前回)	(9.5)	(11.5)	(15.6)	(25.2)	(40.1)	(35.0)	(37.2)	(28.7)	(31.8)
	している	4.1	11.4	12.6	20.5	31.1	43.2	46.8	29.4	32.7
	時々	27.4	35.0	43.1	37.3	36.4	31.7	27.8	34.3	34.6
	(前回)	(55.6)	(47.3)	(53.9)	(32.0)	(22.5)	(20.3)	(20.3)	(31.7)	(28.5)
していない	54.8	44.7	38.5	33.6	28.3	18.5	12.1	28.2	25.0	
わからない	13.7	8.9	5.7	8.6	4.2	6.6	13.3	8.1	7.6	



15. 食生活について学ぶ機会

「食生活について学ぶ機会がある」と答えた人の割合は、男女ともに減少し、それぞれ40.7%（-8.7ポイント）、59.7%（-11.2ポイント）だった。

また、全ての年代において、男性よりも女性の割合が高く、年代が上がるにつれて割合も増加した。

表(1) - 15

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(43.7)	(54.2)	(57.2)	(63.9)	(62.8)	(69.3)	(61.9)	(61.3)	(63.4)
	はい	33.8	40.6	47.6	50.0	54.1	57.0	57.9	51.4	53.8
	いいえ	66.2	59.4	52.4	50.0	45.9	43.0	42.1	48.6	46.2
男	(前回)	(40.3)	(40.4)	(41.4)	(47.6)	(52.0)	(56.0)	(58.0)	(49.4)	(51.2)
	はい	31.7	32.4	37.8	37.0	41.8	45.9	48.1	40.7	42.3
	いいえ	68.3	67.6	62.2	63.0	58.2	54.1	51.9	59.3	57.7
女	(前回)	(47.6)	(64.1)	(69.4)	(76.8)	(72.7)	(80.5)	(64.2)	(70.9)	(73.1)
	はい	35.6	48.0	55.2	59.6	64.5	65.9	63.6	59.7	62.4
	いいえ	64.4	52.0	44.8	40.4	35.5	34.1	36.4	40.3	37.6

16. 食生活について学ぶ機会とはどのような機会か

食生活について、どのような機会に学ぶかという問いに対しては、全体では約6割の人が「テレビ」と答えた。

また、「雑誌、新聞等」は、年代が上がるにつれて割合が増加する傾向がみられたが、「行政教室」や「民間教室」と答えた人の割合は全年代で低かった。

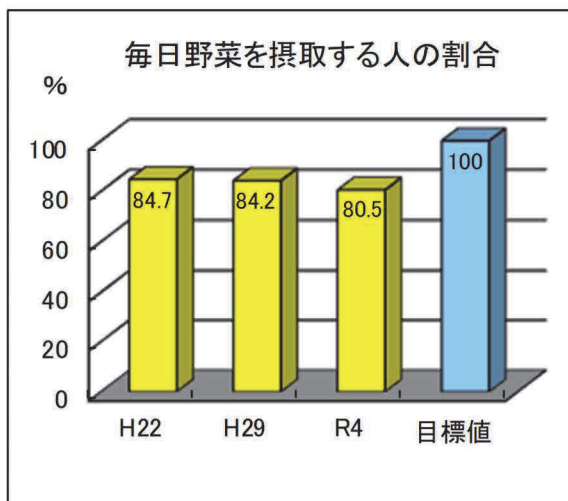
今回の調査では、新たに「スマホ、インターネット」の選択肢を追加したところ、20~50歳代では、「スマホ、インターネット」の割合が約6割~8割と高かったが、年代が上がるにつれて割合は減少した。

表(1) - 16

(%)

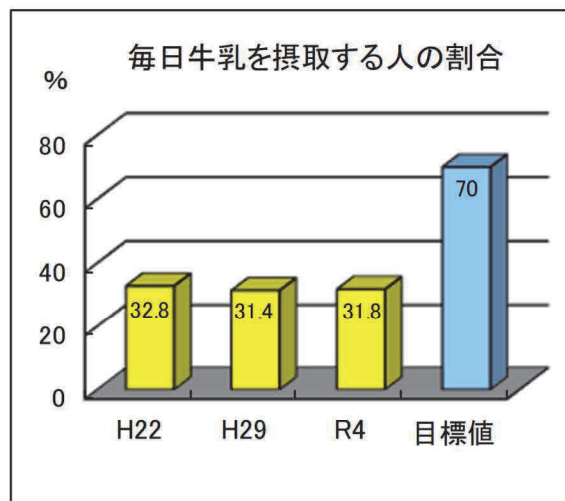
		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	スマホ、インターネット	68.9	78.9	67.8	58.4	28.3	12.5	3.4	34.8	29.7
	テレビ	24.4	41.1	49.3	47.4	62.4	63.3	81.3	59.0	61.9
	雑誌、新聞	4.4	9.5	15.8	25.3	25.4	38.7	31.3	26.4	28.8
	行政教室	2.2	1.1	0.7	0.5	3.9	3.0	3.4	2.5	2.6
	民間教室	0.0	1.1	0.7	0.0	1.1	0.7	0.0	0.6	0.5
	その他	17.8	10.5	4.1	8.9	5.7	5.4	5.3	6.7	5.9
男	スマホ、インターネット	78.9	72.2	60.8	55.0	24.0	12.3	6.3	33.6	27.6
	テレビ	15.8	33.3	51.0	38.3	57.0	61.3	76.2	53.8	57.6
	雑誌、新聞	0.0	0.0	11.8	16.7	24.0	36.8	36.5	23.4	26.8
	行政教室	5.3	0.0	0.0	1.7	4.0	0.9	1.6	1.8	1.8
	民間教室	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.2	0.3
	その他	10.5	13.9	3.9	16.7	9.0	7.5	7.9	9.4	8.9
女	スマホ、インターネット	61.5	83.1	71.6	60.0	30.7	12.6	2.1	35.5	30.8
	テレビ	30.8	45.8	48.4	51.5	65.4	64.4	83.4	61.7	64.1
	雑誌、新聞	7.7	15.3	17.9	29.2	26.3	39.8	29.0	28.0	29.7
	行政教室	0.0	1.7	1.1	0.0	3.9	4.2	4.1	2.8	3.0
	民間教室	0.0	1.7	1.1	0.0	1.7	0.5	0.0	0.7	0.7
	その他	23.1	8.5	4.2	5.4	3.9	4.2	4.1	5.2	4.3

目標：毎日野菜を摂取する人の割合を増やそう



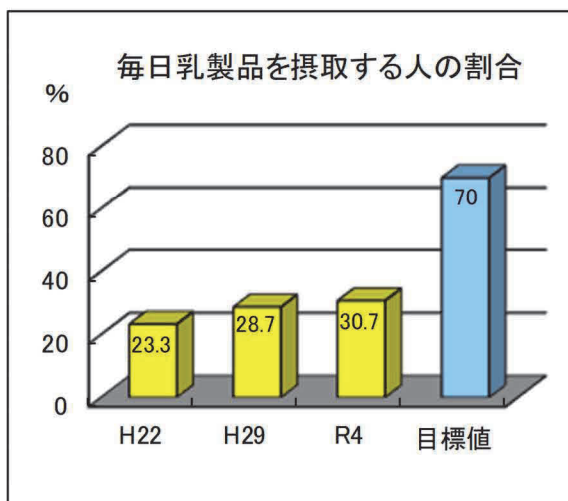
毎日野菜を摂取する人の割合は、H29年度より3.7ポイント減少した。
H22年度、H29年度、R4年度と減少した。

目標：牛乳を摂取する人の割合を増やそう



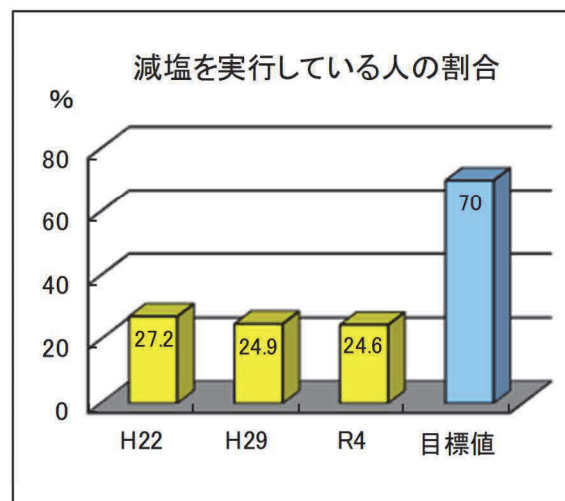
毎日牛乳を摂取する人の割合は、H29年度より0.4ポイント増加した。
しかし、H22年度との比較では、1.0ポイント減少した。

目標：乳製品を摂取する人の割合を増やそう



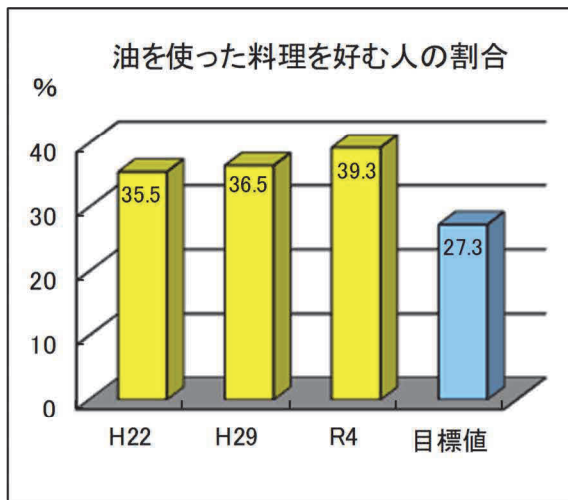
毎日乳製品を摂取する人の割合は、H29年度より2.0ポイント増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：減塩を実行している人の割合を増やそう



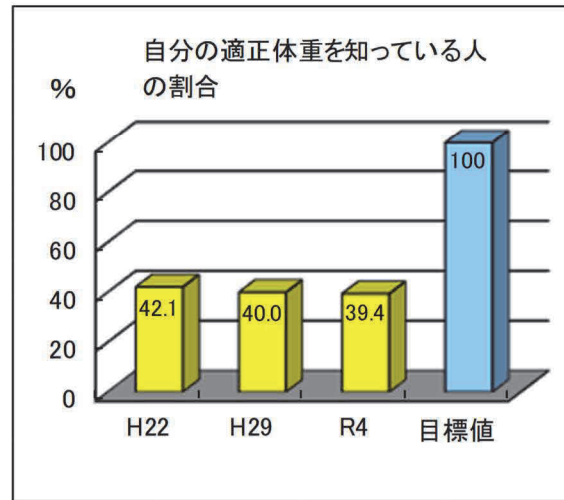
減塩を実行している人の割合は、H29年度より0.3ポイント減少した。
H22年度、H29年度、R4年度と減少した。

目標：油を使った料理を好む人の割合を減らそう



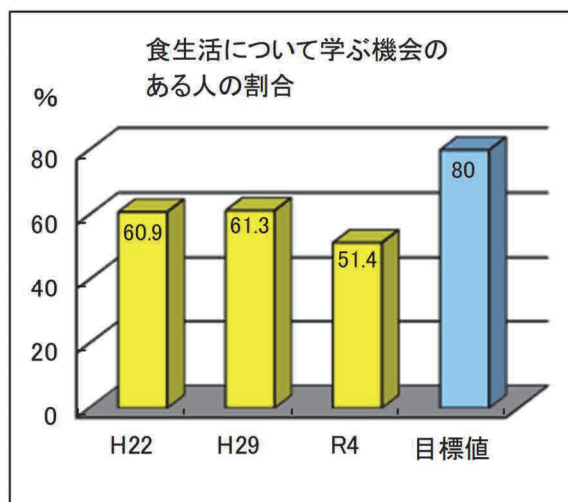
油を使った料理を好む人の割合は、H29年度より2.8ポイント増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：自分の適正体重を知っている人の割合を増やそう



BMI22kg/m²に相当する適正体重と自分の理想体重との差が±5%以内であった人の割合は、H29年度より0.6ポイント減少した。
H22年度、H29年度、R4年度と減少した。

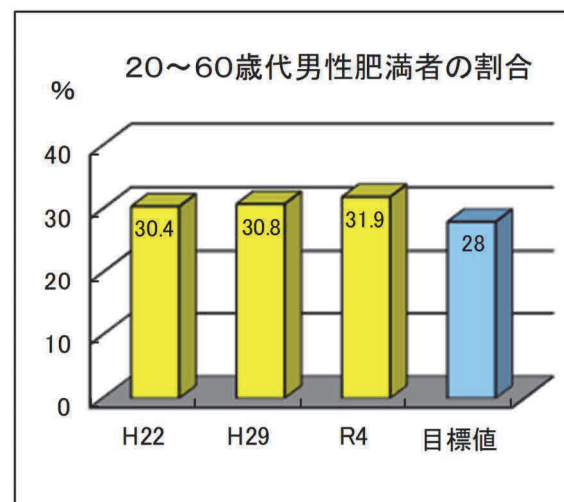
目標：食生活について勉強する人を増やそう



食生活について学ぶ機会のある人の割合は、H29年度より9.9ポイントと大きく減少した。

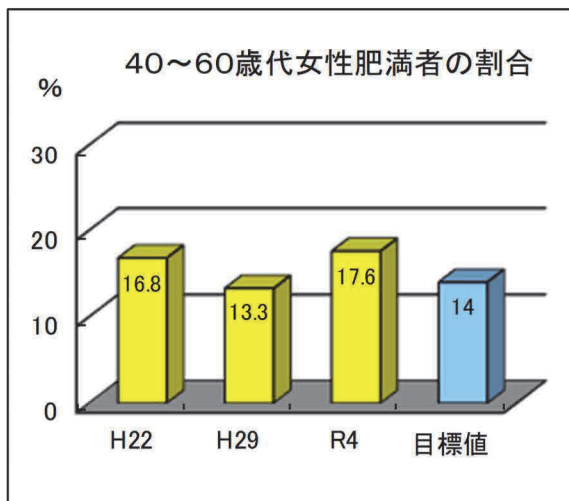
今回の調査では新たに「スマホ、インターネット」を選択肢に追加し、若年層では「スマホ、インターネット」の割合が高かったが、全体としては「テレビ」と答えた人の割合が約6割で最も高かった。

目標：適正体重を維持している人を増やそう



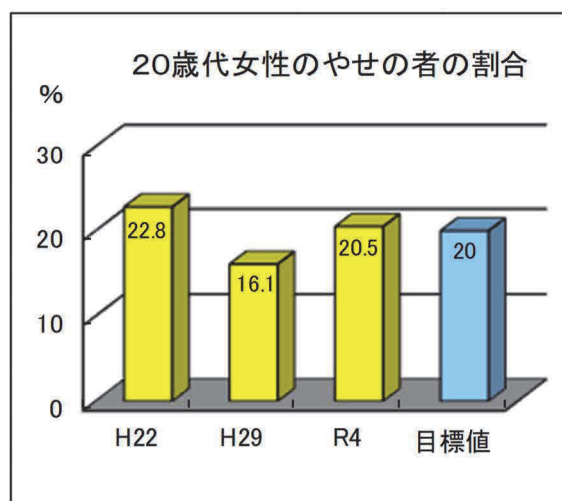
20～60歳代男性肥満者（軽度と肥満）の割合は、H29年度より1.1ポイント増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：適正体重を維持している人を
増やそう



40～60歳代女性肥満者（軽度と肥満）の割合は、H29年度より4.3ポイント増加した。
中間評価では目標を達成したが、今回調査では、大きく増加したことで目標を達成できなかった。

目標：適正体重を維持している人を
増やそう



20歳代女性のやせの者の割合は、H29年度より4.4ポイント増加した。
中間評価では目標を達成したが、今回調査では、目標値よりわずか0.5ポイント高くなり、目標を達成できなかった。

栄養・食生活

【判定区分】◎：達成、○：順調に改善、△：やや改善、×：横ばい・悪化、—：判定不能

課 題 目 標	基準値 H22年度	中間評価 H29年度	最終評価 R4年度	目標値	最終評価 判定
毎日野菜を摂取する人の割合を増やそう	84.7	84.2	80.5	100	×
牛乳を摂取する人の割合を増やそう	32.8	31.4	31.8	70	×
乳製品を摂取する人の割合を増やそう	23.3	28.7	30.7	70	△
減塩を実行している人の割合を増やそう	27.2	24.9	24.6	70	×
油を使った料理を好む人の割合を減らそう	35.5	36.5	39.3	27.3	×
自分の適正体重を知っている人の割合を増やそう	42.1	40.0	39.4	100	×
食生活について勉強する人を増やそう	60.9	61.3	51.4	80	×
適正体重を維持している人を増やそう（肥満・やせの減少）					
20～60歳代男性肥満者の割合	30.4	30.8	31.9	28	×
40～60歳代女性肥満者の割合	16.8	13.3	17.6	14	×
20歳代女性のやせの者の割合	22.8	16.1	20.5	20	○

基準値、中間評価、最終評価の単位は%

（知識レベル）

自分の適正体重を知っている人の割合は、中間評価、最終評価と減少した。

20～60歳代男性肥満者の割合は、中間評価、最終評価と増加し、3人に1人が肥満であり、40～60歳代女性肥満者の割合は、中間評価より4.3ポイント増加し、6人に1人が肥満だった。

20歳代女性のやせの者の割合は、基準値より減少したものの中間評価より4.4ポイント増加し、5人に1人がやせだった。

また、20歳代女性は、適正体重との差が-5%未満を理想体重としている人の割合が約9割と高かった。【表（1）-2】

これらから、今後は、性別・年代別に正しい知識の普及啓発を行っていく必要がある。

（行動レベル）

毎日野菜を摂取する人と減塩を実行している人の割合は、中間評価よりも減少し、油を使った料理を好む人の割合は、中間評価よりも増加した。

また、牛乳や乳製品を摂取する人の割合は、中間評価よりも増加し、評価は、乳製品は「やや改善」で、それ以外は全て「横ばい・悪化」であった。

今後の自分の食事については、若い年代ほど「今よりよくしたい」と答えた人の割合が高かった。【表（1）-6】

今回の調査では、新たに食事バランスに関する問い（主食・主菜・副菜の3つをそろえて食べているか）を追加したところ、「ほぼ毎日」と答えた人の割合は、若い年代で低かった。【表（1）-7】

今後も全年代において、啓発を継続するとともに、自分の食事を改善していきたいと答えた割合が高かった若年層については、実際に改善結果に結びつきやすいような具体例を含めた啓発を行っていく必要がある。

（環境レベル）

食生活について学ぶ機会があると答えた人の割合は、基準値や中間評価よりも大きく減少し、約5割だった。

また、その割合は、若年層ほど低く、年代が上がるにつれて増加した。【表（1）-15】

どのような機会に学ぶかについて、今回の調査では「スマホ、インターネット」を選択肢に追加したところ、50歳代以下は「スマホ、インターネット」と答えた人の割合が高かったが、年代が上がるにつれて「テレビ」や「雑誌、新聞等」の割合が高かった。

全体では、中間評価と同様に「テレビ」が最も割合が高く、「行政教室」や「民間教室」は、どの年代においてもわずかだった。【表（1）－16】

しかし、「行政教室」や「民間教室」については、コロナ禍での調査ということもあり、開催数が少なかったことも考えられる。

これらから、今後は、年代に応じた方法で、行政からの情報発信を増やしていく必要がある。

(2) 運動・身体活動

1. 意識的運動の実施

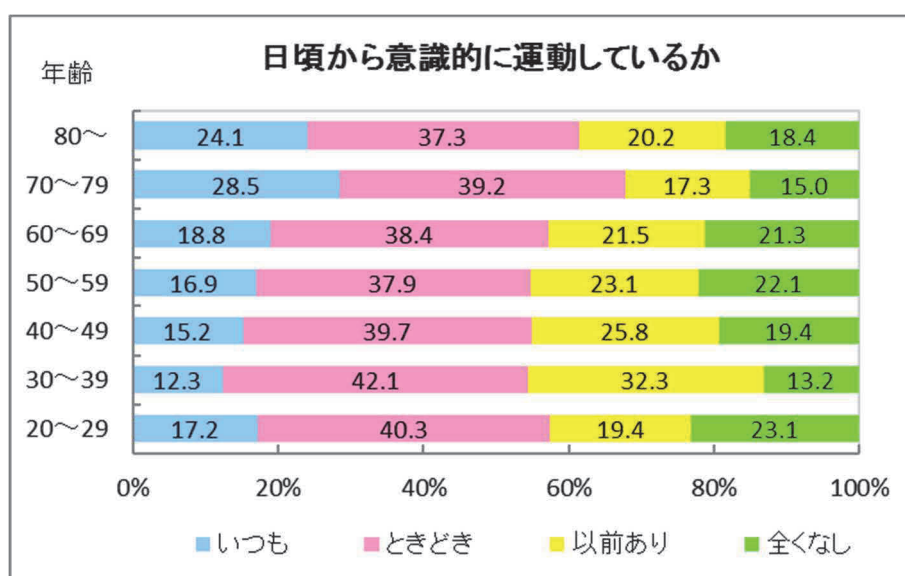
「日頃から意識的に運動をしている」と答えた人の割合は、前回調査と比較すると、全体では59.2% (+0.3ポイント)で、わずかに増加した。

また、男性は50歳代、女性は30歳代が最も低く、それぞれ55.2% (+7.6ポイント)、50.8% (-2.6ポイント)だった。

表(2)-1

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(17.6)	(9.3)	(11.6)	(14.1)	(21.0)	(26.2)	(27.2)	(19.1)	(20.3)
	①いつも	17.2	12.3	15.2	16.9	18.8	28.5	24.1	20.2	21.3
	②ときどき	40.3	42.1	39.7	37.9	38.4	39.2	37.3	38.9	38.5
	(前回)	(55.9)	(50.2)	(48.6)	(52.6)	(60.4)	(69.2)	(67.6)	(58.9)	(60.1)
	①+②	57.5	54.5	54.8	54.8	57.2	67.7	61.4	59.2	59.8
	以前あり	19.4	32.3	25.8	23.1	21.5	17.3	20.2	22.1	21.1
男	全くなし	23.1	13.2	19.4	22.1	21.3	15.0	18.4	18.7	19.1
	(前回)	(24.7)	(12.8)	(12.8)	(12.2)	(21.4)	(23.7)	(28.7)	(19.5)	(19.8)
	①いつも	27.9	18.0	15.4	13.9	23.7	30.2	30.2	23.1	23.4
	②ときどき	34.4	40.5	41.2	41.2	33.6	37.0	33.8	37.2	37.0
	(前回)	(67.1)	(45.7)	(52.5)	(47.6)	(61.5)	(63.9)	(63.1)	(57.7)	(58.2)
	①+②	62.3	58.6	56.6	55.2	57.3	67.2	64.0	60.3	60.4
女	以前あり	21.3	29.7	22.8	20.0	19.9	15.7	17.3	20.1	18.9
	全くなし	16.4	11.7	20.6	24.8	22.8	17.0	18.7	19.6	20.7
	(前回)	(9.5)	(6.9)	(10.7)	(15.6)	(20.6)	(28.2)	(26.3)	(18.8)	(20.8)
	①いつも	8.2	7.3	14.9	19.1	14.7	27.2	20.6	18.1	19.8
	②ときどき	45.2	43.5	38.5	35.5	42.5	40.9	39.3	40.3	39.6
	(前回)	(42.9)	(53.4)	(45.5)	(56.6)	(59.4)	(73.5)	(70.2)	(59.9)	(61.7)
女	①+②	53.4	50.8	53.4	54.5	57.2	68.1	59.9	58.3	59.4
	以前あり	17.8	34.7	28.2	25.5	22.8	18.5	21.9	23.6	22.8
	全くなし	28.8	14.5	18.4	20.0	20.0	13.4	18.2	18.1	17.8



2. 運動習慣

週2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続していると答えた人の割合は、男性では増加して23.7%（+2.8ポイント）だった。また、全ての年代において、女性よりも男性の割合が高かった。

表(2) - 2

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(22.1)	(14.7)	(13.7)	(14.5)	(18.7)	(22.2)	(20.6)	(18.0)	(18.2)
	あり	22.0	14.7	15.9	16.9	18.3	24.3	20.9	19.3	19.6
	条件満たさず	37.9	40.3	34.4	39.1	38.9	41.7	41.6	39.4	39.5
	健康上理由でなし	4.5	5.2	6.0	5.4	7.9	9.8	16.5	8.5	9.1
	健康以外の理由でなし	35.6	39.8	43.7	38.6	35.0	24.3	20.9	32.8	31.8
男	(前回)	(34.3)	(19.6)	(16.4)	(12.0)	(20.4)	(23.9)	(27.6)	(20.9)	(19.9)
	あり	36.1	22.5	18.4	20.0	22.8	25.6	27.3	23.7	23.0
	条件満たさず	29.5	41.4	33.1	39.4	35.9	37.9	37.4	36.9	36.8
	健康上理由でなし	6.6	3.6	8.8	7.5	8.4	9.3	15.8	8.9	9.7
	健康以外の理由でなし	27.9	32.4	39.7	33.1	32.9	27.3	19.4	30.5	30.5
女	(前回)	(8.2)	(11.1)	(11.5)	(16.4)	(17.1)	(20.8)	(16.6)	(15.8)	(16.8)
	あり	9.9	7.5	13.9	14.6	14.3	23.2	17.0	15.8	17.0
	条件満たさず	45.1	39.2	35.5	39.0	41.5	44.7	44.2	41.5	41.5
	健康上理由でなし	2.8	6.7	3.6	3.8	7.4	10.2	17.0	8.2	8.7
	健康以外の理由でなし	42.3	46.7	47.0	42.7	36.8	21.8	21.9	34.5	32.8

3. 歩数計を使用しているか

歩数計を使用している人の割合は、男性では80歳以上を除いた全年代、女性では全ての年代で増加した。

また、男性は70歳代が31.5%（+12.0ポイント）、女性は20歳代が22.2%（+17.5ポイント）で最も高かった。

表(2) - 3

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(4.4)	(4.5)	(7.8)	(12.7)	(17.6)	(17.7)	(12.4)	(12.7)	(14.3)
	はい	14.2	20.4	20.3	15.7	21.7	24.9	11.7	19.3	19.5
	いいえ	85.8	79.6	79.7	84.3	78.3	75.1	88.3	80.7	80.5
男	(前回)	(4.1)	(4.3)	(12.8)	(14.1)	(20.4)	(19.5)	(18.6)	(15.4)	(17.5)
	はい	4.8	19.6	21.3	15.6	25.2	31.5	15.4	21.6	23.0
	いいえ	95.2	80.4	78.7	84.4	74.8	68.5	84.6	78.4	77.0
女	(前回)	(4.7)	(4.6)	(3.9)	(11.5)	(15.2)	(16.2)	(8.9)	(10.7)	(11.7)
	はい	22.2	21.1	19.4	15.8	18.8	19.6	9.5	17.4	16.8
	いいえ	77.8	78.9	80.6	84.2	81.2	80.4	90.5	82.6	83.2

4. ロコモティブシンドロームの認知度

「言葉も意味も知っている」と答えた人の割合は、男性は40歳代、女性は20歳代が最も高く、それぞれ7.4%（+2.4ポイント）、23.6%（+9.5ポイント）だった。また、全ての年代において、男性よりも女性の割合が高かった。

表(2) - 4

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(12.4)	(9.9)	(15.3)	(12.7)	(18.2)	(20.5)	(12.4)	(15.4)	(16.2)
	言葉だけ	9.8	11.6	12.6	16.3	19.0	20.8	13.3	16.1	17.0
	(前回)	(10.9)	(9.9)	(9.0)	(10.3)	(8.8)	(6.0)	(5.2)	(8.3)	(7.9)
	言葉も意味も	15.0	6.0	10.0	11.9	9.9	8.8	3.5	8.9	8.9
	知らない	75.2	82.3	77.3	71.8	71.2	70.4	83.2	74.9	74.1
男	(前回)	(11.0)	(11.8)	(12.8)	(6.1)	(11.3)	(11.1)	(8.0)	(10.3)	(10.1)
	言葉だけ	9.8	8.0	6.7	9.6	10.3	13.0	11.4	10.2	10.5
	(前回)	(8.2)	(5.4)	(5.0)	(6.7)	(6.0)	(4.7)	(6.2)	(5.9)	(5.7)
	言葉も意味も	4.9	5.4	7.4	4.2	6.2	3.4	2.9	4.8	4.8
	知らない	85.2	86.6	85.9	86.2	83.5	83.6	85.7	84.9	84.7
女	(前回)	(14.1)	(8.5)	(17.2)	(17.9)	(24.4)	(28.4)	(15.0)	(19.5)	(21.1)
	言葉だけ	9.7	15.0	17.2	21.4	26.3	27.0	14.4	20.7	22.0
	(前回)	(14.1)	(13.1)	(12.2)	(13.0)	(11.3)	(7.0)	(4.7)	(10.3)	(9.7)
	言葉も意味も	23.6	6.7	12.1	17.7	13.0	13.2	3.8	12.1	12.0
	知らない	66.7	78.3	70.7	60.9	60.7	59.8	81.8	67.1	66.1

5. 買い物や散歩に積極的に外出（60歳以上）

買い物や散歩に積極的に外出すると答えた人の割合は、男女ともに60歳代が最も高く、それぞれ70.3%（-3.3ポイント）、71.3%（-7.2ポイント）だった。

また、60歳代と70歳代では、男性よりも女性の割合が高かったが、80歳以上では、女性よりも男性の割合が高かった。

積極的に外出すると答えた人の割合は、前回調査と比較すると、男性の80歳以上で増加した。

表(2)-5

(%)

		60～69	70～79	80～	合計
総数	(前回)	(76.2)	(73.5)	(58.6)	(71.1)
	そう思う	70.8	69.8	55.1	66.5
	そう思わない	29.2	30.2	44.9	33.5
男	(前回)	(73.6)	(68.4)	(60.2)	(69.1)
	そう思う	70.3	68.4	62.0	67.8
	そう思わない	29.7	31.6	38.0	32.2
女	(前回)	(78.5)	(77.6)	(57.6)	(72.6)
	そう思う	71.3	71.0	51.1	65.5
	そう思わない	28.7	29.0	48.9	34.5

6. 地域活動（60歳以上）

地域活動をしていると答えた人の割合は、男性では80歳以上、女性では70歳代が最も高く、それぞれ31.3%（+0.7ポイント）、34.8%（-11.7ポイント）だった。

また、地域活動をしていると答えた人の割合は、前回調査と比較すると、男性の80歳以上で増加した。

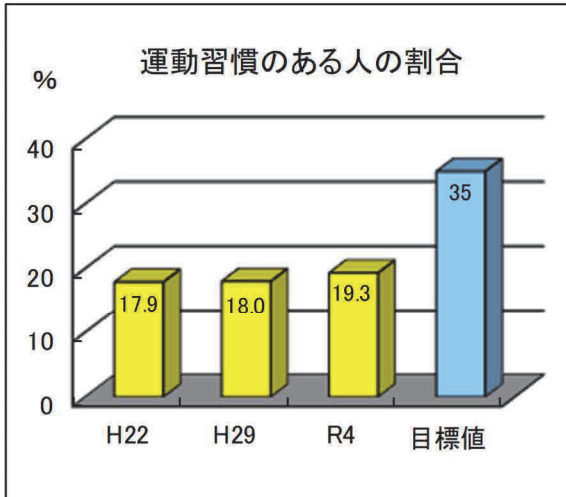
表(2)-6

(%)

		60～69	70～79	80～	合計	70～合計
総数	(前回)	(30.7)	(40.8)	(36.3)	(35.5)	(38.9)
	している	21.2	33.2	25.8	26.8	30.2
	していない	78.8	66.8	74.2	73.2	69.8
男	(前回)	(27.3)	(33.9)	(30.6)	(30.2)	(32.7)
	している	24.9	31.1	31.3	28.7	31.2
	していない	75.1	68.9	68.7	71.3	68.8
女	(前回)	(33.8)	(46.5)	(39.7)	(39.7)	(43.4)
	している	18.0	34.8	22.5	25.4	29.5
	していない	82.0	65.2	77.5	74.6	70.5

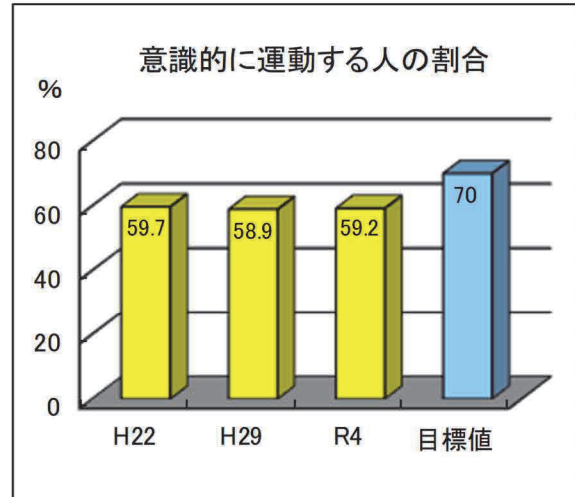
運動・身体活動

目標：運動習慣者の割合を増やそう



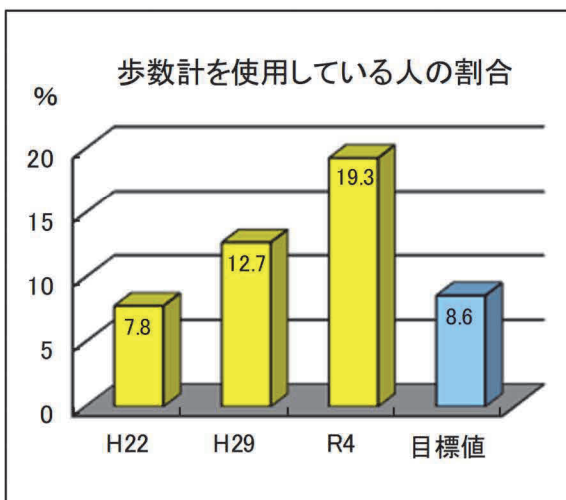
運動習慣のある人の割合は、H29年度より1.3ポイント増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：意識的に運動する人の割合を増やそう



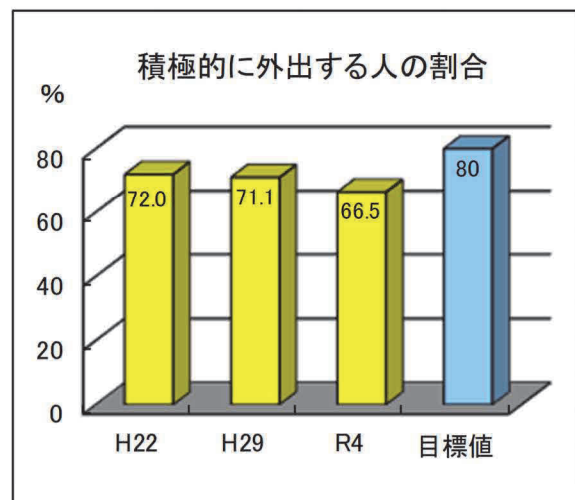
意識的に運動する人の割合は、H29年度より0.3ポイントとわずかに増加した。

目標：歩数計を使用している人の割合を増やそう



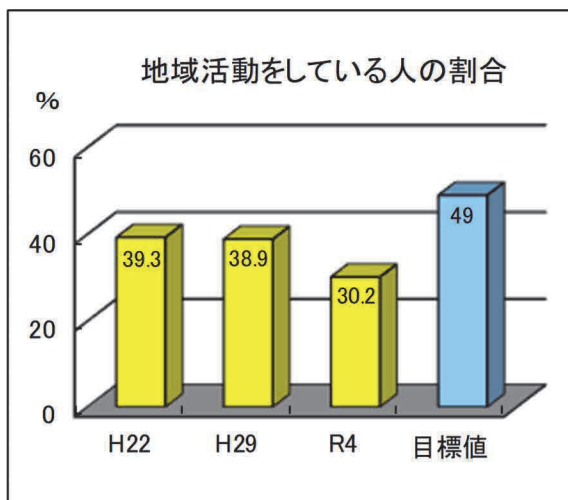
歩数計を使用している人の割合は、H29年度より6.6ポイントと大きく増加した。
今回調査では、中間評価と同様に目標を達成した。

目標：60歳以上の人で積極的に外出する人の割合を増やそう



60歳以上の人で積極的に外出する人の割合は、H29年度より4.6ポイントと大きく減少した。
今回調査はコロナ禍での調査ということもあり、外出を控えたことが影響したと考えられる。

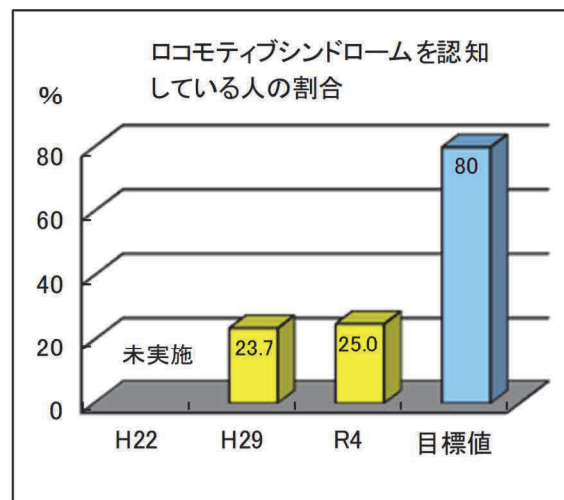
目標：70歳以上の人で地域活動をしている人の割合を増やそう



70歳以上の人で地域活動をしている人の割合は、H29年度より8.7ポイントと大きく減少した。

今回調査はコロナ禍での調査ということもあり、外出を控えたことが影響したと考えられる。

目標：ロコモティブシンドロームを認知している人の割合を増やそう



ロコモティブシンドロームを認知している人の割合は、H29年度より1.3ポイント増加した。

運動・身体活動

【判定区分】◎：達成、○：順調に改善、△：やや改善、×：横ばい・悪化、—：判定不能

課 題 目 標	基準値 H 2 2 年度	中間評価 H 2 9 年度	最終評価 R 4 年度	目標値	最終評価 判定
運動習慣者の割合を増やそう	17.9	18.0	19.3	35	△
意識的に運動する人の割合を増やそう	59.7	58.9	59.2	70	×
歩数計を使用している人の割合を増やそう	7.8	12.7	19.3	8.6	◎
60歳以上の人で積極的に外出する人の割合を増やそう	72.0	71.1	66.5	80	×
70歳以上の人で地域活動をしている人の割合を増やそう	39.3	38.9	30.2	49	×
ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している人の割合を増やそう	—	23.7	25.0	80	—

基準値、中間評価、最終評価の単位は%

（知識レベル）

ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している人の割合は、中間評価よりもわずかに増加したが、4人に1人しか認知していなかった。最も割合が高かった70歳代でも約3割と低く、目標値の80%とは大きな開きがあった。また、女性の方が男性よりも認知度の割合が高く、男性の認知度は、全年代において10%台と低かった。【表（2）－4】

今後は、ロコモティブシンドローム対策として、40～50歳代の働く世代を含む若い年代から様々な機会において積極的に啓発を行っていく必要がある。

（行動レベル）

運動習慣者、意識的に運動する人、歩数計を使用している人の割合は、中間評価よりも増加しており、歩数計を使用している人の割合については、中間評価と同様に目標を達成した。

運動習慣者、意識的に運動する人では、女性よりも男性の割合が高かった。しかし、中間評価と同様に、男性の働く世代の運動習慣者と意識的に運動する人の割合が、他の年代に比べて低かった。【表（2）－1】【表（2）－2】

60歳以上の人で積極的に外出する人と70歳以上の人で地域活動をしている人の割合は、中間評価よりも減少した。これは、今回の調査がコロナ禍での調査ということもあり、外出を控えたことが影響したと考えられる。

今後は、働く世代に情報が行き届くような啓発方法に見直すことが必要であるとともに、全年代に対しても普及啓発を継続して行っていく必要がある。

判定不能「—」

「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している人の割合を増やそう」は、基準値がなく、到達係数を求められないため。

(3) 休養・こころの健康

1. 最近1か月のストレス

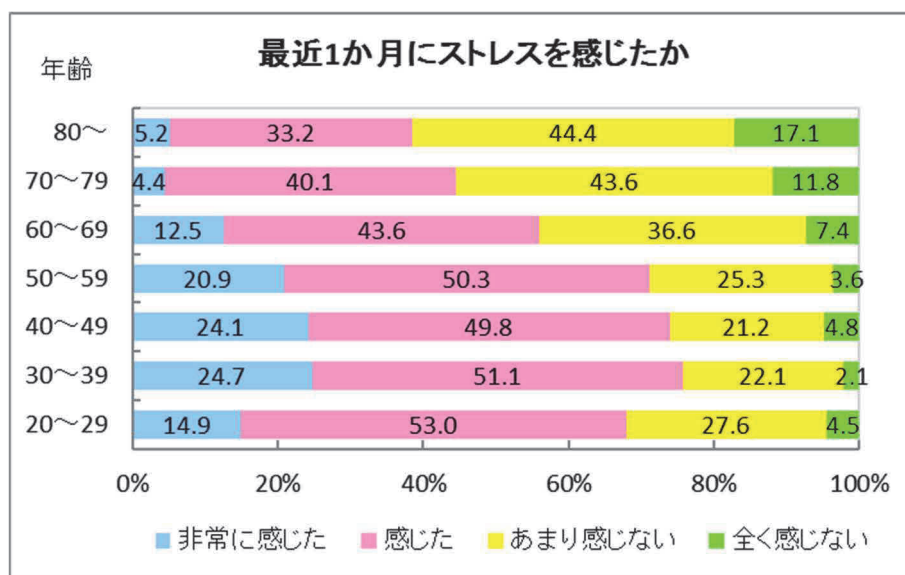
ストレスを「非常に感じた」、「感じた」と答えた人の割合は、全体では57.9% (+0.5ポイント)、男性では52.7% (+0.9ポイント)、女性では61.9% (±0ポイント) だった。

また、男性は30歳代が75.9% (+3.9ポイント)、女性は20歳代が76.4% (-3.3ポイント) で最も高かった。

表(3) - 1

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(21.2)	(21.4)	(24.9)	(16.5)	(10.0)	(7.9)	(7.1)	(14.1)	(12.7)
	①非常に感じた	14.9	24.7	24.1	20.9	12.5	4.4	5.2	13.6	12.4
	(前回)	(51.1)	(55.4)	(47.7)	(54.2)	(41.2)	(35.8)	(28.1)	(43.3)	(41.4)
	②感じた	53.0	51.1	49.8	50.3	43.6	40.1	33.2	44.3	43.0
	(前回)	(72.3)	(76.8)	(72.6)	(70.7)	(51.1)	(43.7)	(35.2)	(57.4)	(54.2)
	①+②	67.9	75.7	74.0	71.1	56.1	44.5	38.4	57.9	55.3
	あまり感じない	27.6	22.1	21.2	25.3	36.6	43.6	44.4	33.8	35.5
全く感じない	4.5	2.1	4.8	3.6	7.4	11.8	17.1	8.3	9.2	
男	(前回)	(16.4)	(19.4)	(22.0)	(14.8)	(6.0)	(3.6)	(7.1)	(11.2)	(9.8)
	①非常に感じた	14.5	24.1	22.8	11.4	11.2	1.7	4.9	11.3	9.5
	(前回)	(49.3)	(52.7)	(46.8)	(53.1)	(37.7)	(28.2)	(27.4)	(40.6)	(38.6)
	②感じた	43.5	51.8	48.5	53.3	39.4	32.8	29.6	41.4	40.0
	(前回)	(65.8)	(72.0)	(68.8)	(67.9)	(43.7)	(31.8)	(34.5)	(51.8)	(48.4)
	①+②	58.1	75.9	71.3	64.7	50.6	34.5	34.5	52.7	49.6
	あまり感じない	35.5	21.4	22.8	27.5	39.8	50.4	48.6	37.2	39.2
全く感じない	6.5	2.7	5.9	7.8	9.5	15.1	16.9	10.1	11.3	
女	(前回)	(26.6)	(22.9)	(27.2)	(17.9)	(13.6)	(11.5)	(7.1)	(16.4)	(15.0)
	①非常に感じた	15.3	25.2	25.1	28.1	13.6	6.6	5.3	15.4	14.5
	(前回)	(53.1)	(57.3)	(48.3)	(55.1)	(44.3)	(42.1)	(28.4)	(45.5)	(43.7)
	②感じた	61.1	50.4	50.9	48.0	47.0	45.9	35.4	46.4	45.2
	(前回)	(79.7)	(80.2)	(75.6)	(72.9)	(57.9)	(53.6)	(35.5)	(61.9)	(58.7)
	①+②	76.4	75.6	76.0	76.0	60.6	52.5	40.7	61.9	59.6
	あまり感じない	20.8	22.8	20.0	23.5	33.8	38.3	42.0	31.3	32.7
全く感じない	2.8	1.6	4.0	0.5	5.6	9.2	17.3	6.9	7.6	



2. 睡眠による休養

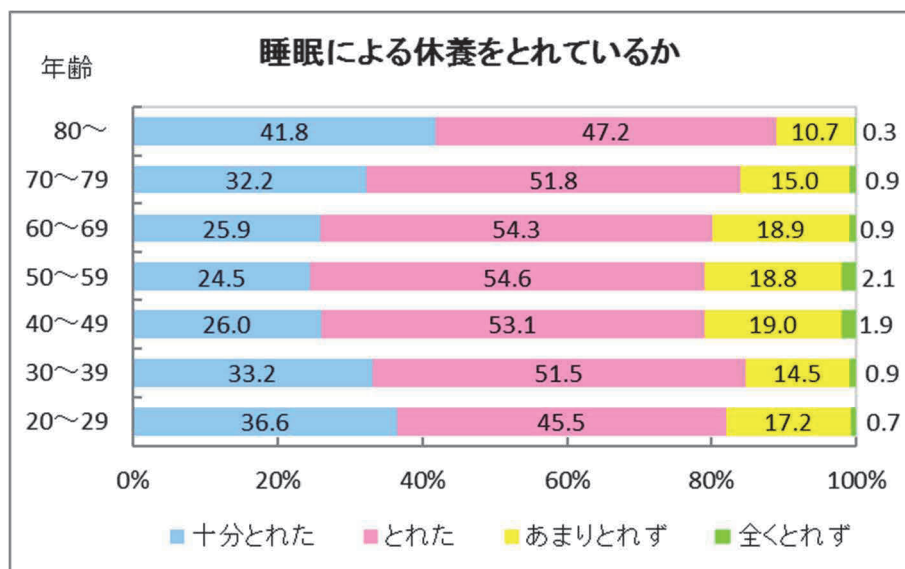
睡眠による休養が「十分とれた」と答えた人の割合は、男性は40歳代、女性は50歳代で最も低く、それぞれ23.5%（-6.3ポイント）、22.2%（-3.4ポイント）だった。

年代別では、男女ともに40～60歳代で割合が低く、3割を下回った。

表(3)-2

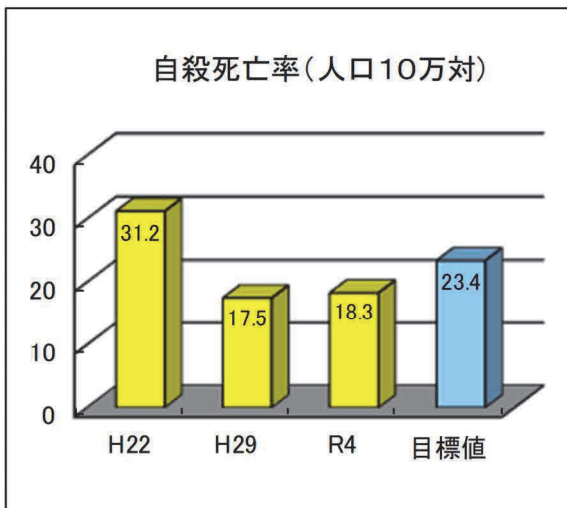
(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
総数	(前回)	(35.3)	(29.8)	(26.5)	(21.7)	(29.5)	(35.6)	(38.8)	(30.6)	(30.4)
	十分とれた	36.6	33.2	26.0	24.5	25.9	32.2	41.8	30.8	30.1
	(前回)	(48.5)	(49.8)	(53.3)	(55.6)	(54.7)	(52.7)	(47.5)	(52.4)	(53.0)
	とれた	45.5	51.5	53.1	54.6	54.3	51.8	47.2	51.8	52.3
	(前回)	(13.2)	(18.2)	(19.6)	(20.9)	(14.8)	(11.3)	(13.7)	(15.9)	(15.8)
あまりとれず	17.2	14.5	19.0	18.8	18.9	15.0	10.7	16.3	16.4	
(前回)	(2.9)	(2.2)	(0.6)	(1.9)	(0.9)	(0.5)	(0.0)	(1.1)	(0.8)	
全くとれず	0.7	0.9	1.9	2.1	0.9	0.9	0.3	1.1	1.2	
男	(前回)	(37.5)	(27.7)	(29.8)	(16.7)	(30.3)	(41.5)	(40.9)	(31.7)	(31.6)
	十分とれた	37.1	31.3	23.5	27.5	29.3	34.6	42.8	31.9	31.6
	(前回)	(48.6)	(52.1)	(48.9)	(58.6)	(56.2)	(47.2)	(41.7)	(51.4)	(51.5)
	とれた	41.9	51.8	52.2	53.3	50.0	47.9	44.8	49.4	49.6
	(前回)	(11.1)	(17.0)	(21.3)	(21.6)	(12.7)	(11.3)	(17.4)	(15.8)	(16.1)
あまりとれず	21.0	15.2	22.8	16.8	19.8	15.8	12.4	17.5	17.5	
(前回)	(2.8)	(3.2)	(0.0)	(3.1)	(0.8)	(0.0)	(0.0)	(1.2)	(0.8)	
全くとれず	0.0	1.8	1.5	2.4	0.8	1.7	0.0	1.3	1.3	
女	(前回)	(32.8)	(31.3)	(23.9)	(25.6)	(28.8)	(30.7)	(37.7)	(29.8)	(29.5)
	十分とれた	36.1	35.0	28.0	22.2	23.0	30.4	41.3	29.9	29.0
	(前回)	(48.4)	(48.1)	(56.7)	(53.1)	(53.4)	(57.1)	(50.7)	(53.3)	(54.2)
	とれた	48.6	51.2	53.7	55.7	57.8	54.9	48.6	53.7	54.3
	(前回)	(15.6)	(19.1)	(18.3)	(20.3)	(16.7)	(11.3)	(11.6)	(15.9)	(15.5)
あまりとれず	13.9	13.8	16.0	20.4	18.1	14.4	9.7	15.4	15.6	
(前回)	(3.1)	(1.5)	(1.1)	(1.0)	(1.1)	(0.8)	(0.0)	(1.0)	(0.8)	
全くとれず	1.4	0.0	2.3	1.8	1.0	0.3	0.4	1.0	1.1	



休養・こころの健康

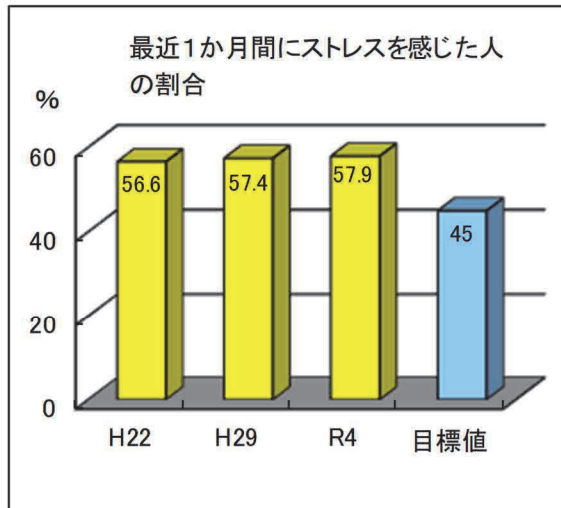
目標：自殺死亡率を減らそう



自殺死亡率は、H29年度より0.8ポイントとわずかに増加した。
今回調査では、中間評価と同様に目標を達成した。

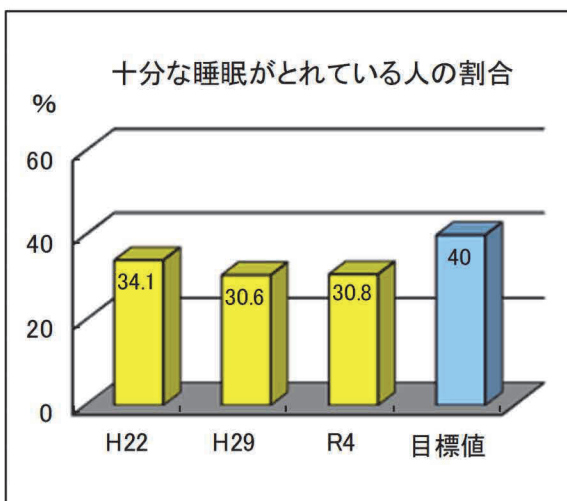
※自殺死亡率(人口10万対)(管内)
H22:H22年、H29:H28年、R4:R2年

目標：ストレスを感じた人の割合を減らそう



最近1か月間にストレスを感じた人の割合は、H29年度より0.5ポイントとわずかに増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：十分な睡眠がとれている人の割合を増やそう



十分な睡眠がとれている人の割合は、H29年度より0.2ポイントとわずかに増加した。

休養・こころの健康

【判定区分】◎：達成、○：順調に改善、△：やや改善、×：横ばい・悪化、—：判定不能

課 題 目 標	基準値 H 2 2 年度	中間評価 H 2 9 年度	最終評価 R 4 年度	目標値	最終評価 判定
自殺死亡率を減らそう	31.2	17.5	18.3	23.4	◎
ストレスを感じた人の割合を減らそう	56.6	57.4	57.9	45	×
十分な睡眠がとれている人の割合を増やそう	34.1	30.6	30.8	40	×
認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率を増やそう	—	—	—	10	—

基準値、中間評価、最終評価の単位は%（ただし、自殺死亡率は人口10万対）

（行動レベル）

自殺死亡率は、今回は18.3で目標値を達成したが、全国の16.4や県の16.5よりも高かった。

直近1か月以内にストレスを感じた人の割合は、中間評価、最終評価と増加してきており、男性では30～50歳代の働く世代で6割を超え、女性では20～50歳代で割合が高く、7割を超えた。【表（3）－1】

十分な睡眠がとれている人の割合は、中間評価とほぼ同じであり、男女ともに40～60歳代で割合が低く、3割を下回った。【表（3）－2】

これらから、働く世代本人や家族へ様々な方面からの更なる啓発を行うことや心の健康づくりに関する取組についても強化する必要がある。

判定不能「—」

「認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率を増やそう」は、基準値と最終評価のデータがなく、到達係数を求められないため（H27年度の介護保険制度改正により指標の把握が困難となった）。

(4) 酒・たばこ

1. 飲酒習慣

飲酒習慣について「現在あり」と答えた人の割合は、全体は28.2% (+0.3ポイント)、男性は44.6% (-1.4ポイント)、女性は15.4% (+1.7ポイント) だった。

また、男性の20～30歳代と70歳代以上、女性の20歳代と40歳代、60歳代以上で増加した。

表(4)-1

(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
総数	なし	76.1	68.4	61.4	61.4	56.1	61.5	70.3	63.1	61.7
	以前あり	7.5	8.5	8.4	7.3	9.6	8.7	9.5	8.6	8.7
	(前回)	(11.9)	(26.4)	(32.3)	(37.0)	(33.7)	(25.6)	(14.1)	(27.9)	(29.3)
	現在あり	16.4	23.1	30.2	31.3	34.3	29.8	20.2	28.2	29.6
男	なし	75.8	53.2	47.8	45.2	37.9	40.2	39.0	44.6	41.5
	以前あり	6.5	8.1	10.3	7.8	10.3	11.1	18.4	10.7	11.3
	(前回)	(12.7)	(36.3)	(49.3)	(56.6)	(55.0)	(47.8)	(33.0)	(46.0)	(49.9)
	現在あり	17.7	38.7	41.9	47.0	51.7	48.7	42.6	44.6	47.2
女	なし	76.4	82.1	72.0	73.6	71.2	79.0	89.8	77.6	77.2
	以前あり	8.3	8.9	6.9	6.8	8.9	6.6	4.0	7.0	6.7
	(前回)	(11.1)	(19.4)	(19.2)	(21.8)	(14.3)	(7.2)	(3.6)	(13.7)	(13.2)
	現在あり	15.3	8.9	21.1	19.5	19.9	14.3	6.2	15.4	16.1

2. 多量飲酒習慣がある人の割合

多量飲酒習慣がある人の割合は、男性では50歳代を除いた全年代で、女性では20～50歳代で増加した。

また、男性では50歳代、女性では40歳代が最も高く、それぞれ18.0% (-1.1ポイント)、3.6% (+0.6ポイント) だった。

表(4)-2-①

(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
総数	(前回)	(0.8)	(2.9)	(6.2)	(8.9)	(5.0)	(4.5)	(0.7)	(4.7)	(5.2)
	≥アルコール60g	4.5	6.7	7.4	8.8	5.4	6.0	0.9	5.8	5.7
男	(前回)	(1.5)	(4.9)	(10.6)	(19.1)	(10.1)	(8.6)	(2.3)	(9.4)	(10.7)
	≥アルコール60g	8.2	11.8	12.3	18.0	11.7	13.3	2.5	11.7	12.0
女	(前回)	(0.0)	(1.6)	(3.0)	(1.5)	(0.8)	(1.4)	(0.0)	(1.2)	(1.3)
	≥アルコール60g	1.4	2.5	3.6	2.4	0.4	0.4	0.0	1.3	1.1

国・県の考え方^(※)に準じた「1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者」の割合では、男女ともに50歳代で最も高く、それぞれ28.7% (-4.4ポイント)、11.8% (-0.7ポイント) だった。

表(4)-2-②

(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
男	(前回)	(1.5)	(9.8)	(24.6)	(33.1)	(28.2)	(19.3)	(7.7)	(21.0)	(24.0)
	≥アルコール40g	14.8	18.6	20.0	28.7	23.4	22.3	12.5	21.2	21.9
女	(前回)	(5.1)	(10.7)	(10.2)	(12.5)	(6.3)	(4.2)	(0.5)	(7.0)	(6.6)
	≥アルコール20g	11.3	7.4	10.8	11.8	8.2	4.8	1.8	7.5	7.2

(※) 国：健康日本21(第二次)

県：第三次和歌山県健康増進計画

3. 飲酒の適量を知っている

飲酒の適量[※]を「知っている」と答えた人の割合は、全体では30.3%（-2.8ポイント）、男性では38.9%（-2.8ポイント）、女性では23.2%（-2.5ポイント）だった。

また、全年代において、女性よりも男性の割合が高く、男性の80歳以上が47.5%（-5.4ポイント）で最も高かった。

表(4) - 3

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(22.3)	(22.5)	(26.9)	(34.5)	(38.3)	(39.3)	(34.6)	(33.1)	(35.2)
	知っている	23.7	20.9	25.9	31.1	37.1	33.5	28.3	30.3	31.9
	知らない	76.3	79.1	74.1	68.9	62.9	66.5	71.7	69.7	68.1
男	(前回)	(20.9)	(26.4)	(28.8)	(41.0)	(47.1)	(54.7)	(52.9)	(41.7)	(45.1)
	知っている	29.0	23.4	28.6	36.0	46.6	45.5	47.5	38.9	41.6
	知らない	71.0	76.6	71.4	64.0	53.4	54.5	52.5	61.1	58.4
女	(前回)	(23.8)	(19.7)	(25.4)	(29.3)	(29.6)	(24.7)	(22.4)	(25.7)	(26.7)
	知っている	19.2	18.6	23.8	27.2	28.7	23.3	14.6	23.2	24.1
	知らない	80.8	81.4	76.2	72.8	71.3	76.7	85.4	76.8	75.9

※ 1日平均純アルコールで約20g程度が飲酒の適量とされている。

主な酒類の換算の目安

お酒の種類	ビール (中瓶1本500ml)	清酒 (1合180ml)	ウイスキー・ブランデー (ダブル60ml)	焼酎(35度) (1合180ml)	ワイン (1杯120ml)
アルコール度数	5%	15%	43%	35%	12%
純アルコール量	20g	22g	20g	50g	12g

4. アルコールの健康影響の知識

アルコールの健康影響については、前回と同様「肝臓障害」が最も高く、男女とも約9割が影響あると答えた。次いで、男女とも「依存症」、「すい炎・糖尿病」、「高血圧」と続いた。全体で最も低かった「睡眠障害・うつ病」は、49.2%（+6.6ポイント）で前回調査よりも増加した。

表(4) - 4

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(93.4)	(91.9)	(93.0)	(92.7)	(89.4)	(89.6)	(80.0)	(89.9)	(89.4)
	肝臓障害	91.8	91.7	94.1	93.0	94.8	88.9	85.6	91.6	91.5
	(前回)	(73.1)	(77.3)	(80.3)	(77.2)	(75.0)	(75.2)	(66.7)	(75.4)	(75.4)
	すい炎・糖尿病	79.7	77.3	81.5	81.1	80.6	73.2	64.0	76.9	76.7
	(前回)	(57.5)	(52.0)	(57.9)	(56.7)	(57.6)	(62.2)	(57.7)	(57.6)	(58.3)
	心疾患	63.6	62.7	62.5	61.4	61.9	58.8	56.0	60.8	60.4
	(前回)	(77.0)	(74.1)	(74.9)	(73.3)	(76.3)	(74.7)	(63.6)	(73.6)	(73.3)
	高血圧	78.9	76.3	76.8	74.7	75.3	69.1	66.5	73.4	72.7
	(前回)	(70.4)	(64.2)	(61.7)	(67.2)	(66.4)	(63.7)	(59.0)	(64.6)	(64.2)
	胃腸障害	75.6	72.4	74.1	65.9	69.5	59.0	58.2	66.8	65.5
(前回)	(53.0)	(56.4)	(56.0)	(52.2)	(54.3)	(47.5)	(50.7)	(52.9)	(52.4)	
がん	59.8	58.6	60.7	58.3	59.5	53.0	47.6	56.7	56.3	
(前回)	(56.0)	(52.1)	(52.4)	(51.3)	(52.1)	(51.9)	(47.6)	(51.8)	(51.4)	
脳機能障害	73.5	64.5	60.5	58.9	61.1	51.2	48.4	58.4	56.5	
(前回)	(50.7)	(51.8)	(47.6)	(45.1)	(37.9)	(37.8)	(33.0)	(42.6)	(40.6)	
睡眠障害・うつ病	64.9	65.4	55.9	51.5	47.9	38.3	35.4	49.2	46.0	
(前回)	(86.8)	(88.2)	(84.2)	(85.4)	(75.1)	(68.7)	(61.0)	(77.9)	(75.8)	
依存症	88.7	88.6	89.1	87.7	81.3	71.6	62.2	80.5	78.9	
男	(前回)	(91.7)	(90.2)	(91.4)	(91.4)	(89.1)	(87.8)	(80.6)	(89.0)	(88.6)
	肝臓障害	90.2	89.7	92.6	91.0	95.3	91.2	87.3	91.6	91.9
	(前回)	(77.5)	(78.3)	(76.3)	(75.8)	(72.2)	(70.5)	(71.0)	(74.0)	(73.2)
	すい炎・糖尿病	75.0	78.3	77.9	76.7	79.4	70.4	65.8	75.0	74.6
	(前回)	(52.1)	(57.6)	(48.9)	(55.4)	(52.2)	(58.3)	(60.5)	(54.6)	(54.4)
	心疾患	60.0	61.3	56.9	57.2	58.2	58.2	54.9	58.0	57.4
	(前回)	(73.2)	(76.1)	(69.1)	(70.9)	(76.2)	(68.3)	(66.7)	(71.7)	(71.1)
	高血圧	77.0	80.2	74.0	71.6	76.2	67.5	63.1	72.5	71.1
	(前回)	(66.7)	(66.7)	(56.9)	(64.6)	(63.6)	(61.0)	(64.1)	(62.9)	(62.2)
	胃腸障害	73.3	70.8	67.2	61.8	65.4	57.1	61.7	64.1	62.5
(前回)	(53.5)	(52.8)	(50.0)	(49.4)	(48.7)	(38.7)	(52.3)	(48.5)	(47.5)	
がん	56.7	54.7	55.7	48.1	56.0	50.3	46.0	52.4	51.8	
(前回)	(60.6)	(60.0)	(52.2)	(50.3)	(49.8)	(41.7)	(47.0)	(50.5)	(48.4)	
脳機能障害	71.7	61.3	53.8	52.5	58.3	50.0	50.5	55.5	53.5	
(前回)	(52.1)	(50.5)	(37.4)	(39.2)	(30.5)	(29.3)	(36.6)	(37.1)	(34.0)	
睡眠障害・うつ病	60.0	59.8	50.4	41.1	41.9	30.9	33.7	43.1	39.5	
(前回)	(81.9)	(88.0)	(77.1)	(83.9)	(69.1)	(61.5)	(57.8)	(73.3)	(70.8)	
依存症	83.6	85.0	86.4	82.9	77.4	64.3	60.7	76.3	74.6	
女	(前回)	(95.3)	(93.0)	(94.3)	(93.7)	(89.7)	(91.3)	(79.6)	(90.7)	(90.1)
	肝臓障害	93.2	93.5	95.3	94.5	94.5	87.1	84.4	91.6	91.2
	(前回)	(68.3)	(76.6)	(83.4)	(78.4)	(77.6)	(79.3)	(63.7)	(76.6)	(77.2)
	すい炎・糖尿病	83.6	76.4	84.3	84.4	81.6	75.3	62.6	78.4	78.3
	(前回)	(63.5)	(48.1)	(65.1)	(57.7)	(62.6)	(65.5)	(55.8)	(60.1)	(61.6)
	心疾患	66.7	63.9	66.9	64.5	65.1	59.3	56.8	63.0	62.7
	(前回)	(81.3)	(72.7)	(79.7)	(75.1)	(76.3)	(80.3)	(61.6)	(75.2)	(75.2)
	高血圧	80.6	73.0	78.9	77.1	74.4	70.4	68.9	74.2	73.9
	(前回)	(74.6)	(62.5)	(65.5)	(69.4)	(69.0)	(66.1)	(55.4)	(66.0)	(65.9)
	胃腸障害	77.5	73.8	79.4	69.0	72.9	60.5	55.7	68.9	67.7
(前回)	(52.4)	(58.9)	(60.7)	(54.5)	(59.6)	(55.2)	(49.6)	(56.5)	(56.5)	
がん	62.5	62.0	64.5	66.0	62.5	55.1	48.6	60.2	59.8	
(前回)	(50.8)	(46.5)	(52.6)	(52.0)	(54.4)	(60.8)	(48.0)	(52.8)	(53.9)	
脳機能障害	75.0	67.2	65.5	63.8	63.4	52.2	46.9	60.7	58.9	
(前回)	(49.2)	(52.7)	(55.8)	(49.7)	(44.8)	(45.2)	(30.6)	(47.1)	(46.2)	
睡眠障害・うつ病	69.0	70.2	60.0	59.3	53.0	43.9	36.6	54.1	51.0	
(前回)	(92.2)	(88.4)	(89.8)	(86.7)	(80.5)	(74.9)	(63.0)	(81.6)	(79.9)	
依存症	93.1	91.8	91.2	91.2	84.6	77.2	63.2	83.7	82.2	

5. 喫煙習慣

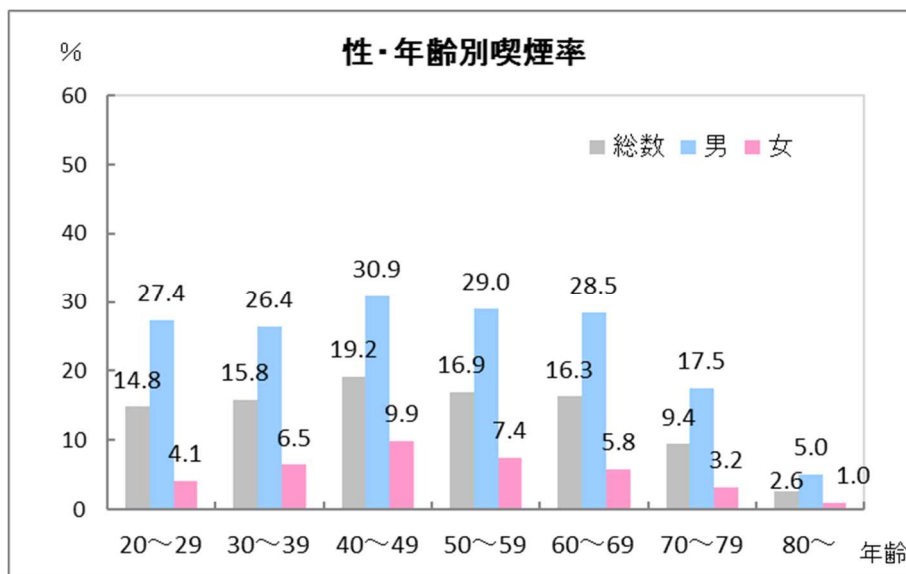
喫煙習慣について「現在あり」と答えた人の割合は、40歳代で最も高く、全体は19.2%（-3.3ポイント）、男性は30.9%（-7.2ポイント）、女性は9.9%（-0.3ポイント）で、前回調査と比較すると減少した。

また、男性では20歳代と70歳代、女性では50～60歳代と80歳以上で増加した。

表(4)-5

(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
総数	なし	83.0	68.4	62.0	63.9	61.6	67.3	74.6	66.9	65.7
	以前あり	2.2	15.8	18.8	19.2	22.1	23.2	22.8	19.9	21.5
	(前回)	(10.5)	(20.3)	(22.5)	(17.9)	(15.9)	(9.6)	(3.3)	(14.4)	(14.0)
	現在あり	14.8	15.8	19.2	16.9	16.3	9.4	2.6	13.2	12.9
男	なし	67.7	50.9	42.6	36.7	29.3	33.2	41.0	38.9	35.4
	以前あり	4.8	22.7	26.5	34.3	42.3	49.3	54.0	37.8	41.9
	(前回)	(12.9)	(38.7)	(38.1)	(33.3)	(29.1)	(16.9)	(7.9)	(26.1)	(25.9)
	現在あり	27.4	26.4	30.9	29.0	28.5	17.5	5.0	23.3	22.7
女	なし	95.9	83.9	77.3	85.2	89.5	93.6	97.1	89.1	89.3
	以前あり	0.0	9.7	12.8	7.4	4.7	3.2	1.9	5.6	5.5
	(前回)	(7.9)	(7.0)	(10.2)	(5.8)	(3.7)	(3.2)	(0.5)	(5.0)	(4.5)
	現在あり	4.1	6.5	9.9	7.4	5.8	3.2	1.0	5.3	5.2



6. 現在喫煙者が使用しているたばこ製品の種類

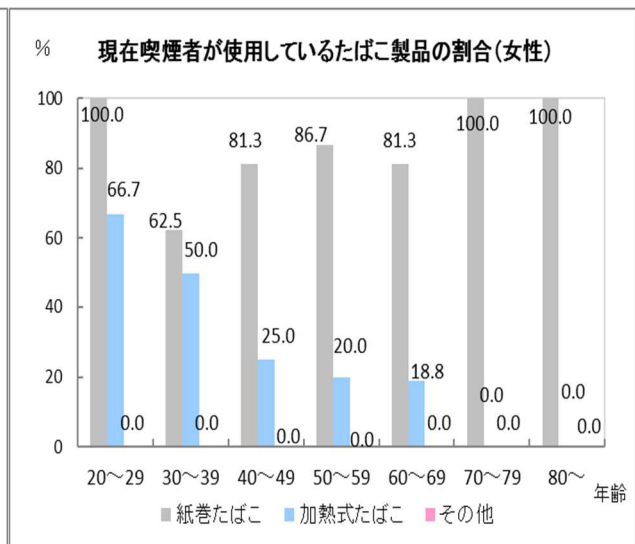
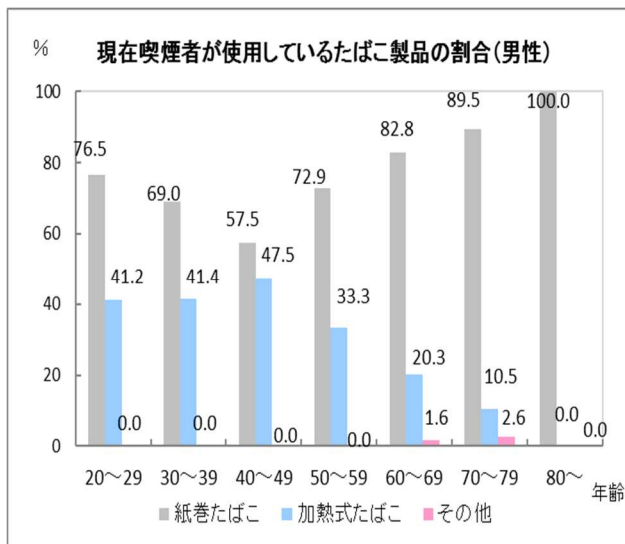
「現在喫煙している」と答えた人が使用しているたばこ製品の種類は、「紙巻たばこ」の割合が最も高く、男性は76.0%、女性は83.8%だった。

また、「加熱式たばこ」の割合は、男性は29.3%、女性は23.5%だった。

表(4)－6

(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
総数	紙巻たばこ	80.0	67.6	64.3	76.2	82.5	91.5	100.0	77.7	79.1
	加熱式たばこ	45.0	43.2	41.1	30.2	20.0	8.5	0.0	28.1	24.5
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.1	0.0	0.6	0.8
男	紙巻たばこ	76.5	69.0	57.5	72.9	82.8	89.5	100.0	76.0	77.0
	加熱式たばこ	41.2	41.4	47.5	33.3	20.3	10.5	0.0	29.3	26.5
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	2.6	0.0	0.8	1.0
女	紙巻たばこ	100.0	62.5	81.3	86.7	81.3	100.0	100.0	83.8	86.0
	加熱式たばこ	66.7	50.0	25.0	20.0	18.8	0.0	0.0	23.5	17.5
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



7. 現在喫煙者が使用しているたばこ製品の組合せ

たばこ製品の組合せでは、「紙巻たばこのみ」、「加熱式たばこのみ」、「紙巻たばこ及び加熱式たばこ」の割合は、男性では、69.8%、23.1%、6.2%であり、女性では、76.5%、16.2%、7.4%だった。

表(4)－7

(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
総数	紙巻のみ	55.0	56.8	58.9	69.8	78.8	89.4	100.0	71.3	74.7
	加熱式のみ	20.0	32.4	35.7	23.8	16.3	6.4	0.0	21.6	20.2
	紙巻＋加熱式	25.0	10.8	5.4	6.3	3.8	2.1	0.0	6.5	4.3
	上記以外	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.1	0.0	0.6	0.8
男	紙巻のみ	58.8	58.6	52.5	66.7	78.1	86.8	100.0	69.8	72.4
	加熱式のみ	23.5	31.0	42.5	27.1	15.6	7.9	0.0	23.1	21.9
	紙巻＋加熱式	17.6	10.3	5.0	6.3	4.7	2.6	0.0	6.2	4.6
	上記以外	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	2.6	0.0	0.8	1.0
女	紙巻のみ	33.3	50.0	75.0	80.0	81.3	100.0	100.0	76.5	82.5
	加熱式のみ	0.0	37.5	18.8	13.3	18.8	0.0	0.0	16.2	14.0
	紙巻＋加熱式	66.7	12.5	6.3	6.7	0.0	0.0	0.0	7.4	3.5
	上記以外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

8. 現在喫煙者及び過去喫煙者の喫煙指数

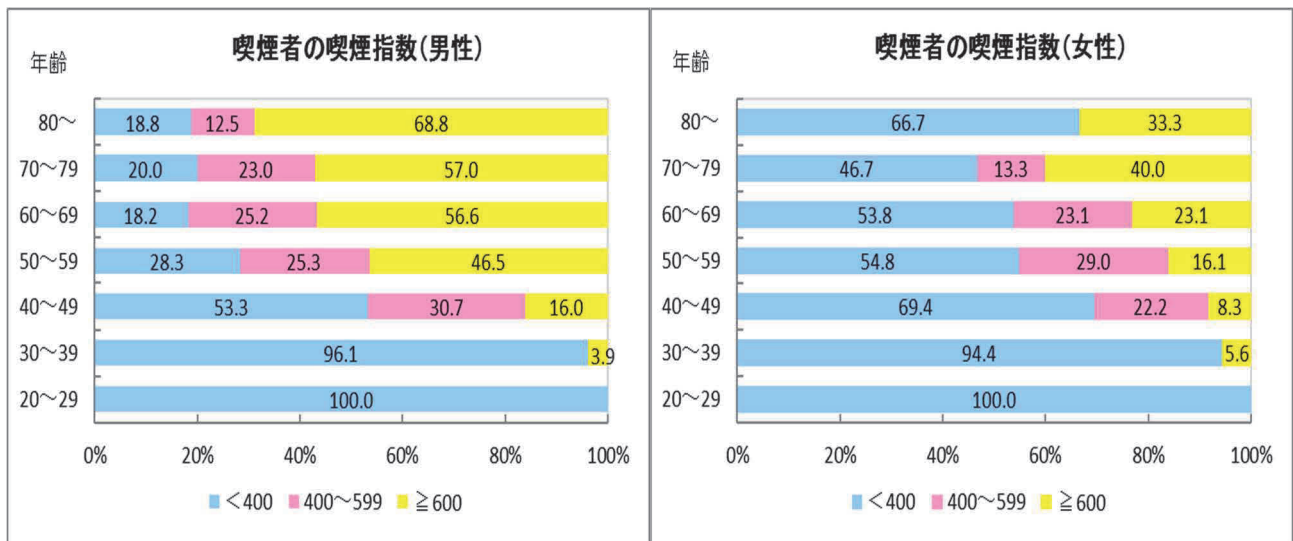
1日あたりの喫煙本数と喫煙年数を掛け合わせた喫煙指数^(※)600以上の人の割合は、全体では40.0%（-5.3ポイント）であり、前回調査と比較すると減少した。

また、男性は80歳以上、女性は70歳代が最も高く、それぞれ68.8%（+2.1ポイント）、40.0%（-4.4ポイント）だった。

表(4) - 8

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	<400	100.0	95.7	58.6	34.6	23.2	22.7	20.9	39.3	31.3
	400~599	0.0	0.0	27.9	26.2	24.9	22.0	11.9	20.7	23.6
	(前回)	(0.0)	(5.3)	(15.9)	(54.5)	(65.9)	(63.1)	(65.9)	(45.3)	(52.2)
	≥600	0.0	4.3	13.5	39.2	51.9	55.3	67.2	40.0	45.1
男	<400	100.0	96.1	53.3	28.3	18.2	20.0	18.8	33.8	25.6
	400~599	0.0	0.0	30.7	25.3	25.2	23.0	12.5	21.1	23.9
	(前回)	(0.0)	(6.1)	(20.2)	(59.4)	(70.1)	(64.9)	(66.7)	(51.8)	(57.6)
	≥600	0.0	3.9	16.0	46.5	56.6	57.0	68.8	45.1	50.6
女	<400	100.0	94.4	69.4	54.8	53.8	46.7	66.7	64.4	58.6
	400~599	0.0	0.0	22.2	29.0	23.1	13.3	0.0	18.9	22.5
	(前回)	(0.0)	(3.7)	(5.4)	(31.8)	(27.8)	(44.4)	(50.0)	(16.3)	(21.6)
	≥600	0.0	5.6	8.3	16.1	23.1	40.0	33.3	16.7	18.9



^(※) 1日の本数×喫煙年数で表される数値でブリンクマン指数ともいう。喫煙指数400以上で肺がんになるリスクが高まり、特に600以上は高危険群とされ非喫煙者に比べ肺がんリスクは約4.5倍といわれている。

9. 喫煙の健康影響の知識

喫煙の健康影響の知識については、全体では「脳卒中」と「妊娠に関連した異常」以外で増加した。

疾病別では、「肺がん」が最も高く、次いで「気管支炎」、「喘息」となっており、「歯周病」、「胃潰瘍」への健康影響があると答えた人の割合は低かった。

また、「妊娠に関連した異常」と「歯周病」については、性別・年代別による差が大きく、「妊娠に関連した異常」については、最も高い女性20歳代の94.4%に対し、最も低い男性80歳以上では53.3%と41.1ポイントの差があり、「歯周病」については、最も高い女性20歳代の86.3%に対し、最も低い男性80歳以上では35.3%と51.0ポイントの差があった。

表(4) - 9

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(97.1)	(95.4)	(94.9)	(95.1)	(92.7)	(92.5)	(88.8)	(93.4)	(92.9)
	肺がん	96.2	95.7	96.8	95.6	96.3	93.7	91.9	95.0	94.9
	(前回)	(89.6)	(85.0)	(84.5)	(83.1)	(83.8)	(80.4)	(79.7)	(83.3)	(82.5)
	喘息	90.8	88.9	87.9	86.2	86.8	80.2	79.7	85.1	84.3
	(前回)	(93.3)	(89.5)	(88.4)	(86.4)	(87.2)	(86.0)	(82.1)	(87.1)	(86.3)
	気管支炎	90.1	91.4	91.5	90.2	90.0	88.2	82.9	89.2	88.8
	(前回)	(68.7)	(62.7)	(68.3)	(72.5)	(64.8)	(65.2)	(61.5)	(66.4)	(66.7)
	心臓病	74.2	73.3	73.5	70.4	69.3	62.8	56.0	68.0	66.8
	(前回)	(74.4)	(76.3)	(81.2)	(79.9)	(70.2)	(62.4)	(60.4)	(72.3)	(71.6)
	脳卒中	76.5	77.1	78.1	74.3	74.7	60.7	56.8	70.7	69.4
(前回)	(51.5)	(48.1)	(50.7)	(55.0)	(52.6)	(54.3)	(55.3)	(52.7)	(53.4)	
胃潰瘍	60.3	59.6	59.4	55.3	55.7	48.6	52.0	55.0	54.1	
(前回)	(93.2)	(90.4)	(89.6)	(85.9)	(81.1)	(76.7)	(66.7)	(83.0)	(81.1)	
妊娠に関連した異常	91.7	89.2	90.2	84.9	83.3	71.7	66.8	81.7	79.9	
(前回)	(82.7)	(69.4)	(67.2)	(62.7)	(56.9)	(42.2)	(41.4)	(58.8)	(55.4)	
歯周病	84.2	75.4	71.1	62.8	59.4	44.6	43.4	60.2	56.5	
男	(前回)	(95.8)	(94.5)	(93.5)	(93.8)	(91.3)	(91.3)	(90.6)	(92.5)	(92.0)
	肺がん	95.1	92.7	94.9	94.0	95.8	94.5	90.6	94.1	94.2
	(前回)	(88.7)	(84.8)	(81.8)	(79.1)	(82.8)	(78.6)	(85.6)	(82.2)	(81.3)
	喘息	86.7	86.4	85.8	85.0	85.3	79.5	79.8	83.8	83.2
	(前回)	(88.7)	(89.0)	(85.3)	(87.4)	(88.4)	(84.1)	(84.2)	(86.7)	(86.3)
	気管支炎	85.0	88.1	88.9	91.4	89.2	87.9	81.6	88.0	88.2
	(前回)	(71.8)	(64.8)	(62.8)	(72.3)	(68.7)	(63.3)	(67.5)	(67.3)	(67.1)
	心臓病	70.0	67.9	70.9	70.4	70.5	64.6	53.3	67.2	66.9
	(前回)	(76.1)	(76.1)	(78.7)	(81.0)	(72.1)	(58.0)	(61.5)	(72.0)	(71.1)
	脳卒中	73.3	73.4	75.4	73.5	75.6	62.2	57.0	70.2	69.5
(前回)	(56.3)	(50.0)	(45.2)	(53.2)	(52.3)	(48.3)	(57.9)	(51.3)	(51.0)	
胃潰瘍	58.3	56.5	54.5	53.5	53.7	49.7	52.4	53.5	52.7	
(前回)	(89.9)	(86.8)	(82.8)	(79.6)	(73.2)	(64.0)	(56.9)	(75.8)	(73.0)	
妊娠に関連した異常	88.3	84.3	85.7	76.8	75.0	60.1	53.3	74.1	71.5	
(前回)	(75.7)	(73.6)	(63.2)	(61.0)	(52.7)	(40.3)	(41.9)	(56.7)	(52.8)	
歯周病	81.7	75.5	64.4	62.0	56.3	42.5	35.3	57.2	52.9	
女	(前回)	(98.4)	(96.1)	(96.1)	(96.1)	(93.9)	(93.6)	(87.7)	(94.2)	(93.7)
	肺がん	97.2	98.4	98.3	96.8	96.7	93.0	92.7	95.8	95.4
	(前回)	(90.6)	(85.2)	(86.6)	(86.1)	(84.7)	(81.9)	(75.9)	(84.1)	(83.5)
	喘息	94.4	91.1	89.5	87.0	88.0	80.8	79.6	86.2	85.1
	(前回)	(98.4)	(89.8)	(90.8)	(85.6)	(86.1)	(87.6)	(80.6)	(87.4)	(86.3)
	気管支炎	94.4	94.4	93.6	89.4	90.7	88.4	83.9	90.1	89.3
	(前回)	(65.1)	(61.1)	(72.7)	(72.6)	(61.2)	(66.9)	(57.4)	(65.7)	(66.4)
	心臓病	77.8	78.0	75.6	70.4	68.3	61.3	57.9	68.6	66.8
	(前回)	(72.6)	(76.4)	(83.2)	(79.0)	(68.4)	(66.3)	(59.7)	(72.5)	(71.9)
	脳卒中	79.2	80.3	80.2	74.9	73.9	59.5	56.7	71.0	69.4
(前回)	(46.0)	(46.8)	(55.0)	(56.3)	(52.9)	(59.6)	(53.7)	(53.9)	(55.4)	
胃潰瘍	62.0	62.3	63.3	56.7	57.4	47.6	51.7	56.3	55.1	
(前回)	(91.5)	(93.1)	(93.9)	(91.0)	(82.5)	(68.7)	(59.5)	(83.9)	(81.6)	
妊娠に関連した異常	94.4	93.5	93.6	90.7	89.7	79.2	74.8	87.2	85.9	
(前回)	(68.3)	(75.6)	(66.9)	(53.3)	(47.5)	(30.1)	(35.4)	(53.0)	(47.7)	
歯周病	86.3	75.4	76.3	63.4	62.0	46.4	49.3	62.6	59.4	

10. 家庭での喫煙対策

家庭での喫煙対策について、「喫煙者なし」と答えた人の割合は、全体は70.7% (+5.1ポイント)、男性は69.3% (+6.0ポイント)、女性は71.8% (+4.3ポイント)で、前回調査と比較すると増加した。

また、「喫煙者なし」「家で吸わない」「家族の居る場所では吸わない」を合わせた割合は、全体では91.1% (+2.9ポイント)で増加しており、「何もしていない」の割合は、8.9% (-2.9ポイント)で減少した。

表(4) - 10

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(56.6)	(60.2)	(57.5)	(58.6)	(62.8)	(77.9)	(79.5)	(65.6)	(66.9)
	①喫煙者なし	66.4	61.5	63.9	67.0	68.7	78.2	81.9	70.7	72.1
	(前回)	(12.5)	(14.8)	(14.4)	(9.7)	(11.5)	(7.5)	(8.9)	(10.9)	(10.4)
	②家で吸わない	11.2	14.1	10.2	8.6	8.6	6.7	7.4	8.9	8.2
	(前回)	(14.0)	(12.0)	(16.3)	(16.6)	(12.3)	(6.3)	(5.5)	(11.6)	(11.4)
	③家族の居る場所では吸わない	11.9	15.0	13.1	12.6	13.6	8.2	7.1	11.4	11.0
	(前回)	(83.1)	(87.0)	(88.2)	(84.8)	(86.6)	(91.7)	(93.8)	(88.2)	(88.7)
①+②+③	89.6	90.6	87.2	88.2	90.9	93.1	96.3	91.1	91.2	
(前回)	(16.9)	(13.0)	(11.8)	(15.2)	(13.4)	(8.3)	(6.2)	(11.8)	(11.3)	
何もしていない	10.4	9.4	12.8	11.8	9.1	6.9	3.7	8.9	8.8	
男	(前回)	(59.7)	(55.1)	(52.5)	(60.4)	(58.3)	(77.7)	(77.1)	(63.3)	(64.5)
	①喫煙者なし	60.7	62.7	63.4	65.1	66.5	76.1	85.0	69.3	70.8
	(前回)	(13.9)	(12.4)	(17.3)	(8.2)	(12.1)	(6.0)	(11.0)	(11.1)	(10.7)
	②家で吸わない	9.8	13.6	10.4	8.4	10.7	8.9	9.4	10.1	9.6
	(前回)	(11.1)	(16.9)	(15.8)	(15.1)	(13.8)	(7.1)	(4.6)	(12.1)	(11.7)
	③家族の居る場所では吸わない	13.1	16.4	11.2	15.1	12.4	7.0	3.1	10.9	10.1
	(前回)	(84.7)	(84.3)	(85.6)	(83.6)	(84.2)	(90.8)	(92.7)	(86.5)	(86.9)
①+②+③	83.6	92.7	85.1	88.6	89.7	92.0	97.6	90.3	90.5	
(前回)	(15.3)	(15.7)	(14.4)	(16.4)	(15.8)	(9.2)	(7.3)	(13.5)	(13.1)	
何もしていない	16.4	7.3	14.9	11.4	10.3	8.0	2.4	9.7	9.5	
女	(前回)	(53.1)	(63.8)	(61.5)	(57.1)	(66.9)	(78.1)	(80.9)	(67.5)	(68.9)
	①喫煙者なし	71.2	60.5	64.3	68.5	70.5	79.8	79.9	71.8	73.1
	(前回)	(10.9)	(16.5)	(12.1)	(10.8)	(10.9)	(8.8)	(7.7)	(10.8)	(10.1)
	②家で吸わない	12.3	14.5	9.9	8.8	6.8	5.1	6.0	8.1	7.1
	(前回)	(17.2)	(8.7)	(16.7)	(17.7)	(10.9)	(5.6)	(6.0)	(11.3)	(11.2)
	③家族の居る場所では吸わない	11.0	13.7	14.6	10.6	14.6	9.0	9.5	11.8	11.6
	(前回)	(81.3)	(89.0)	(90.2)	(85.7)	(88.7)	(92.6)	(94.5)	(89.6)	(90.2)
①+②+③	94.5	88.7	88.9	88.0	91.8	93.9	95.5	91.6	91.8	
(前回)	(18.8)	(11.0)	(9.8)	(14.3)	(11.3)	(7.4)	(5.5)	(10.4)	(9.8)	
何もしていない	5.5	11.3	11.1	12.0	8.2	6.1	4.5	8.4	8.2	

1 1. 職場での喫煙対策

職場での喫煙対策について、前回調査と比較すると、「喫煙者なし」「禁煙」「分煙」を合わせた割合は、全体は57.0% (+7.2ポイント) で増加しており、「特になし」の割合は、8.5% (-5.5ポイント) で減少した。

表(4) - 1 1

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(11.0)	(14.6)	(21.0)	(22.6)	(20.8)	(19.5)	(19.8)	(19.5)	(20.8)
	①喫煙者なし	14.9	20.9	22.3	27.8	20.5	27.8	22.2	23.3	24.2
	(前回)	(14.0)	(16.0)	(15.0)	(13.5)	(7.3)	(2.3)	(1.3)	(9.4)	(8.2)
	②禁煙	20.1	23.0	22.3	19.7	12.0	3.1	2.1	13.2	11.6
	(前回)	(36.0)	(39.7)	(34.8)	(34.2)	(12.4)	(2.0)	(0.9)	(20.9)	(17.4)
	③分煙	39.6	38.3	36.5	27.3	19.3	2.8	0.7	20.5	17.0
	(前回)	(61.0)	(70.3)	(70.8)	(70.2)	(40.5)	(23.8)	(22.0)	(49.8)	(46.4)
	①+②+③	74.6	82.1	81.0	74.8	51.8	33.7	25.0	57.0	52.8
(前回)	(19.1)	(14.2)	(19.4)	(15.4)	(17.7)	(8.3)	(1.7)	(14.0)	(13.6)	
特になし	6.0	9.4	9.4	10.4	10.8	7.7	2.8	8.5	8.6	
働いていない	19.4	8.5	9.7	14.8	37.4	58.6	72.2	34.5	38.7	
男	(前回)	(8.2)	(12.2)	(15.8)	(12.4)	(16.8)	(18.6)	(22.2)	(15.7)	(16.7)
	①喫煙者なし	9.8	15.3	14.0	22.9	13.2	26.3	16.1	17.9	18.8
	(前回)	(6.8)	(20.0)	(12.2)	(14.9)	(8.0)	(1.8)	(0.0)	(9.0)	(7.9)
	②禁煙	13.1	18.0	23.5	18.1	10.6	3.8	3.4	12.3	11.5
	(前回)	(42.5)	(43.3)	(41.7)	(46.0)	(19.3)	(3.6)	(2.2)	(26.7)	(23.4)
	③分煙	49.2	50.5	47.8	35.5	24.3	4.3	0.8	26.7	22.1
	(前回)	(57.5)	(75.6)	(69.8)	(73.3)	(44.1)	(24.0)	(24.4)	(51.4)	(48.1)
	①+②+③	72.1	83.8	85.3	76.5	48.1	34.4	20.3	56.9	52.3
(前回)	(26.0)	(18.9)	(26.6)	(23.0)	(24.4)	(12.0)	(3.3)	(19.9)	(19.5)	
特になし	9.8	13.5	12.5	16.3	17.9	9.1	3.4	12.5	12.6	
働いていない	18.0	2.7	2.2	7.2	34.0	56.5	76.3	30.6	35.1	
女	(前回)	(14.3)	(16.3)	(25.0)	(30.7)	(24.5)	(20.3)	(18.3)	(22.8)	(24.2)
	①喫煙者なし	19.2	25.8	28.7	31.5	26.7	29.0	26.5	27.7	28.5
	(前回)	(22.2)	(13.2)	(17.2)	(12.4)	(6.7)	(2.7)	(2.1)	(9.7)	(8.4)
	②禁煙	26.0	27.4	21.3	21.0	13.2	2.4	1.2	14.1	11.7
	(前回)	(28.6)	(37.2)	(29.4)	(24.8)	(5.9)	(0.5)	(0.0)	(16.1)	(12.4)
	③分煙	31.5	27.4	27.6	21.0	15.0	1.6	0.6	15.4	12.9
	(前回)	(65.1)	(66.7)	(71.7)	(67.8)	(37.2)	(23.6)	(20.4)	(48.6)	(45.0)
	①+②+③	76.7	80.6	77.6	73.5	54.9	33.1	28.2	57.1	53.1
(前回)	(11.1)	(10.9)	(13.9)	(9.4)	(11.5)	(4.9)	(0.7)	(9.0)	(8.7)	
特になし	2.7	5.6	6.9	5.9	4.8	6.5	2.4	5.2	5.4	
働いていない	20.5	13.7	15.5	20.5	40.3	60.5	69.4	37.6	41.5	

1 2. COPDの認知度

COPDの「言葉も意味も知っている」と答えた人の割合は、全体は10.7% (+3.1ポイント) で、前回調査と比較すると増加した。

また、男性は30歳代、女性は20歳代が最も高く、それぞれ16.4% (+7.7ポイント)、28.8% (+12.9ポイント) だった。

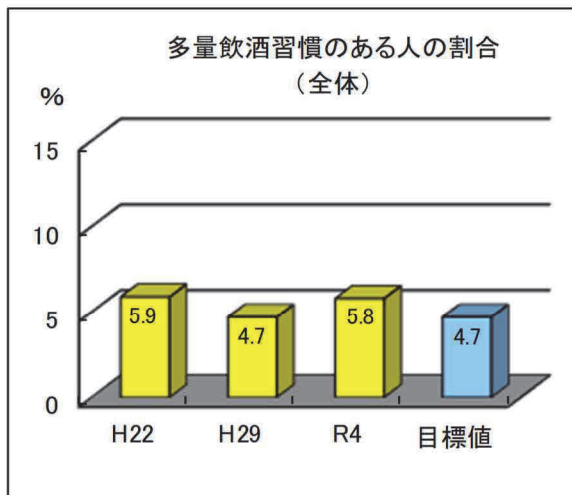
表(4) - 1 2

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(12.5)	(16.6)	(13.0)	(15.1)	(12.9)	(13.0)	(9.6)	(13.2)	(12.9)
	言葉だけ	14.1	17.0	19.2	19.6	14.8	13.7	9.3	15.2	15.1
	(前回)	(14.7)	(12.1)	(13.0)	(9.2)	(6.6)	(3.1)	(1.3)	(7.6)	(6.6)
	言葉も意味も	17.8	16.2	15.4	15.4	10.0	6.9	1.7	10.7	9.6
知らない	68.1	66.8	65.4	65.0	75.2	79.4	89.0	74.1	75.3	
男	(前回)	(9.6)	(20.7)	(9.9)	(16.4)	(13.6)	(9.6)	(9.7)	(12.7)	(12.1)
	言葉だけ	8.1	13.6	19.7	14.4	11.2	12.2	14.0	13.4	13.7
	(前回)	(13.7)	(8.7)	(8.5)	(8.5)	(3.6)	(2.7)	(0.9)	(5.8)	(4.8)
	言葉も意味も	4.8	16.4	10.2	10.8	7.5	5.2	2.2	7.9	7.1
知らない	87.1	70.0	70.1	74.9	81.3	82.6	83.8	78.7	79.1	
女	(前回)	(15.9)	(13.7)	(15.6)	(14.1)	(12.3)	(15.9)	(9.5)	(13.6)	(13.5)
	言葉だけ	19.2	20.0	18.9	23.6	17.9	14.9	6.4	16.7	16.2
	(前回)	(15.9)	(14.5)	(16.7)	(9.8)	(9.3)	(3.5)	(1.6)	(9.1)	(8.0)
	言葉も意味も	28.8	16.0	19.4	19.0	12.1	8.3	1.4	12.9	11.5
知らない	52.1	64.0	61.7	57.4	70.0	76.8	92.2	70.4	72.3	

酒

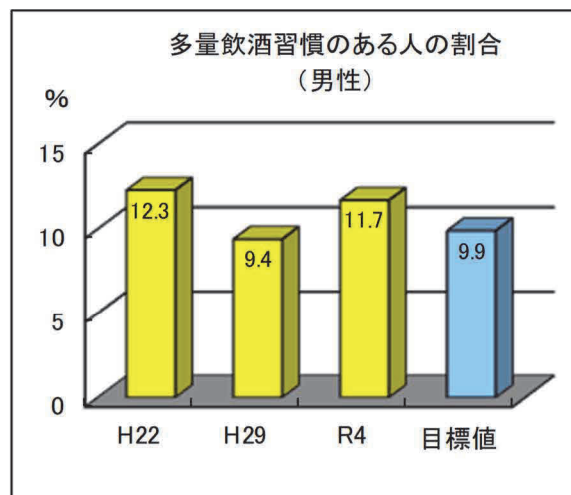
目標：生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合を減らそう



多量飲酒習慣のある人(現在飲酒習慣があり、かつ純アルコール量に換算して60g以上の人)の割合は、H29年度より1.1ポイント増加した。

中間評価では目標を達成したが、今回調査では目標を達成できなかった。

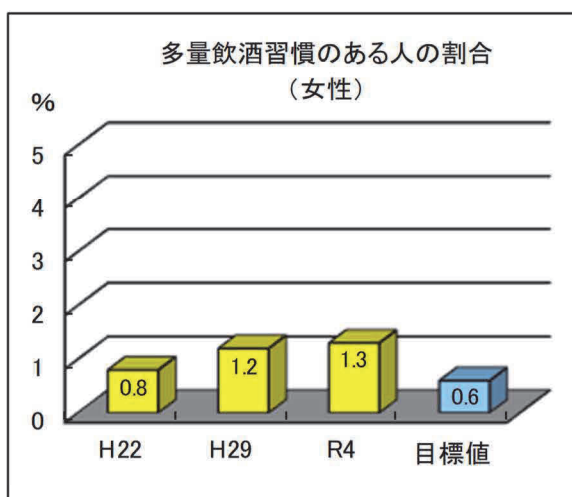
目標：生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合を減らそう



男性で多量飲酒習慣のある人の割合は、H29年度より2.3ポイント増加した。

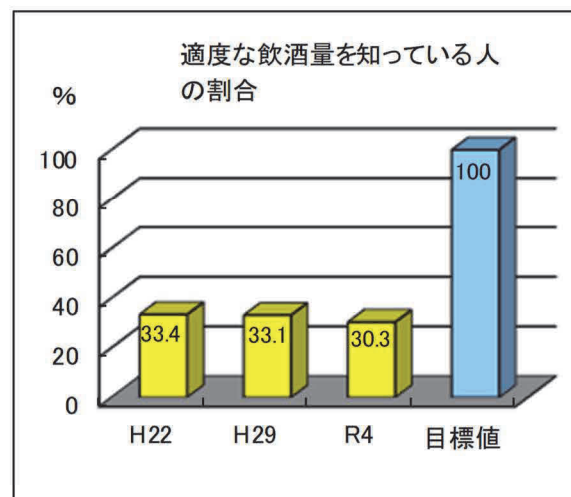
中間評価では目標を達成したが、今回調査では目標を達成できなかった。

目標：生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合を減らそう



女性で多量飲酒習慣のある人の割合は、H29年度より0.1ポイントとわずかに増加した。H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

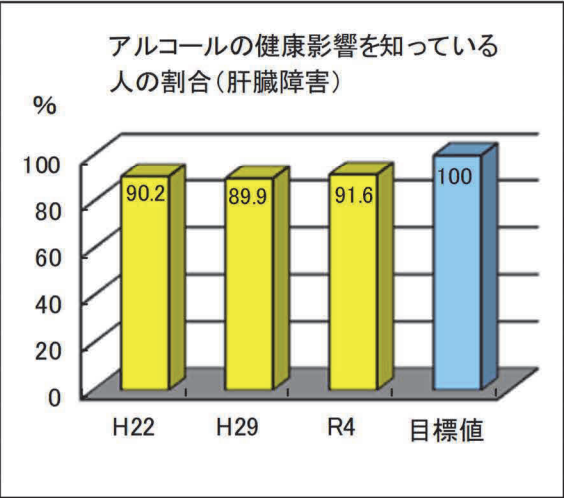
目標：適度な飲酒量を知っている人の割合を増やそう



適度な飲酒量を知っている人の割合は、H29年度より2.8ポイント減少した。

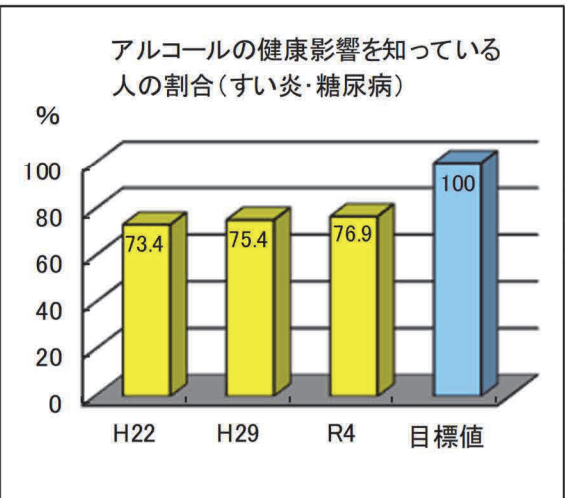
H22年度、H29年度、R4年度と減少した。

目標：アルコールが及ぼす健康影響について知っている人を増やそう（肝臓障害）



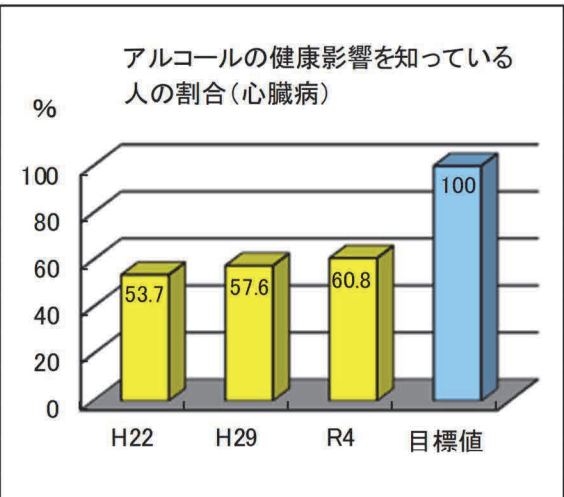
アルコールの健康影響を知っている人の割合(肝臓障害)は、H29年度より1.7ポイント増加した。
 アルコールが及ぼす健康影響の中では、肝臓障害が最も高かった。

目標：アルコールが及ぼす健康影響について知っている人を増やそう（すい炎・糖尿病）



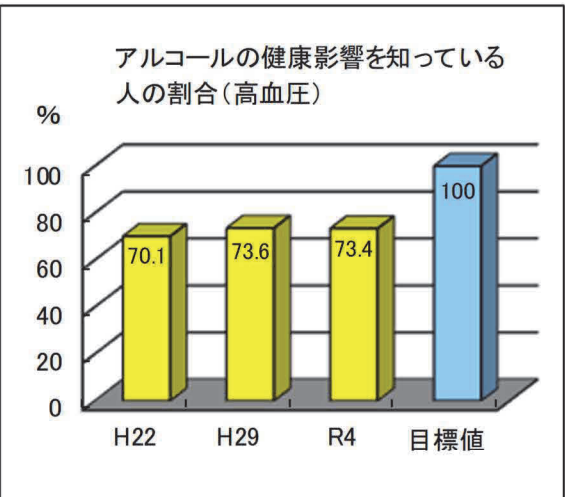
アルコールの健康影響を知っている人の割合(すい炎、糖尿病)は、H29年度より1.5ポイント増加した。
 H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：アルコールが及ぼす健康影響について知っている人を増やそう（心臓病）



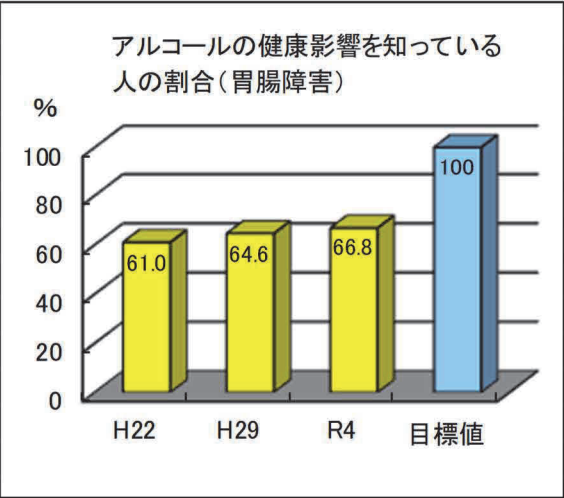
アルコールの健康影響を知っている人の割合(心臓病)は、H29年度より3.2ポイント増加した。
 H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：アルコールが及ぼす健康影響について知っている人を増やそう（高血圧）



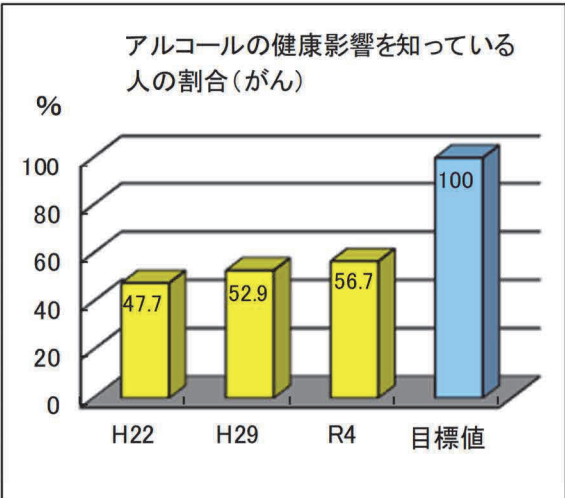
アルコールの健康影響を知っている人の割合(高血圧)は、H29年度より0.2ポイントわずかに減少した。

目標：アルコールが及ぼす健康影響について知っている人を増やそう（胃腸障害）



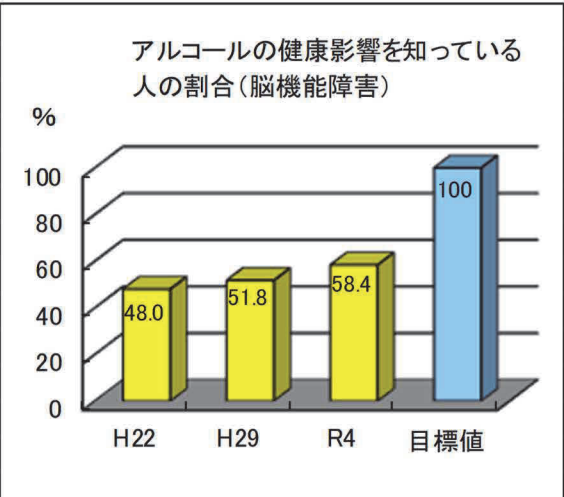
アルコールの健康影響を知っている人の割合(胃腸障害)は、H29年度より2.2ポイント増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：アルコールが及ぼす健康影響について知っている人を増やそう（がん）



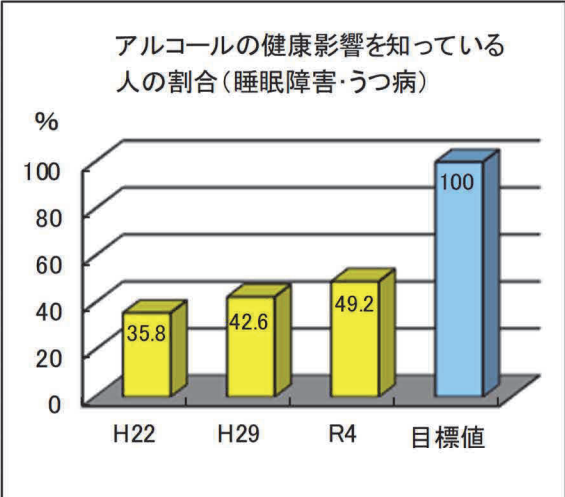
アルコールの健康影響を知っている人の割合(がん)は、H29年度より3.8ポイント増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：アルコールが及ぼす健康影響について知っている人を増やそう（脳機能障害）



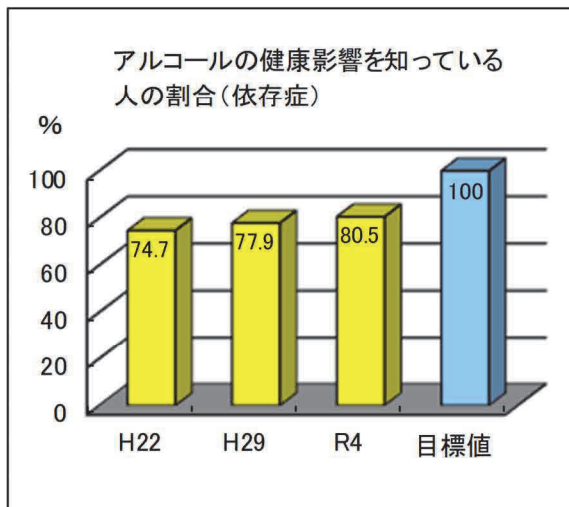
アルコールの健康影響を知っている人の割合(脳機能障害)は、H29年度より6.6ポイント増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：アルコールが及ぼす健康影響について知っている人を増やそう（睡眠障害・うつ病）



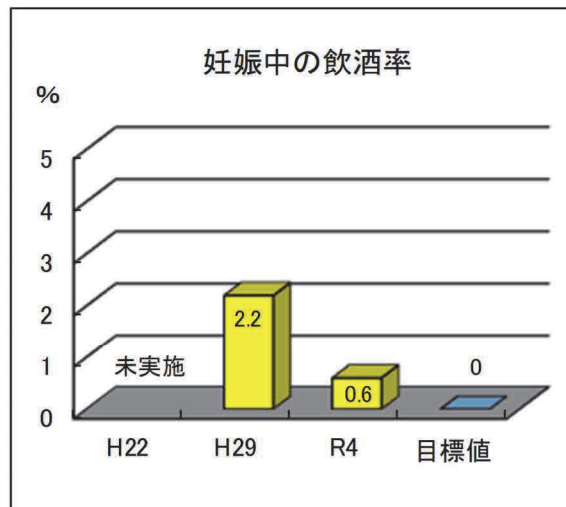
アルコールの健康影響を知っている人の割合(睡眠障害・うつ病)は、H29年度より6.6ポイント増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加したが、アルコールが及ぼす健康影響の中では、睡眠障害・うつ病が最も低かった。

目標：アルコールが及ぼす健康影響について知っている人を増やそう（依存症）



アルコールの健康影響を知っている人の割合(依存症)は、H29年度より2.6ポイント増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：妊娠中の飲酒をなくそう

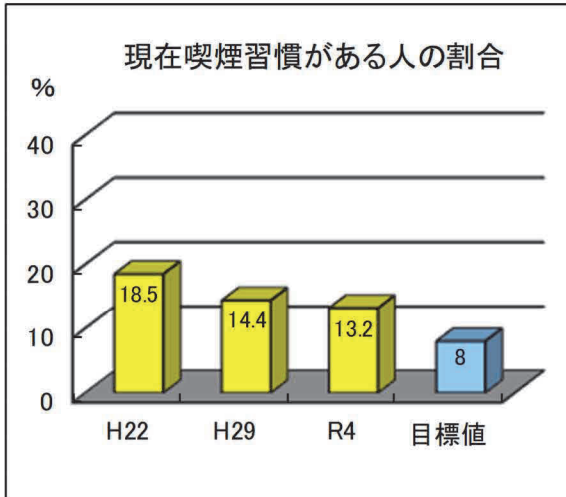


妊娠中の飲酒の割合は、H29年度より1.6ポイント減少した。

※管内妊婦飲酒率
H29:H28年度、 R4:R2年度

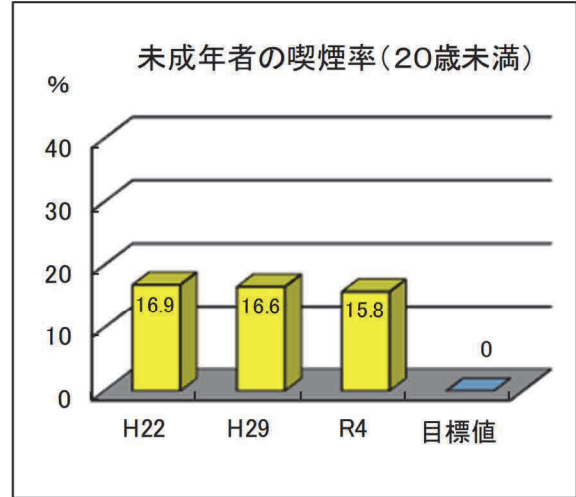
たばこ

目標：成人の喫煙習慣のある人を減らそう（20歳以上）



現在喫煙習慣がある人の割合は、H29年度より1.2ポイント減少した。
H22年度、H29年度、R4年度と減少した。

目標：未成年者の喫煙をなくそう（20歳未満）

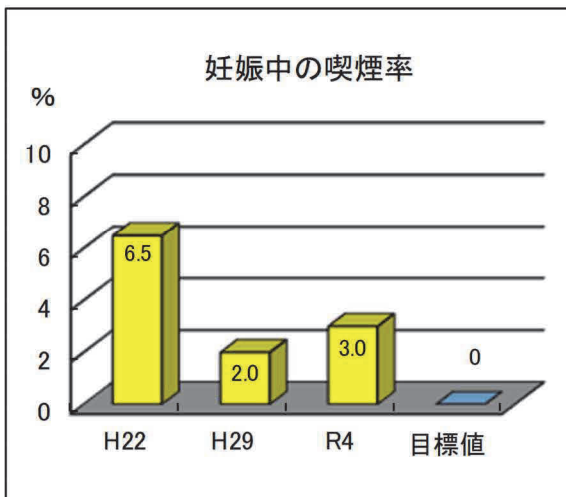


未成年者の喫煙率は、H29年度より0.8ポイント減少した。
H22年度、H29年度、R4年度と減少した。

※管内未成年者喫煙率

H22:H24年度、H29:H28年度、R4:R元年度

目標：妊娠中の喫煙をなくそう



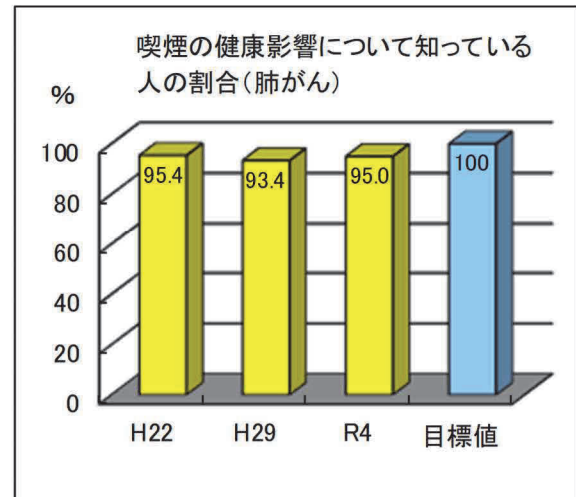
妊娠中の喫煙率は、H29年度より1.0ポイント増加した。

県の健康増進計画と同じ「健やか親子21（第2次）」の指標でみると、管内は1.8%（R2年度）だった。

※管内妊婦喫煙率

H22:H22年度、H29:H28年度、R4:R元年度

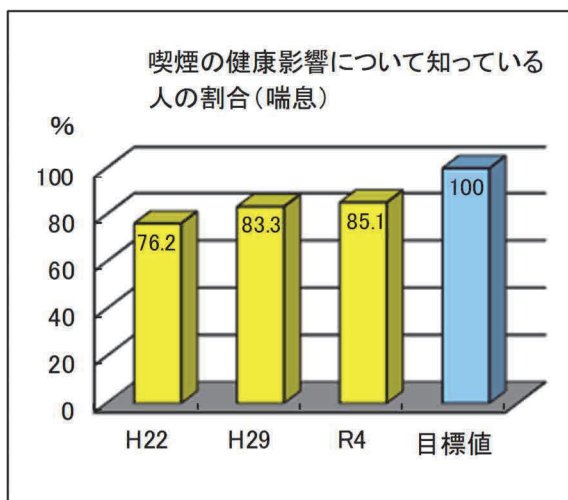
目標：喫煙が及ぼす健康影響について知っている人を増やそう（肺がん）



喫煙の健康影響について知っている人の割合（肺がん）は、H29年度より1.6ポイント増加した。

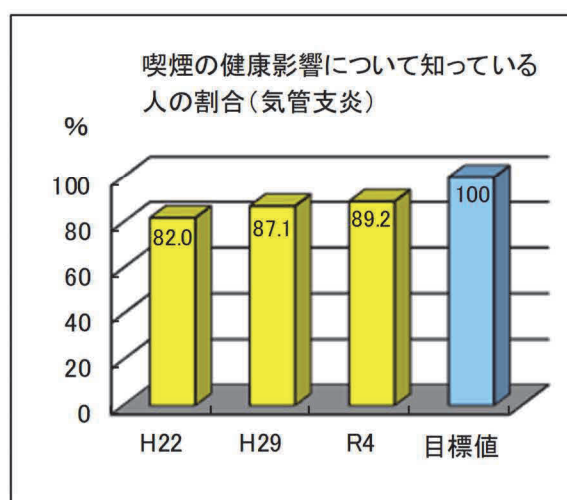
喫煙が及ぼす健康影響の中では、肺がんが最も高かった。

目標：喫煙が及ぼす健康影響について
知っている人を増やそう
(喘息)



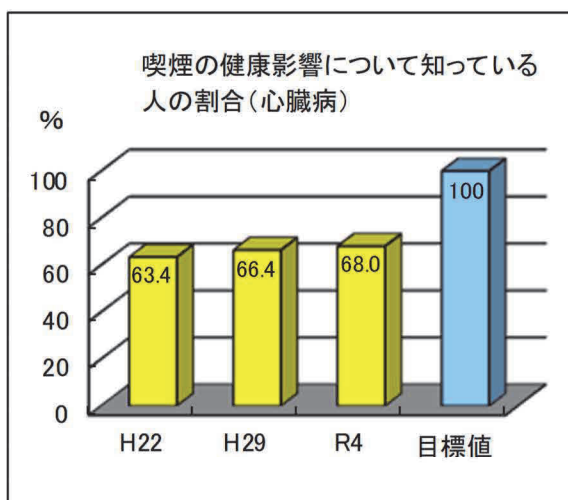
喫煙の健康影響について知っている人の割合(喘息)は、H29年度より1.8ポイント増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：喫煙が及ぼす健康影響について
知っている人を増やそう
(気管支炎)



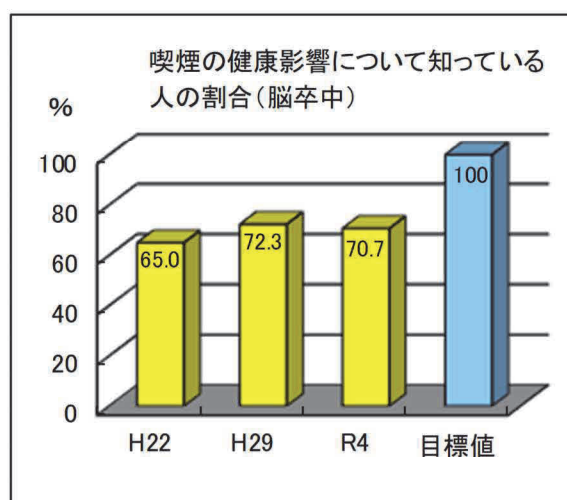
喫煙の健康影響について知っている人の割合(気管支炎)は、H29年度より2.1ポイント増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：喫煙が及ぼす健康影響について
知っている人を増やそう
(心臓病)



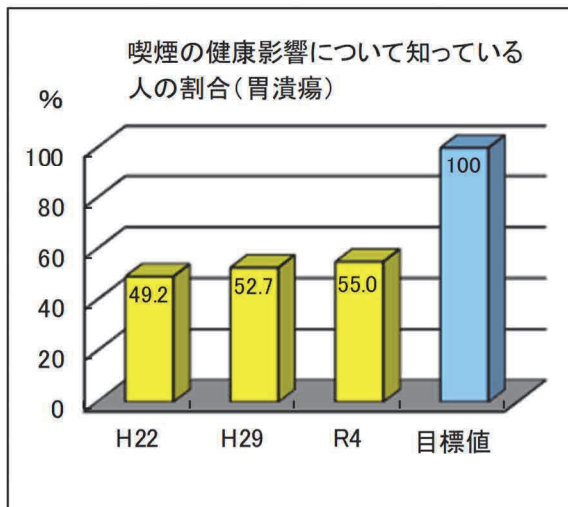
喫煙の健康影響について知っている人の割合(心臓病)は、H29年度より1.6ポイント増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：喫煙が及ぼす健康影響について
知っている人を増やそう
(脳卒中)



喫煙の健康影響について知っている人の割合(脳卒中)は、H29年度より1.6ポイント減少した。

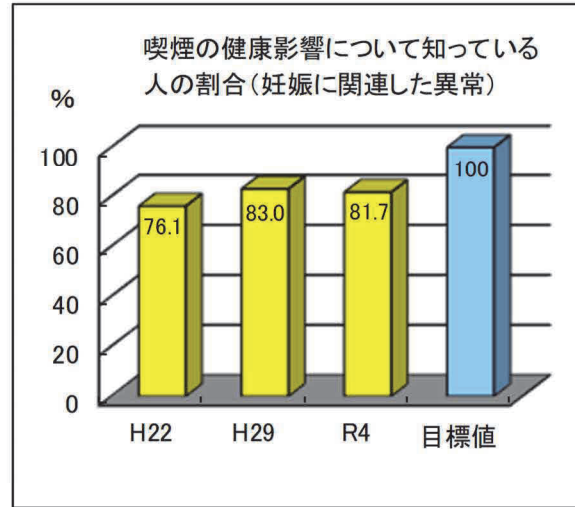
目標：喫煙が及ぼす健康影響について
知っている人を増やそう
(胃潰瘍)



喫煙の健康影響について知っている人の割合(胃潰瘍)は、前回のH29年度より2.3ポイント増加した。

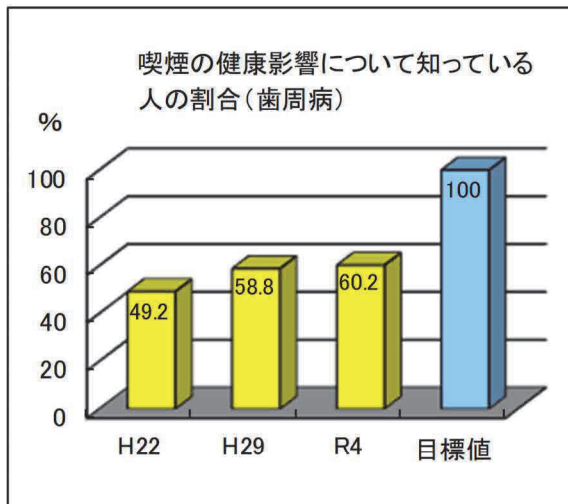
H22年度、H29年度、R4年度と増加したが、喫煙が及ぼす健康影響の中では、胃潰瘍が最も低かった。

目標：喫煙が及ぼす健康影響について
知っている人を増やそう
(妊娠に関連した異常)



喫煙の健康影響について知っている人の割合(妊娠に関連した異常)は、H29年度より1.3ポイント減少した。

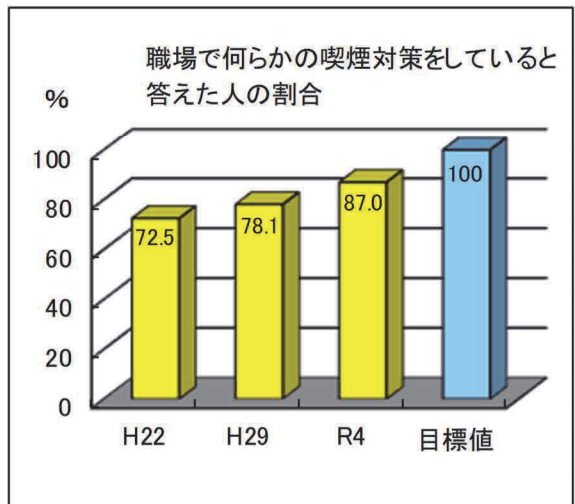
目標：喫煙が及ぼす健康影響について
知っている人を増やそう
(歯周病)



喫煙の健康影響について知っている人の割合(歯周病)は、H29年度より1.4ポイント増加した。

H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

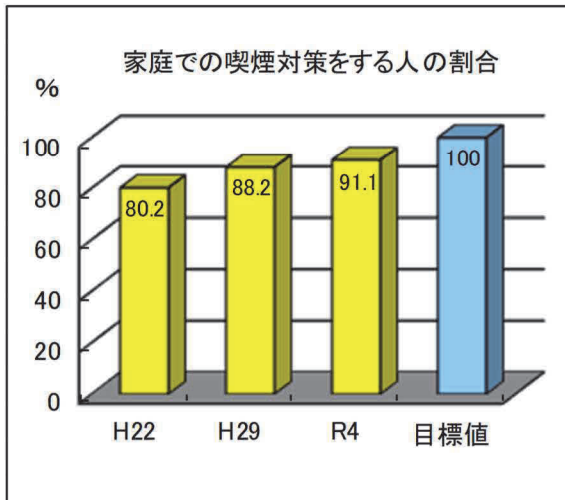
目標：喫煙対策をする職場を増やそう



現在就業している人のうち、職場で何らかの喫煙対策(喫煙者はいない+職場は禁煙+職場は分煙)をしていると答えた人の割合は、H29年度より8.9ポイントと大きく増加した。

H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：喫煙対策をする家庭を増やそう



家庭での喫煙対策(喫煙者はいない+家では吸わない+家族がいる場所では吸わない)をする人の割合は、H29年度より2.9ポイント増加した。

H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

酒

【判定区分】◎：達成、○：順調に改善、△：やや改善、×：横ばい・悪化、—：判定不能

課 題 目 標	基準値 H 2 2 年度	中間評価 H 2 9 年度	最終評価 R 4 年度	目標値	最終評価 判定
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合を減らそう 多量飲酒習慣のある人（≧純アルコール摂取量60g） ※（ ）内は、1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人（国・県の考え方と同様）	全体 5.9	4.7	5.8	4.7	△
	男 12.3	9.4 (21.0)	11.7 (21.2)	9.9	△
	女 0.8	1.2 (7.0)	1.3 (7.5)	0.6	×
適度な飲酒量を知っている人の割合を増やそう	33.4	33.1	30.3	100	×
アルコールが及ぼす健康影響について知っている人を増やそう					
肝臓障害	90.8	89.9	91.6	100	△
すい炎・糖尿病	73.4	75.4	76.9		△
心臓病	53.7	57.6	60.8		△
高血圧	70.1	73.6	73.4		△
胃腸障害	61.0	64.6	66.8		△
がん	47.7	52.9	56.7		△
脳機能障害	48.0	51.8	58.4		△
睡眠障害・うつ病	35.8	42.6	49.2		△
依存症	74.7	77.9	80.5		△
未成年者の飲酒をなくそう（20歳未満）	—	—	—	0	—
妊娠中の飲酒をなくそう	—	2.2	0.6	0	—

基準値、中間評価、最終評価の単位は%

※国・県の考え方：国が健康日本21（第二次）、県が第三次健康増進計画

（知識レベル）

適度な飲酒量を知っている人の割合は、中間評価、最終評価と減少し、約3割だった。

また、アルコールが及ぼす健康影響については、「肝臓障害」が最もよく知られており、9割を超えた。「高血圧」を除き、中間評価よりも増加したが、「睡眠障害・うつ病」、「がん」、「脳機能障害」は、6割に満たなかった。

今後は、様々な機会を通して、適度な飲酒量やアルコールが及ぼす健康影響についての普及啓発を行っていく必要がある。

（行動レベル）

多量飲酒習慣のある人の割合（全体）は、中間評価より増加し、目標を達成できなかった。

男女ともに中間評価よりも増加し、中間評価で目標を達成した男性も今回は目標を達成できなかった。特に50歳代男性では、2割近くが多量飲酒者だった。【表（4）－2】

妊婦の飲酒率は、中間評価より1.6ポイント減少したが、目標は達成できなかった。

今後は、多量飲酒割合が高い働く世代へ積極的な啓発を行うとともに、20歳未満の人や妊婦の飲酒をなくすためにも子供の頃からアルコールに関する正しい知識の普及に取り組んでいく必要がある。

判定不能「—」

「未成年者の飲酒をなくそう（20歳未満）」と「妊娠中の飲酒をなくそう」は、基準値がなく、到達係数を求められないため（管内の未成年者飲酒率は、把握できるものがない）。

たばこ

【判定区分】◎：達成、○：順調に改善、△：やや改善、×：横ばい・悪化、—：判定不能

課 題 目 標	基準値 H 2 2 年度	中間評価 H 2 9 年度	最終評価 R 4 年度	目標値	最終評価 判定
成人の喫煙習慣のある人を減らそう（20歳以上）	18.5	14.4	13.2	8	○
未成年者の喫煙をなくそう（20歳未満） ※（ ）内は、みなべ町含む割合	16.9 (17.1)	16.6	15.8	0	△
妊娠中の喫煙をなくそう	6.5	2.0	3.0	0	○
喫煙が及ぼす健康影響について知っている人を増やそう					
肺がん	95.4	93.4	95.0	100	×
喘息	76.2	83.3	85.1		△
気管支炎	82.0	87.1	89.2		△
心臓病	63.4	66.4	68.0		△
脳卒中	65.0	72.3	70.7		△
胃潰瘍	49.2	52.7	55.0		△
妊娠に関連した異常	76.1	83.0	81.7		△
歯周病	49.2	58.8	60.2		△
喫煙対策をする職場を増やそう	72.5	78.1	87.0		100
喫煙対策をする家庭を増やそう	80.2	88.2	91.1	100	○

基準値、中間評価、最終評価の単位は%

（知識レベル）

喫煙が及ぼす健康影響は、「肺がん」が最もよく知られており、中間評価よりも増加した。「脳卒中」と「妊娠に関連した異常」を除き、中間評価よりも増加したが、「胃潰瘍」、「歯周病」、「心臓病」は5～6割と低かった。

今後も様々な機会を通して、喫煙が及ぼす健康影響についての普及啓発を継続して行っていく必要がある。

（行動レベル）

成人の喫煙習慣のある人の割合は、中間評価、最終評価と減少したが、まだ目標値には達していない。女性より男性の割合が高かったが、中間評価との比較では、男性は減少し、女性は増加した。

40歳代の割合が最も高く、次いで50歳代で、働く世代で割合が高かった。【表（4）－5】

これらから、働く世代へ積極的に啓発を行うとともに、全年代に対しても普及啓発を継続して行っていく必要がある。

未成年者の喫煙率は、0.8ポイント減少して15.8%で、妊婦の喫煙率は中間評価よりも1.0ポイント増加して3.0%だった。

今後は、関係機関と連携を取りながら、未成年者を対象とした防煙教室の開催や妊娠届出時の妊婦面談等において個別に啓発を積極的に行い、20歳未満の人及び妊婦の喫煙については、ともに0%を目指す必要がある。

（環境レベル）

家庭や職場での喫煙対策は、ともに中間評価より増加した。家庭でも職場でも約9割が何らかの喫煙対策を講じており、喫煙及び受動喫煙をさせない環境づくりが進んでいると考えられる。

今後は、目標の100%を目指して、更なる啓発に取り組む必要がある。

(5) 歯・口の健康

1. 現在の自分の歯の本数

現在の歯の状況について、50歳代から歯の喪失がうかがえるが、前回調査と比較して、20歳代を除き歯の保有数は増加した。

また、60歳代で24本以上、70歳代で20本以上、80歳以上で20本以上の歯を保っている人の割合は、それぞれ62.1% (+6.8ポイント)、49.3% (+4.3ポイント)、28.0% (+4.5ポイント) だった。

表(5)-1

()内は前回

	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~
一人平均現在歯数(本)	30.1(30.3)	29.6(29.5)	28.9(28.4)	27.2(25.8)	22.6(21.0)	16.4(15.5)	10.9(9.5)
6024達成者率(%)					62.1(55.3)		
7020達成者率(%)						49.3(45.0)	
8020達成者率(%)							28.0(23.5)

2. 過去1年の歯科検診

過去1年間に歯科検診を受けた人の割合は、全体は56.3%で、5割を超えた。

また、男性では80歳以上、女性では30歳代が最も高く、それぞれ56.1% (+4.7ポイント)、68.5% (+9.7ポイント) だった。

表(5)-2

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(43.1)	(53.3)	(58.6)	(59.1)	(57.8)	(61.3)	(50.2)	(56.4)	(57.7)
	受けた	48.1	61.7	57.6	56.3	57.9	57.6	50.7	56.3	56.2
	受けていない	51.9	38.3	42.4	43.7	42.1	42.4	49.3	43.7	43.8
男	(前回)	(35.6)	(45.7)	(51.4)	(52.1)	(54.4)	(60.8)	(51.4)	(52.3)	(54.5)
	受けた	40.3	54.1	47.1	51.2	52.9	52.8	56.1	51.7	52.2
	受けていない	59.7	45.9	52.9	48.8	47.1	47.2	43.9	48.3	47.8
女	(前回)	(51.6)	(58.8)	(64.2)	(64.6)	(60.9)	(61.6)	(49.5)	(59.7)	(60.3)
	受けた	54.8	68.5	65.7	60.3	62.2	61.4	47.3	59.9	59.4
	受けていない	45.2	31.5	34.3	39.7	37.8	38.6	52.7	40.1	40.6

3. 過去1年の歯石除去や歯面清掃

過去1年に歯石除去や歯面清掃を受けた人の割合は、全体では47.6% (+2.0ポイント) で、前回調査と比較すると増加した。

また、男性の20歳代と50~70歳代、女性の50歳代で減少した。

表(5)-3

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(37.2)	(47.1)	(49.7)	(50.8)	(49.3)	(45.1)	(31.4)	(45.6)	(46.0)
	受けた	41.8	54.2	54.8	47.8	50.9	46.0	36.1	47.6	47.2
	受けていない	58.2	45.8	45.2	52.2	49.1	54.0	63.9	52.4	52.8
男	(前回)	(34.2)	(38.3)	(40.1)	(43.9)	(45.0)	(42.6)	(32.1)	(40.9)	(41.8)
	受けた	30.6	45.0	44.5	38.1	42.4	39.5	43.6	41.1	41.4
	受けていない	69.4	55.0	55.5	61.9	57.6	60.5	56.4	58.9	58.6
女	(前回)	(40.6)	(53.4)	(57.2)	(56.3)	(53.3)	(47.3)	(31.0)	(49.4)	(49.4)
	受けた	51.4	62.4	62.9	55.3	58.2	51.2	31.5	52.7	51.7
	受けていない	48.6	37.6	37.1	44.7	41.8	48.8	68.5	47.3	48.3

4. 歯間部清掃用器具

歯間部清掃用器具の使用状況は、全体的に増加しており、特に「フロス」を使用する割合が大幅に増加し、次いで、「歯間刺激子」を使用する人の割合が増加した。

また、男女ともに「歯間ブラシ」の割合が最も高く、次いで「フロス」となっており、「フロス」については、全年代において男性よりも女性の割合が高かった。

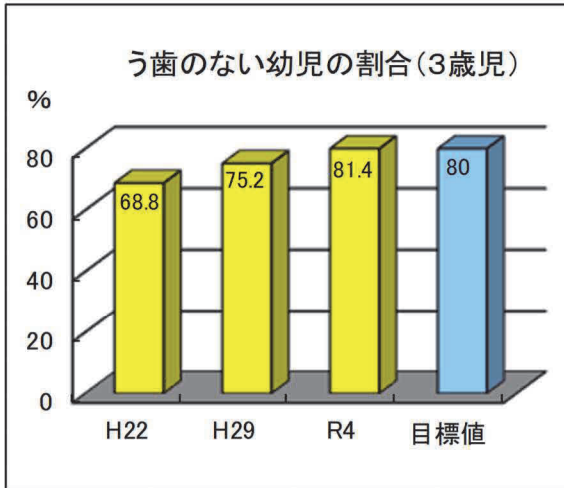
表(5) - 4

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(5.3)	(16.6)	(11.5)	(14.9)	(4.8)	(5.8)	(1.5)	(8.4)	(7.6)
	フロス	15.3	28.2	22.6	19.3	9.3	4.9	2.5	12.9	10.9
	(前回)	(12.2)	(18.5)	(25.3)	(25.4)	(28.2)	(27.3)	(23.9)	(24.6)	(26.3)
	歯間ブラシ	9.9	16.3	26.7	29.3	31.3	33.1	24.4	27.1	29.6
	(前回)	(0.0)	(0.0)	(0.7)	(0.6)	(1.3)	(0.8)	(0.4)	(0.7)	(0.8)
	歯間刺激子	0.0	0.9	2.4	1.4	2.6	0.6	1.6	1.5	1.7
	(前回)	(0.0)	(0.5)	(1.0)	(1.2)	(0.8)	(2.5)	(1.1)	(1.2)	(1.3)
	水流式洗浄	0.8	1.8	0.7	0.0	0.4	0.4	0.6	0.6	0.4
(前回)	(6.9)	(4.7)	(8.3)	(7.5)	(9.4)	(11.1)	(10.4)	(8.7)	(9.4)	
つまようじ	3.8	4.4	4.4	6.7	7.1	5.3	7.5	5.9	6.2	
(前回)	(75.6)	(59.7)	(53.1)	(50.4)	(55.5)	(52.4)	(62.7)	(56.4)	(54.6)	
使用せず	70.2	48.5	43.2	43.3	49.3	55.7	63.4	52.0	51.2	
男	(前回)	(2.9)	(13.2)	(6.2)	(16.0)	(6.0)	(3.9)	(2.0)	(7.3)	(7.0)
	フロス	6.7	24.3	13.4	11.6	8.1	3.6	2.4	9.3	7.6
	(前回)	(10.3)	(9.9)	(18.5)	(18.6)	(18.5)	(25.0)	(27.0)	(19.2)	(21.1)
	歯間ブラシ	15.0	9.3	23.9	21.3	21.8	25.2	27.0	21.7	23.6
	(前回)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(1.3)	(0.4)	(0.0)	(1.0)	(0.4)	(0.5)
	歯間刺激子	0.0	0.0	1.5	1.2	1.3	0.0	0.8	0.8	0.9
	(前回)	(0.0)	(1.1)	(0.8)	(0.6)	(0.4)	(3.3)	(1.0)	(1.1)	(1.3)
	水流式洗浄	0.0	2.8	0.7	0.0	0.9	0.9	0.0	0.8	0.6
(前回)	(5.9)	(6.6)	(12.3)	(7.7)	(12.1)	(11.1)	(8.0)	(9.8)	(10.5)	
つまようじ	5.0	5.6	7.5	6.7	11.5	7.7	7.1	7.9	8.4	
(前回)	(80.9)	(69.2)	(62.3)	(55.8)	(62.5)	(56.7)	(61.0)	(62.1)	(59.6)	
使用せず	73.3	57.9	53.0	59.1	56.4	62.6	62.7	59.6	58.9	
女	(前回)	(7.9)	(19.2)	(15.8)	(14.0)	(3.6)	(7.8)	(1.2)	(9.2)	(8.1)
	フロス	22.5	31.7	30.2	25.8	10.3	6.0	2.6	15.8	13.6
	(前回)	(14.3)	(25.0)	(31.0)	(31.3)	(37.2)	(29.6)	(22.0)	(29.3)	(30.8)
	歯間ブラシ	5.6	22.5	29.0	36.1	39.8	39.6	22.7	31.7	34.4
	(前回)	(0.0)	(0.0)	(1.3)	(0.0)	(2.0)	(1.7)	(0.0)	(0.9)	(1.1)
	歯間刺激子	0.0	1.7	3.1	1.5	3.8	1.1	2.1	2.1	2.3
	(前回)	(0.0)	(0.0)	(1.3)	(1.7)	(1.2)	(1.7)	(1.2)	(1.2)	(1.4)
	水流式洗浄	1.4	0.8	0.6	0.0	0.0	0.0	1.0	0.4	0.3
(前回)	(7.9)	(3.3)	(5.1)	(7.3)	(6.9)	(11.2)	(11.9)	(7.8)	(8.4)	
つまようじ	2.8	3.3	1.9	6.7	3.1	3.4	7.7	4.3	4.4	
(前回)	(69.8)	(52.5)	(45.6)	(45.8)	(49.0)	(48.0)	(63.7)	(51.6)	(50.3)	
使用せず	67.6	40.0	35.2	29.9	42.9	50.0	63.9	45.7	44.9	

歯・口の健康

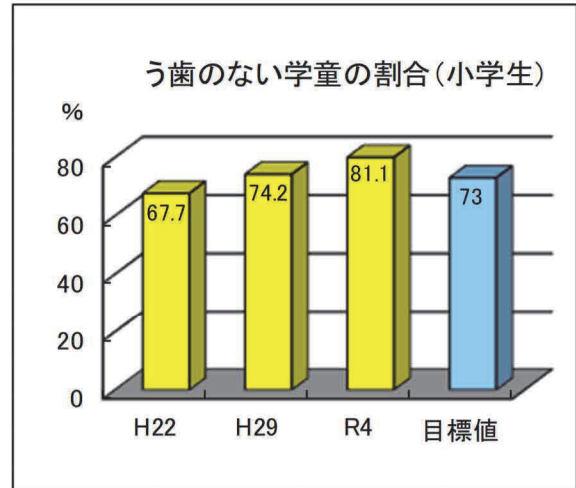
目標：う歯のない幼児の割合を増やそう（3歳児）



う歯のない幼児の割合は、H29年度より6.2ポイントと大きく増加し、今回は目標を達成した。

※管内う歯のない幼児の割合(3歳児)
H22:H22年度、H29:H28年度、R4:R3年度

目標：う歯のない学童の割合を増やそう（小学生）

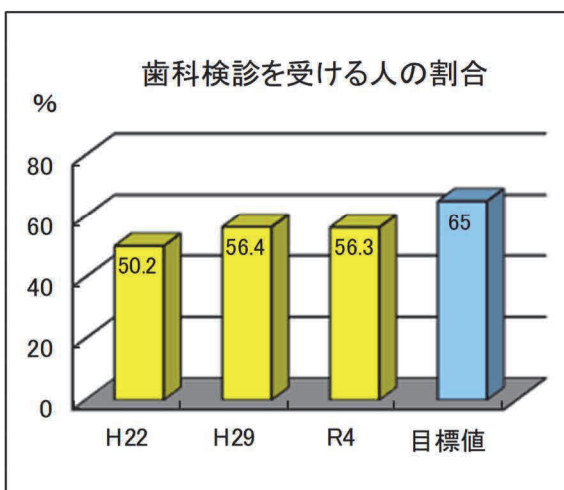


う歯のない学童の割合は、H29年度より6.9ポイント増加した。

今回調査では、中間評価と同様に目標を達成した。

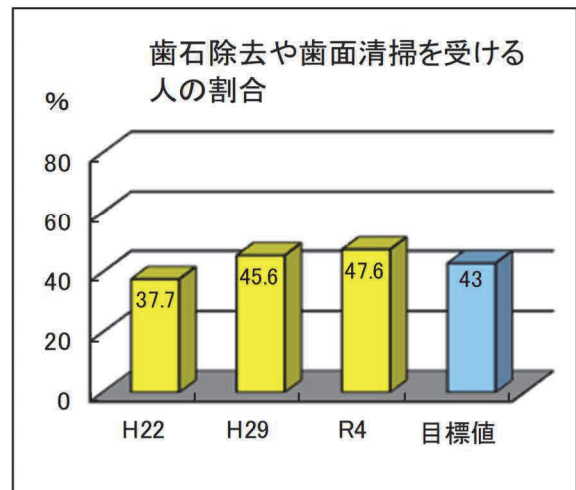
※管内う歯のない学童の割合(小学生)
H22:H22年度、H29:H28年度、R4:R3年度

目標：歯科検診を受ける人の割合を増やそう



歯科検診を受ける人の割合は、H29年度より0.1ポイントとわずかに減少した。

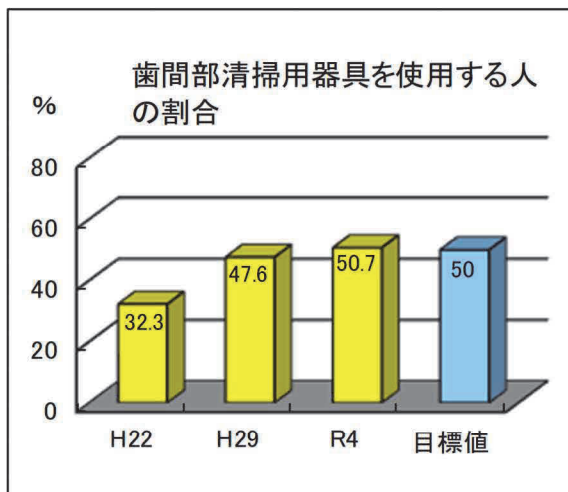
目標：歯石除去や歯面清掃を受ける人の割合を増やそう



予防処置を受ける人(健康な歯を保つため、過去1年間に歯石除去や歯面清掃などの予防処置を受けた人)の割合は、H29年度より2.0ポイント増加した。

今回調査では、中間評価と同様に目標を達成した。

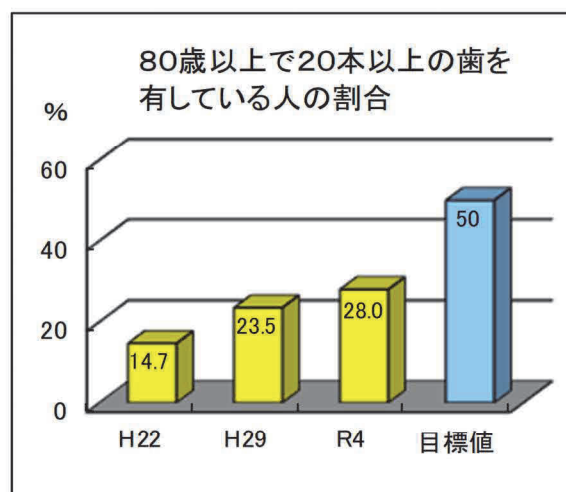
目標：歯間部清掃用器具を使用する人の割合を増やそう



歯間部清掃用器具(デンタルフロス、歯間ブラシ、歯間刺激子など)を使用する人の割合は、H29年度より3.1ポイント増加し、今回調査では目標を達成した。

また、最もよく使用している歯間部清掃用器具は、歯間ブラシ、次いでデンタルフロスだった。

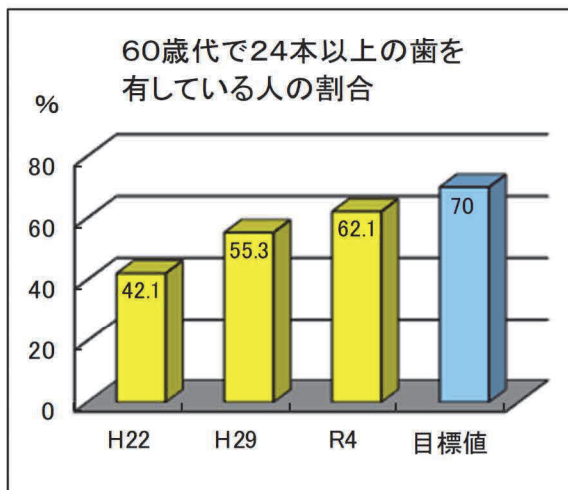
目標：80歳以上で20本以上の歯を有する人の割合を増やそう



80歳以上で20本以上の歯を有している人の割合は、H29年度より4.5ポイント増加した。

H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

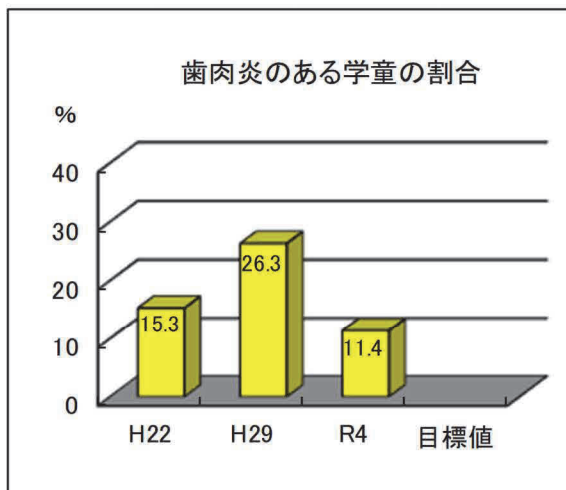
目標：60歳代で24本以上の歯を有する人の割合を増やそう



60歳代で24本以上の歯を有している人の割合は、H29年度より6.8ポイントと大きく増加した。

H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：歯肉炎のある学童の割合を減らそう(小学生)



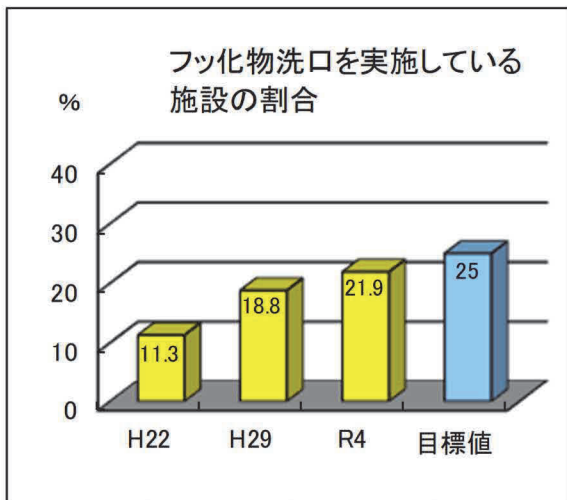
歯肉炎のある学童の割合は、H29年度より14.9ポイント減少した。

※目標値は小学6年生のみで設定されているため、比較なしとしている。

※管内歯肉炎のある学童の割合(小学生)

H22:H22年度、H29:H28年度、R4:R3年度

目標：フッ化物洗口を実施している施設の割合を増やそう



フッ化物洗口を実施している施設（保育所、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校）の割合は、H29年度より3.1ポイント増加した。H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

※管内フッ化物洗口実施施設の割合
H22:H24年度、H29:H29年度、R4:R4年度

歯・口の健康

【判定区分】◎：達成、○：順調に改善、△：やや改善、×：横ばい・悪化、—：判定不能

課 題 目 標	基準値 H 2 2 年度	中間評価 H 2 9 年度	最終評価 R 4 年度	目標値	最終評価 判定
う歯のない幼児の割合を増やそう（3歳児）	68.8	75.2	81.4	80	◎
う歯のない学童の割合を増やそう（小学生）	67.7	74.2	81.1	73	◎
歯科検診を受ける人の割合を増やそう	50.2	56.4	56.3	65	△
健康な歯を保つため、歯石除去や歯面清掃を受ける人の割合を増やそう	37.7	45.6	47.6	43	◎
デンタルフロスや歯間ブラシ等の歯間部清掃用器具を使用する人の割合を増やそう	32.3	47.6	50.7	50	◎
80歳以上で20本以上の歯を有する人の割合を増やそう	14.7	23.5	28.0	50	△
60歳代で24本以上の歯を有する人の割合を増やそう	42.1	55.3	62.1	70	○
歯肉炎のある学童の割合を減らそう（小学生）	15.3 (小学生) 24.0 (小学6年生)	26.3 (小学生)	11.4 (小学生) 15.4 (小学6年生)	20 (小学6年生)	— (小学生) ◎ (小学6年生)
フッ化物洗口を実施している施設の割合を増やそう	11.3	18.8	21.9	25	○

基準値、中間評価、最終評価の単位は%

(行動レベル)

う歯のない幼児（3歳児）、う歯のない学童（小学生）、健康な歯を保つための予防処置を受ける人、歯間部清掃用器具を使用する人、歯肉炎のある学童（小学6年生）の割合の5項目は、目標を達成した。

「歯・口の健康」の分野は、目標を達成した項目が多く、「横ばい・悪化」はなかった。

過去1年間の「歯科検診」と「予防処置」は、どちらも男性より女性の割合が高かった。【表（5）－2】【表（5）－3】

歯間部清掃用器具の使用状況は、男性より女性の方が割合が高く、「使用している器具」では、20～30歳代の若い年代では「フロス」が最も多く、40歳以上では「歯間ブラシ」が多かった。全年代では、男女ともに「歯間ブラシ」の割合が最も高く、4人に1人が歯間ブラシを使用していた。【表（5）－4】

フッ化物洗口を実施する施設の割合は、中間評価、最終評価と増加したが、約2割であり、まだ目標に達していない。

各年代の現在の歯の数は、20歳代で中間評価よりもわずかに少なかったが、他の全年代では増えた。【表（5）－1】

しかし、50歳代から歯の喪失が確認されており、その最大の原因である「歯周病」の予防対策に今後も取り組んでいくため、「歯周病検診」や定期的な歯科検診等の普及啓発を継続して行っていく必要がある。

さらに、関係機関と連携を取りながら、成人だけではなく、子供のう歯予防対策の取組も継続していく必要がある。

(6) 生活習慣病

1. 健診受診頻度

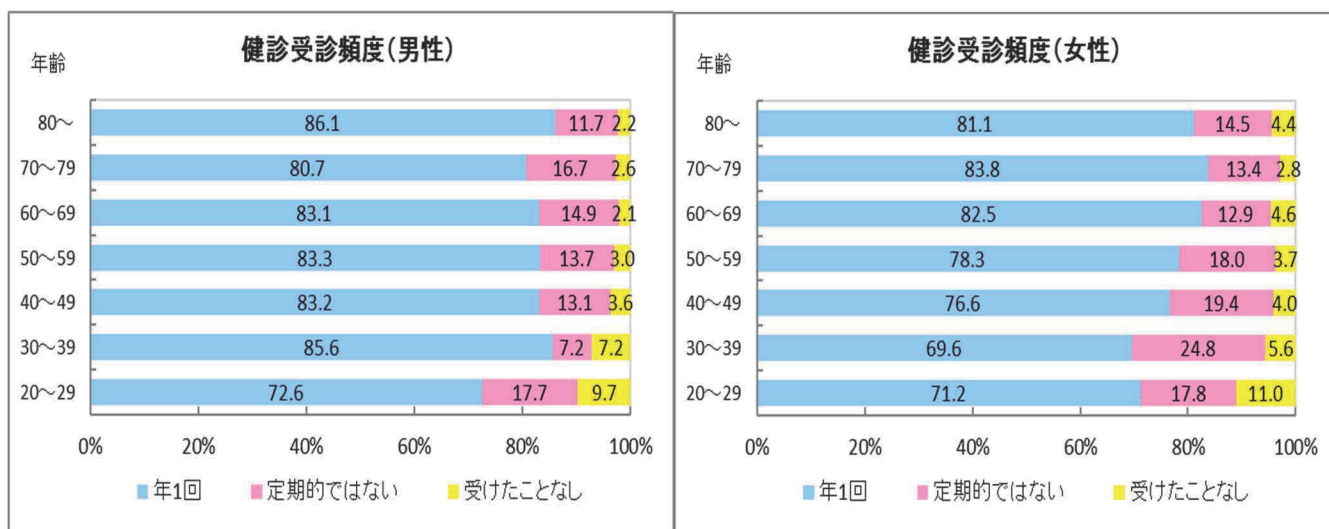
「年1回」健診を受けている人の割合は、男女とも増加しており、男性82.7% (+1.3ポイント)、女性79.4% (+3.4ポイント) だった。

男性では、20～30歳代と60歳代で増加しており、女性では50歳代と80歳以上を除いた全年代で増加した。

表(6)-1

(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
総数	(前回)	(63.5)	(66.2)	(78.4)	(81.1)	(78.1)	(82.4)	(86.1)	(78.4)	(80.9)
	年1回	71.9	77.1	79.5	80.5	82.8	82.4	83.0	80.8	81.8
	定期的ではない	17.8	16.5	16.7	16.1	13.8	14.9	13.4	15.2	14.9
	(前回)	(11.7)	(11.1)	(6.3)	(2.2)	(4.0)	(2.9)	(1.4)	(4.6)	(3.4)
	受けたことがなし	10.4	6.4	3.8	3.4	3.4	2.7	3.6	4.0	3.3
男	(前回)	(69.9)	(78.7)	(85.2)	(84.1)	(78.1)	(82.8)	(87.3)	(81.4)	(82.7)
	年1回	72.6	85.6	83.2	83.3	83.1	80.7	86.1	82.7	83.0
	定期的ではない	17.7	7.2	13.1	13.7	14.9	16.7	11.7	13.9	14.4
	(前回)	(11.0)	(7.4)	(5.6)	(0.6)	(2.4)	(4.2)	(2.7)	(4.0)	(3.0)
	受けたことがなし	9.7	7.2	3.6	3.0	2.1	2.6	2.2	3.5	2.6
女	(前回)	(56.3)	(57.3)	(73.0)	(78.6)	(78.0)	(82.0)	(85.5)	(76.0)	(79.5)
	年1回	71.2	69.6	76.6	78.3	82.5	83.8	81.1	79.4	80.9
	定期的ではない	17.8	24.8	19.4	18.0	12.9	13.4	14.5	16.2	15.2
	(前回)	(12.5)	(13.7)	(6.7)	(3.4)	(5.5)	(1.8)	(0.5)	(5.1)	(3.6)
	受けたことがなし	11.0	5.6	4.0	3.7	4.6	2.8	4.4	4.4	3.9



2. 健診を受けていない理由

健診を受けていない理由として、男性は「面倒」が26.3% (+3.2ポイント)、女性は「忘れる」が34.6% (-4.2ポイント) で最も割合が高かった。

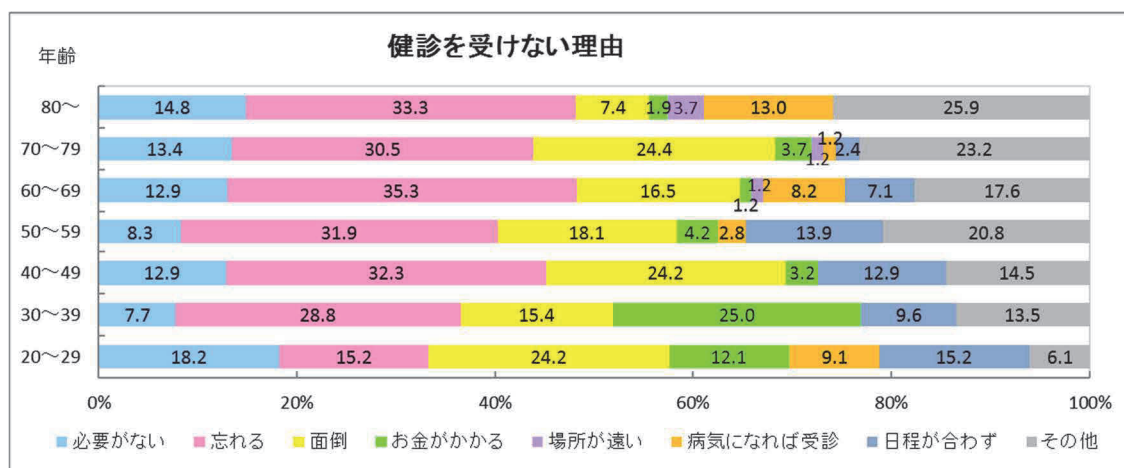
特に男性の20歳代～40歳代と70歳代では、「面倒」の割合が高く、女性の20歳代を除いた全年代では、「忘れる」の割合が高かった。

また、女性の30歳代では、「お金がかかる」と答えた人の割合が31.6% (+12.0ポイント) と高かった。

表(6) - 2

(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
総数	(前回)	(15.6)	(7.8)	(15.2)	(8.8)	(9.7)	(17.6)	(24.2)	(13.0)	(13.6)
	必要がない	18.2	7.7	12.9	8.3	12.9	13.4	14.8	12.3	12.4
	(前回)	(20.0)	(29.7)	(37.9)	(50.0)	(41.7)	(35.3)	(30.3)	(36.7)	(40.2)
	忘れる	15.2	28.8	32.3	31.9	35.3	30.5	33.3	30.9	32.7
	(前回)	(31.1)	(10.9)	(19.7)	(17.6)	(18.4)	(10.3)	(6.1)	(16.6)	(15.7)
	面倒	24.2	15.4	24.2	18.1	16.5	24.4	7.4	18.6	18.6
	(前回)	(17.8)	(23.4)	(9.1)	(4.4)	(5.8)	(1.5)	(0.0)	(8.7)	(4.7)
	お金がかかる	12.1	25.0	3.2	4.2	1.2	3.7	1.9	6.1	2.8
	(前回)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(2.9)	(1.0)	(2.9)	(3.0)	(1.3)	(1.8)
	場所が遠い	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.2	3.7	0.9	1.1
	(前回)	(2.2)	(4.7)	(3.0)	(1.5)	(5.8)	(14.7)	(15.2)	(6.3)	(7.1)
	病気になるば受診	9.1	0.0	0.0	2.8	8.2	1.2	13.0	4.5	4.8
	(前回)	(4.4)	(7.8)	(6.1)	(10.3)	(2.9)	(2.9)	(0.0)	(5.1)	(4.7)
	日程が合わず	15.2	9.6	12.9	13.9	7.1	2.4	0.0	8.2	7.3
(前回)	(8.9)	(15.6)	(9.1)	(4.4)	(14.6)	(14.7)	(21.2)	(12.3)	(12.1)	
その他	6.1	13.5	14.5	20.8	17.6	23.2	25.9	18.4	20.3	
男	(前回)	(20.0)	(11.1)	(25.0)	(4.0)	(4.3)	(24.1)	(27.3)	(14.2)	(13.7)
	必要がない	23.1	21.4	17.4	11.1	13.2	10.3	17.6	14.6	13.2
	(前回)	(15.0)	(11.1)	(30.0)	(56.0)	(43.5)	(31.0)	(18.2)	(33.1)	(38.9)
	忘れる	15.4	14.3	13.0	22.2	36.8	23.1	41.2	25.1	27.1
	(前回)	(50.0)	(22.2)	(20.0)	(24.0)	(17.4)	(24.1)	(0.0)	(23.1)	(19.1)
	面倒	30.8	42.9	39.1	18.5	18.4	35.9	0.0	26.3	24.3
	(前回)	(5.0)	(33.3)	(5.0)	(4.0)	(10.9)	(3.4)	(0.0)	(8.9)	(6.1)
	お金がかかる	7.7	7.1	0.0	3.7	0.0	5.1	5.9	3.5	2.8
	(前回)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(2.2)	(0.0)	(9.1)	(1.2)	(1.5)
	場所が遠い	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.6	0.7
	(前回)	(0.0)	(5.6)	(0.0)	(4.0)	(2.2)	(10.3)	(9.1)	(4.1)	(4.6)
	病気になるば受診	0.0	0.0	0.0	3.7	13.2	0.0	11.8	4.7	5.6
	(前回)	(0.0)	(0.0)	(10.0)	(8.0)	(2.2)	(0.0)	(0.0)	(3.0)	(3.8)
	日程が合わず	23.1	14.3	17.4	14.8	5.3	2.6	0.0	9.4	7.6
(前回)	(10.0)	(16.7)	(10.0)	(0.0)	(17.4)	(6.9)	(36.4)	(12.4)	(12.2)	
その他	0.0	0.0	13.0	25.9	10.5	23.1	23.5	15.8	18.8	
女	(前回)	(12.0)	(6.5)	(10.9)	(11.6)	(14.0)	(12.8)	(22.7)	(12.2)	(13.5)
	必要がない	15.0	2.6	10.3	6.7	12.8	16.3	13.5	10.8	11.8
	(前回)	(24.0)	(37.0)	(41.3)	(46.5)	(40.4)	(38.5)	(36.4)	(38.8)	(41.1)
	忘れる	15.0	34.2	43.6	37.8	34.0	37.2	29.7	34.6	36.5
	(前回)	(16.0)	(6.5)	(19.6)	(14.0)	(19.3)	(0.0)	(9.1)	(12.6)	(13.5)
	面倒	20.0	5.3	15.4	17.8	14.9	14.0	10.8	13.8	14.7
	(前回)	(28.0)	(19.6)	(10.9)	(4.7)	(1.8)	(0.0)	(0.0)	(8.6)	(3.9)
	お金がかかる	15.0	31.6	5.1	4.4	2.1	2.3	0.0	7.8	2.8
	(前回)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(4.7)	(0.0)	(5.1)	(0.0)	(1.4)	(1.9)
	場所が遠い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	5.4	1.1	1.4
	(前回)	(4.0)	(4.3)	(4.3)	(0.0)	(8.8)	(17.9)	(18.2)	(7.6)	(8.7)
	病気になるば受診	15.0	0.0	0.0	2.2	4.3	2.3	13.5	4.5	4.3
	(前回)	(8.0)	(10.9)	(4.3)	(11.6)	(3.5)	(5.1)	(0.0)	(6.5)	(5.3)
	日程が合わず	10.0	7.9	10.3	13.3	8.5	2.3	0.0	7.4	7.1
(前回)	(8.0)	(15.2)	(8.7)	(7.0)	(12.3)	(20.5)	(13.6)	(12.2)	(12.1)	
その他	10.0	18.4	15.4	17.8	23.4	23.3	27.0	20.1	21.3	



3. 血圧が高いと言われたこと

血圧が高いと言われたことがある人の割合は、全体では43.0% (+2.8ポイント) で増加しており、男性は70歳代が67.5% (-1.9ポイント)、女性は80歳以上が60.6% (-3.6ポイント) で最も高かった。

また、男性は40歳代、女性は30歳代でポイント増加が大きく、それぞれ36.8% (+9.8ポイント)、10.5% (+6.7ポイント) だった。

表(6)-3

(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
総数	ない	88.1	79.6	70.6	60.4	47.8	38.0	36.8	54.0	49.0
	(前回)	(7.4)	(11.1)	(18.4)	(40.0)	(46.3)	(58.7)	(61.7)	(40.2)	(45.8)
	ある	6.7	14.0	26.2	35.8	50.3	60.9	60.2	43.0	48.5
	わからない	5.2	6.4	3.2	3.9	1.9	1.1	3.0	3.0	2.5
男	ない	82.0	71.2	60.3	47.0	38.2	31.6	38.2	46.8	41.4
	(前回)	(11.3)	(21.3)	(27.0)	(50.6)	(54.4)	(69.4)	(57.4)	(47.2)	(53.0)
	ある	11.5	18.0	36.8	48.2	59.7	67.5	59.6	49.7	56.2
	わからない	6.6	10.8	2.9	4.8	2.1	0.9	2.2	3.5	2.4
女	ない	93.2	87.1	78.6	70.5	55.8	43.0	36.0	59.6	54.7
	(前回)	(3.1)	(3.8)	(11.7)	(31.5)	(39.1)	(50.0)	(64.2)	(34.6)	(40.2)
	ある	2.7	10.5	17.9	26.4	42.4	55.7	60.6	37.9	42.8
	わからない	4.1	2.4	3.5	3.2	1.8	1.3	3.4	2.6	2.5

4. 血圧の治療が必要と言われたこと

血圧の治療が必要と言われたことがある人の割合は、男性35.8% (+0.1ポイント)、女性29.7% (+1.4ポイント) で、前回調査と比較して増加した。また、「わからない」と答えた人の割合は、全体では2.7%だった。

表(6)-4

(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
総数	ない	93.3	92.7	84.8	74.1	59.3	46.3	45.6	65.0	60.1
	(前回)	(1.5)	(4.0)	(8.2)	(27.3)	(35.6)	(54.4)	(55.8)	(31.6)	(36.9)
	ある	1.5	3.0	13.2	22.8	38.0	52.4	51.8	32.4	37.6
	わからない	5.2	4.3	1.9	3.1	2.7	1.3	2.7	2.7	2.3
男	ない	88.5	90.9	76.5	65.7	52.1	43.2	47.4	60.7	55.2
	(前回)	(1.4)	(6.4)	(10.9)	(35.8)	(42.3)	(62.5)	(51.7)	(35.7)	(41.8)
	ある	3.3	2.7	20.6	30.7	44.5	55.1	50.4	35.8	42.0
	わからない	8.2	6.4	2.9	3.6	3.4	1.7	2.2	3.4	2.8
女	ない	97.3	94.4	91.4	80.5	65.5	48.8	44.5	68.2	63.8
	(前回)	(1.6)	(2.3)	(6.2)	(20.5)	(29.6)	(47.6)	(58.2)	(28.3)	(33.1)
	ある	0.0	3.2	7.5	16.8	32.4	50.2	52.5	29.7	34.2
	わからない	2.7	2.4	1.1	2.7	2.1	1.0	3.0	2.1	2.0

5. 血圧の治療状況

要治療者の血圧の治療状況について、「治療を受けている」と答えた人の割合は、全体では94.1%（-0.1ポイント）で、わずかに減少した。

また、自分の治療状況が「わからない」と答えた人はいなかった。

表(6) - 5

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(50.0)	(77.8)	(76.9)	(89.8)	(94.5)	(96.9)	(97.0)	(94.2)	(94.5)
	受けている	50.0	42.9	73.2	96.6	93.8	95.6	97.8	94.1	94.6
	(前回)	(50.0)	(22.2)	(23.1)	(9.2)	(5.5)	(3.1)	(2.4)	(5.5)	(5.2)
	受けていない	50.0	57.1	26.8	3.4	6.2	4.4	2.2	5.9	5.4
	わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男	(前回)	(100.0)	(66.7)	(86.7)	(87.9)	(95.1)	(96.6)	(96.6)	(93.9)	(94.3)
	受けている	50.0	66.7	71.4	94.1	92.4	95.3	95.3	92.1	92.6
	(前回)	(0.0)	(33.3)	(13.3)	(12.1)	(4.9)	(3.4)	(3.4)	(6.1)	(5.7)
	受けていない	50.0	33.3	28.6	5.9	7.6	4.7	4.7	7.9	7.4
	わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女	(前回)	(0.0)	(100.0)	(63.6)	(92.5)	(93.7)	(97.2)	(97.2)	(94.5)	(94.8)
	受けている	-	25.0	76.9	100.0	95.6	95.9	99.2	95.9	96.6
	(前回)	(100.0)	(0.0)	(36.4)	(5.0)	(6.3)	(2.8)	(1.9)	(4.9)	(4.7)
	受けていない	-	75.0	23.1	0.0	4.4	4.1	0.8	4.1	3.4
	わからない	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

6. 脂質異常症（高脂血症）と言われたこと

脂質異常症（高脂血症）と言われたことのある人の割合は、男性は23.5%（-8.6ポイント）、女性は19.6%（-6.3ポイント）で、前回調査と比較して減少したが、女性の20歳代と60歳代では増加しており、それぞれ5.5%（+2.4ポイント）、35.7%（+0.8ポイント）だった。

また、自分が脂質異常症（高脂血症）と言われたかどうか「わからない」と答えた人の割合は、全体では7.5%だった。

表(6) - 6

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	ない	86.6	85.5	78.1	69.2	59.8	70.0	70.8	71.2	68.7
	(前回)	(6.6)	(12.9)	(19.2)	(37.4)	(37.1)	(36.0)	(25.0)	(28.7)	(32.1)
	ある	6.0	8.5	14.5	24.6	35.2	22.6	15.8	21.3	23.7
	わからない	7.5	6.0	7.4	6.2	5.0	7.5	13.3	7.5	7.6
男	ない	83.6	77.5	67.6	62.7	58.2	70.0	74.1	68.0	65.8
	(前回)	(9.7)	(23.4)	(30.4)	(46.9)	(39.4)	(28.8)	(22.9)	(32.1)	(34.9)
	ある	6.6	14.4	22.1	31.3	34.6	21.5	14.8	23.5	25.8
	わからない	9.8	8.1	10.3	6.0	7.2	8.6	11.1	8.4	8.4
女	ない	89.0	92.7	86.2	74.1	61.1	70.0	68.9	73.7	70.8
	(前回)	(3.1)	(5.3)	(10.6)	(29.7)	(34.9)	(42.0)	(26.2)	(25.9)	(29.8)
	ある	5.5	3.2	8.6	19.5	35.7	23.4	16.4	19.6	22.1
	わからない	5.5	4.0	5.2	6.4	3.2	6.6	14.7	6.7	7.1

7. 脂質異常症（高脂血症）の治療が必要と言われたこと

脂質異常症（高脂血症）の治療が必要と言われたことがある人の割合は、男性は14.6%（-2.7ポイント）、女性は14.4%（-1.3ポイント）で、前回調査と比較して減少した。

また、「わからない」と答えた人の割合は、全体では6.5%だった。

表（6）－7

(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
総数	ない	90.3	91.0	88.0	79.1	70.2	76.2	75.8	79.0	77.0
	(前回)	(2.2)	(2.7)	(5.7)	(17.0)	(23.6)	(25.8)	(18.3)	(16.4)	(19.0)
	ある	1.5	3.4	5.5	14.1	24.1	18.8	14.9	14.5	16.6
	わからない	8.2	5.6	6.5	6.8	5.7	5.0	9.3	6.5	6.5
男	ない	85.2	87.2	81.5	74.1	69.8	76.6	78.4	77.1	75.4
	(前回)	(4.2)	(5.4)	(7.2)	(21.7)	(25.4)	(20.6)	(18.3)	(17.3)	(19.8)
	ある	1.6	6.4	8.9	17.5	22.6	15.6	13.4	14.6	16.4
	わからない	13.1	6.4	9.6	8.4	7.7	7.8	8.2	8.3	8.2
女	ない	94.5	94.4	93.1	82.9	70.6	75.8	74.3	80.5	78.2
	(前回)	(0.0)	(0.8)	(4.5)	(13.3)	(21.9)	(30.2)	(18.4)	(15.7)	(18.4)
	ある	1.4	0.8	2.9	11.5	25.4	21.5	15.8	14.4	16.7
	わからない	4.1	4.8	4.0	5.5	4.0	2.8	9.9	5.0	5.1

8. 脂質異常症（高脂血症）の治療状況

要治療者の治療状況について、「治療を受けている」と答えた人の割合は、男性は70.4%（-10.6ポイント）で減少したが、女性は90.8%（+4.2ポイント）で増加した。

表（6）－8

(%)

		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	40～合計
総数	(前回)	(33.3)	(40.0)	(83.3)	(63.3)	(82.6)	(95.3)	(95.8)	(83.9)	(85.0)
	受けている	0.0	50.0	58.8	74.1	82.4	87.5	94.1	81.8	83.1
	(前回)	(33.3)	(60.0)	(16.7)	(35.0)	(16.5)	(4.7)	(4.2)	(15.2)	(14.4)
	受けていない	100.0	50.0	35.3	25.9	16.0	11.5	5.9	17.0	15.7
わからない	0.0	0.0	5.9	0.0	1.7	1.0	0.0	1.2	1.2	
男	(前回)	(33.3)	(50.0)	(70.0)	(61.8)	(81.7)	(97.4)	(100.0)	(81.0)	(82.6)
	受けている	0.0	42.9	41.7	62.1	76.5	77.1	88.2	70.4	72.2
	(前回)	(33.3)	(50.0)	(30.0)	(35.3)	(18.3)	(2.6)	(0.0)	(17.9)	(16.8)
	受けていない	100.0	57.1	50.0	37.9	21.6	22.9	11.8	28.3	26.4
わからない	0.0	0.0	8.3	0.0	2.0	0.0	0.0	1.3	1.4	
女	(前回)	—	(0.0)	(100.0)	(65.4)	(83.6)	(94.0)	(93.3)	(86.6)	(87.1)
	受けている	0.0	100.0	100.0	88.0	86.8	93.4	97.1	90.8	91.2
	(前回)	—	(100.0)	(0.0)	(34.6)	(14.5)	(6.0)	(6.7)	(12.8)	(12.4)
	受けていない	100.0	0.0	0.0	12.0	11.8	4.9	2.9	8.2	7.8
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.6	0.0	1.0	1.0	

9. 糖尿病または高血糖と言われたこと

糖尿病または高血糖と言われたことのある人の割合は、男性は21.0% (+0.9ポイント)、女性は12.0% (+2.9ポイント) で、前回調査と比較すると増加したが、男性の20歳代と60歳代、女性の20歳代では減少した。

また、男性の60歳代で最もポイント減少が大きく、24.4% (-4.6ポイント) だった。

表(6) - 9

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	ない	91.0	92.7	88.4	81.9	77.9	73.1	77.6	80.8	78.9
	(前回)	(2.9)	(3.6)	(6.0)	(14.6)	(20.4)	(21.1)	(13.2)	(14.0)	(16.0)
	ある	2.2	3.9	8.7	14.8	19.5	24.7	18.1	15.9	18.1
	わからない	6.7	3.4	2.9	3.4	2.5	2.2	4.3	3.2	3.0
男	ない	86.9	90.0	86.8	72.3	72.7	67.1	70.1	75.4	72.9
	(前回)	(4.2)	(6.4)	(10.0)	(24.2)	(29.0)	(26.3)	(17.9)	(20.1)	(22.9)
	ある	3.3	6.4	10.3	24.7	24.4	29.5	26.3	21.0	23.9
	わからない	9.8	3.6	2.9	3.0	2.9	3.4	3.6	3.6	3.2
女	ない	94.5	95.1	89.7	89.1	82.4	77.7	82.0	85.0	83.4
	(前回)	(1.6)	(1.5)	(2.8)	(7.0)	(12.6)	(16.7)	(10.4)	(9.1)	(10.4)
	ある	1.4	1.6	7.5	7.3	15.4	20.9	13.3	12.0	13.8
	わからない	4.1	3.3	2.9	3.6	2.2	1.3	4.7	2.9	2.8

10. 糖尿病または高血糖のある場合の事後指導

要指導者の事後指導を受けた人の割合は、全体は82.5% (+0.1ポイント)、男性は83.3% (+0.7ポイント)、女性は81.4% (-0.7ポイント) で、全体と男性は増加したが、女性は減少した。

表(6) - 10

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(75.0)	(75.0)	(61.1)	(84.3)	(83.0)	(87.5)	(78.9)	(82.4)	(82.7)
	受けた	66.7	66.7	66.7	80.4	80.0	89.7	83.9	82.5	83.0
	(前回)	(25.0)	(25.0)	(38.9)	(15.7)	(13.2)	(9.1)	(18.4)	(15.0)	(14.6)
	受けなかった	33.3	22.2	33.3	16.1	18.0	8.7	9.7	14.6	14.3
わからない	0.0	11.1	0.0	3.6	2.0	1.6	6.5	2.9	2.7	
男	(前回)	(66.7)	(83.3)	(69.2)	(84.2)	(83.3)	(88.0)	(73.7)	(82.6)	(82.8)
	受けた	50.0	57.1	64.3	85.0	77.6	92.5	88.2	83.3	84.5
	(前回)	(33.3)	(16.7)	(30.8)	(15.8)	(12.5)	(10.0)	(21.1)	(14.9)	(14.6)
	受けなかった	50.0	28.6	35.7	12.5	20.7	7.5	5.9	14.4	13.6
わからない	0.0	14.3	0.0	2.5	1.7	0.0	5.9	2.3	1.9	
女	(前回)	(100.0)	(50.0)	(40.0)	(84.6)	(82.4)	(86.8)	(84.2)	(82.1)	(82.6)
	受けた	100.0	100.0	69.2	68.8	83.3	86.4	78.6	81.4	81.0
	(前回)	(0.0)	(50.0)	(60.0)	(15.4)	(14.7)	(7.9)	(15.8)	(15.2)	(14.7)
	受けなかった	0.0	0.0	30.8	25.0	14.3	10.2	14.3	14.9	15.2
わからない	0.0	0.0	0.0	6.3	2.4	3.4	7.1	3.7	3.8	

1.1. 糖尿病で治療必要と言われたこと

糖尿病の治療が必要と言われたことがある人の割合は、全体は9.4% (+0.9ポイント)、男性は12.2% (+0.6ポイント)、女性は7.3% (+1.2ポイント) で、前回調査と比較して増加した。

また、最もポイント増加が大きかったのは、男性の80歳代で、18.8% (+6.3ポイント) だった。

表(6) - 11

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	ない	91.8	94.4	94.5	87.6	87.1	81.7	83.4	87.4	86.3
	(前回)	(0.7)	(0.9)	(1.3)	(8.8)	(11.7)	(15.6)	(9.5)	(8.5)	(10.0)
	ある	1.5	1.3	2.3	9.1	10.3	16.4	12.7	9.4	10.9
	わからない	6.7	4.3	3.2	3.4	2.5	1.9	3.9	3.2	2.9
男	ない	86.9	92.7	92.6	81.9	84.0	79.1	78.2	84.0	82.8
	(前回)	(1.4)	(2.1)	(2.1)	(13.6)	(16.7)	(17.8)	(12.5)	(11.6)	(13.4)
	ある	1.6	2.7	4.4	13.9	12.7	18.3	18.8	12.2	14.0
	わからない	11.5	4.5	2.9	4.2	3.4	2.6	3.0	3.8	3.2
女	ない	95.9	95.9	96.0	91.8	89.9	83.8	86.4	89.9	88.9
	(前回)	(0.0)	(0.0)	(0.6)	(5.0)	(7.2)	(13.8)	(7.8)	(6.1)	(7.2)
	ある	1.4	0.0	0.6	5.5	8.3	14.9	9.2	7.3	8.5
	わからない	2.7	4.1	3.4	2.7	1.8	1.4	4.4	2.7	2.6

1.2. 糖尿病の要治療者の治療状況

要治療者の治療を受けている人の割合は、全体は93.0% (-0.8ポイント)、男性は94.5% (-0.4ポイント)、女性は91.0% (-1.2ポイント) で、前回調査と比較すると減少した。

表(6) - 12

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(100.0)	(100.0)	(75.0)	(84.4)	(95.2)	(96.9)	(96.4)	(93.8)	(93.7)
	受けている	100.0	66.7	100.0	97.1	88.5	94.1	93.3	93.0	93.3
	(前回)	(0.0)	(0.0)	(25.0)	(15.6)	(4.8)	(1.5)	(3.6)	(5.7)	(5.8)
	受けていない	0.0	33.3	0.0	2.9	11.5	5.9	6.7	7.0	6.7
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男	(前回)	(100.0)	(100.0)	(66.7)	(86.4)	(97.6)	(97.1)	(100.0)	(94.9)	(94.7)
	受けている	—	66.7	100.0	100.0	89.7	95.2	96.0	94.5	95.2
	(前回)	(0.0)	(0.0)	(33.3)	(13.6)	(2.4)	(2.9)	(0.0)	(5.1)	(5.3)
	受けていない	—	33.3	0.0	0.0	10.3	4.8	4.0	5.5	4.8
わからない	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女	(前回)	—	—	(100.0)	(80.0)	(90.0)	(96.8)	(93.3)	(92.2)	(92.2)
	受けている	100.0	—	100.0	91.7	87.0	93.0	90.0	91.0	90.9
	(前回)	—	—	(0.0)	(20.0)	(10.0)	(0.0)	(6.7)	(6.5)	(6.5)
	受けていない	0.0	—	0.0	8.3	13.0	7.0	10.0	9.0	9.1
わからない	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

13. 今までにかかった病気

今までにかかったことのある又は今かかっている病気について、最も割合が高かったのは「高血圧」の31.9%であり、次いで「腰痛・ひざ等関節痛」、「脂質異常症（高脂血症）」の順だった。

表(6) - 13

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	高血圧	1.5	3.5	14.4	23.0	37.2	48.9	52.2	31.9	36.9
	糖尿病	0.8	1.3	3.3	9.0	10.0	15.9	15.2	9.8	11.2
	脂質異常症(高脂血症)	2.3	2.2	7.2	14.0	22.4	15.7	11.7	13.2	15.1
	がん	0.8	0.0	2.6	2.9	11.2	14.2	10.6	7.8	9.1
	心臓病	2.3	1.3	1.0	3.2	5.6	9.5	20.7	7.2	8.1
	脳卒中	0.0	0.4	0.3	1.6	1.3	1.7	3.3	1.5	1.7
	腰痛・ひざ等関節痛	3.1	11.0	12.1	17.9	28.3	32.8	43.2	24.9	27.8
	骨粗鬆症	0.0	0.4	1.3	0.3	5.4	8.1	16.0	5.5	6.4
	B型・C型肝炎	0.0	0.4	0.7	1.3	2.9	2.3	1.9	1.7	2.0
	その他	6.9	14.9	15.4	21.1	17.7	11.4	14.7	15.3	15.9
	なし(健康)	84.0	70.6	55.4	39.1	16.4	13.8	7.9	31.5	24.0
男	高血圧	3.3	4.7	22.4	31.5	42.1	48.3	53.3	34.9	40.6
	糖尿病	0.0	2.8	4.5	14.2	12.4	18.7	21.9	12.6	14.6
	脂質異常症(高脂血症)	3.3	2.8	11.2	15.4	20.2	10.9	11.7	12.6	14.4
	がん	1.6	0.0	1.5	3.1	10.7	19.6	17.5	9.6	11.3
	心臓病	3.3	0.0	1.5	4.3	8.3	13.9	24.8	9.0	10.5
	脳卒中	0.0	0.9	0.7	1.9	1.7	3.0	5.8	2.2	2.5
	腰痛・ひざ等関節痛	1.6	15.0	12.7	19.8	26.0	26.5	38.7	22.6	25.0
	骨粗鬆症	0.0	0.9	3.0	0.0	1.7	1.7	3.6	1.7	1.9
	B型・C型肝炎	0.0	0.0	0.0	0.6	4.5	3.5	2.2	2.1	2.5
	その他	1.6	15.9	13.4	17.3	21.5	11.3	19.7	15.8	16.7
	なし(健康)	86.9	62.6	49.3	36.4	15.7	14.8	8.0	30.6	23.0
女	高血圧	0.0	2.5	8.2	16.6	32.9	49.3	51.5	29.6	34.1
	糖尿病	1.4	0.0	2.3	5.1	7.9	13.8	11.3	7.6	8.7
	脂質異常症(高脂血症)	1.4	1.7	4.1	12.9	24.2	19.5	11.7	13.7	15.7
	がん	0.0	0.0	3.5	2.8	11.6	10.1	6.5	6.4	7.5
	心臓病	1.4	2.5	0.6	2.3	3.2	6.0	18.2	5.7	6.3
	脳卒中	0.0	0.0	0.0	1.4	1.1	0.7	1.7	0.9	1.0
	腰痛・ひざ等関節痛	4.3	7.4	11.7	16.6	30.3	37.6	45.9	26.7	30.0
	骨粗鬆症	0.0	0.0	0.0	0.5	8.7	13.1	23.4	8.5	9.9
	B型・C型肝炎	0.0	0.8	1.2	1.8	1.4	1.3	1.7	1.4	1.5
	その他	11.4	14.0	17.0	24.0	14.4	11.4	11.7	14.9	15.2
	なし(健康)	81.4	77.7	60.2	41.0	17.0	13.1	7.8	32.3	24.8

14. メタボリックシンドロームの認知度

「言葉も意味も知っている」と答えた人の割合は、男性は30歳代、女性は20歳代が最も高く、それぞれ58.0%、75.0%だった。

また、80歳以上を除いた全年代で、男性よりも女性の割合が高かった。

表(6) - 14

(%)

		20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~	合計	40~合計
総数	(前回)	(29.3)	(38.6)	(35.7)	(35.5)	(38.7)	(46.8)	(32.5)	(37.9)	(38.4)
	言葉だけ	33.8	30.5	35.6	34.3	39.6	49.5	37.6	38.9	40.1
	(前回)	(63.2)	(53.6)	(60.2)	(59.3)	(49.4)	(33.2)	(16.3)	(46.6)	(44.7)
	言葉も意味も	63.2	62.3	59.9	57.5	50.7	30.9	16.5	45.7	42.7
	知らない	3.0	7.2	4.5	8.2	9.8	19.6	45.9	15.5	17.2
男	(前回)	(32.4)	(37.0)	(39.0)	(36.2)	(40.6)	(46.8)	(34.3)	(39.2)	(40.0)
	言葉だけ	45.9	33.0	38.7	37.5	41.6	46.3	38.8	40.6	41.2
	(前回)	(56.3)	(54.3)	(57.4)	(57.1)	(47.0)	(30.6)	(18.5)	(45.3)	(43.4)
	言葉も意味も	49.2	58.0	56.9	52.4	49.4	30.8	17.1	43.9	41.8
	知らない	4.9	8.9	4.4	10.1	9.0	22.9	44.2	15.5	17.0
女	(前回)	(25.8)	(39.8)	(33.1)	(35.0)	(37.0)	(46.8)	(31.5)	(36.8)	(37.0)
	言葉だけ	23.6	28.2	33.1	31.8	37.8	52.1	36.9	37.5	39.3
	(前回)	(71.0)	(53.1)	(62.4)	(61.2)	(51.6)	(35.3)	(14.9)	(47.7)	(45.6)
	言葉も意味も	75.0	66.1	62.3	61.4	51.8	30.9	16.2	47.1	43.4
	知らない	1.4	5.6	4.6	6.8	10.4	17.0	46.8	15.4	17.3

15. ヘルスポイント事業について（40歳以上）

ヘルスポイント事業に「応募したことがある」と答えた人の割合は、男性は60歳代、女性は70歳代で最も高く、それぞれ7.2%（+0.8ポイント）、19.1%（+3.6ポイント）だった。

また、「応募したことがある」と「知っている」と答えた人の割合については、男性よりも女性の割合が高かった。

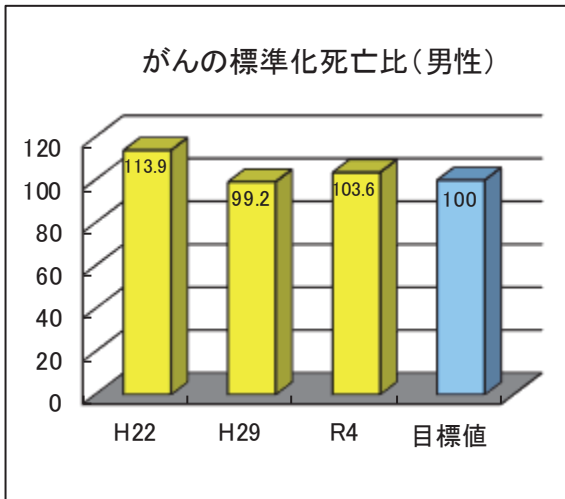
表(6) - 15

(%)

		40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計
総数	(前回)	(6.8)	(7.2)	(12.6)	(11.5)	(0.4)	(8.6)
	応募したことがある	7.8	10.1	13.1	13.4	0.0	9.8
	(前回)	(23.8)	(23.4)	(22.0)	(20.9)	(11.8)	(20.9)
	知っている	19.3	19.1	18.3	19.2	10.7	17.7
	知らない	72.9	70.7	68.6	67.5	89.3	72.5
男	(前回)	(2.9)	(2.5)	(6.4)	(6.9)	(1.0)	(4.5)
	応募したことがある	3.0	5.0	7.2	6.4	0.0	4.9
	(前回)	(12.2)	(14.4)	(17.7)	(17.2)	(11.3)	(15.3)
	知っている	10.6	13.0	14.5	19.7	9.8	14.2
	知らない	86.4	82.0	78.3	73.9	90.2	80.8
女	(前回)	(9.9)	(10.8)	(18.5)	(15.5)	(0.0)	(11.9)
	応募したことがある	11.7	14.0	18.1	19.1	0.0	13.7
	(前回)	(33.1)	(30.5)	(26.2)	(24.0)	(12.1)	(25.6)
	知っている	26.4	23.7	21.7	18.7	11.3	20.5
	知らない	62.0	62.3	60.2	62.2	88.7	65.8

生活習慣病

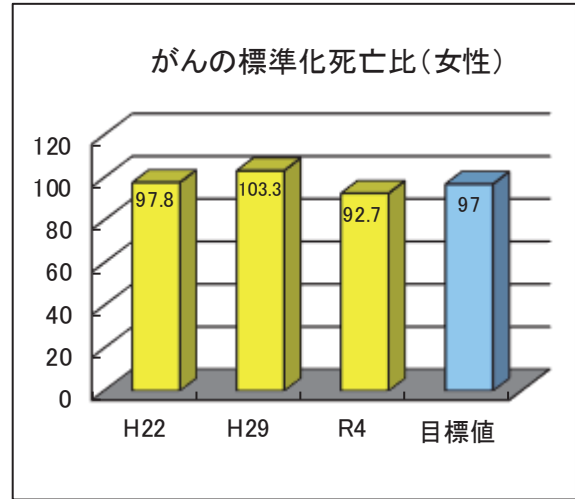
目標：がんの死亡率を減らそう（男性）



がんの標準化死亡率(男性)は、中間評価では全国とほぼ変わらなかったが、今回はわずかに全国を上回った。

※悪性新生物標準化死亡率(管内男性)
 H22:H18~22年計
 H29:H23~27年計
 R4:H28~R2年計

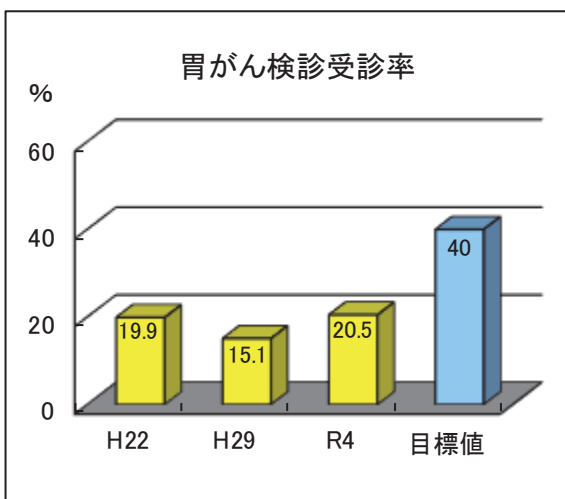
目標：がんの死亡率を減らそう（女性）



がんの標準化死亡率(女性)は、中間評価では全国をわずかに上回ったが、今回は全国の0.93倍となった。

※悪性新生物標準化死亡率(管内女性)
 H22:H18~22年計
 H29:H23~27年計
 R4:H28~R2年計

目標：がん検診の受診率を高めよう
 (胃がん検診)

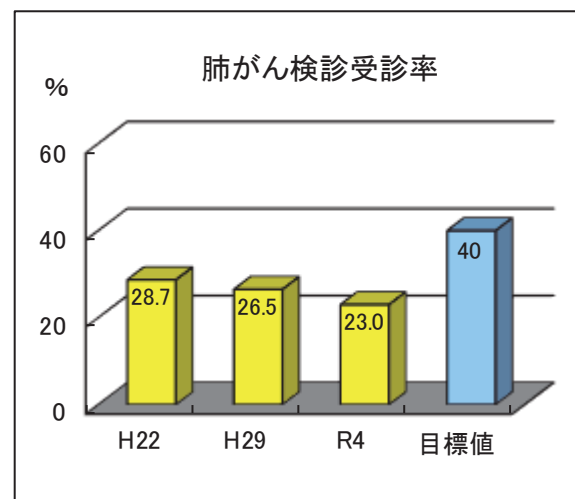


胃がん検診受診率は、H29年度より5.4ポイントと大きく増加した。

がん検診の中で最も受診率が低く、目標値40%とは19.5ポイントと大きな差があった。

※胃がん検診受診率(管内)
 H22:H22年度、H29:H27年度、R4:R2年度

目標：がん検診の受診率を高めよう
 (肺がん検診)

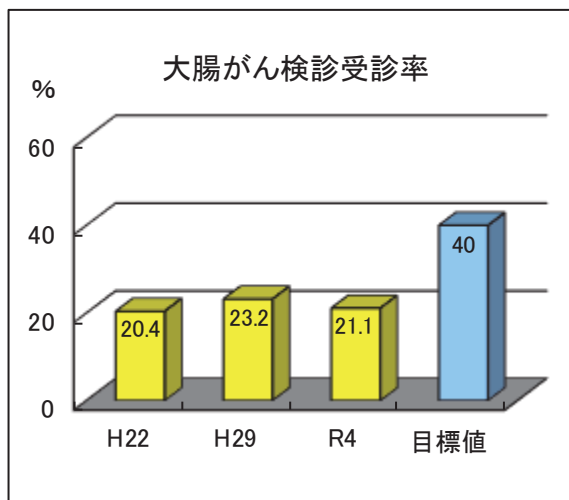


肺がん検診受診率は、H29年度より3.5ポイント減少した。

H22年度、H29年度、R4年度と減少した。

※肺がん検診受診率(管内)
 H22:H22年度、H29:H27年度、R4:R2年度

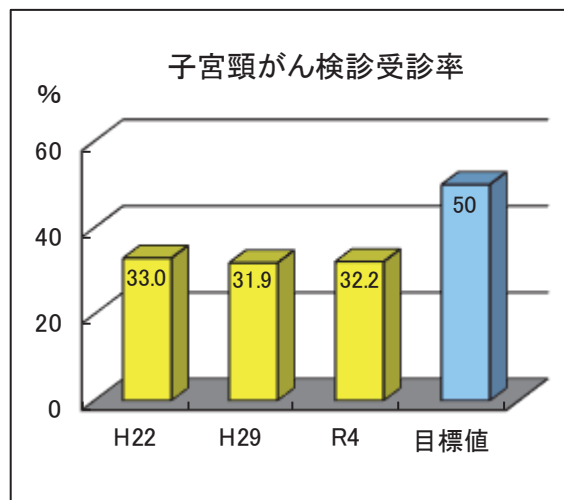
目標：がん検診の受診率を高めよう
(大腸がん検診)



大腸がん検診受診率は、H29年度より2.1ポイント減少した。

※大腸がん検診受診率(管内)
H22:H22年度、H29:H27年度、R4:R2年度

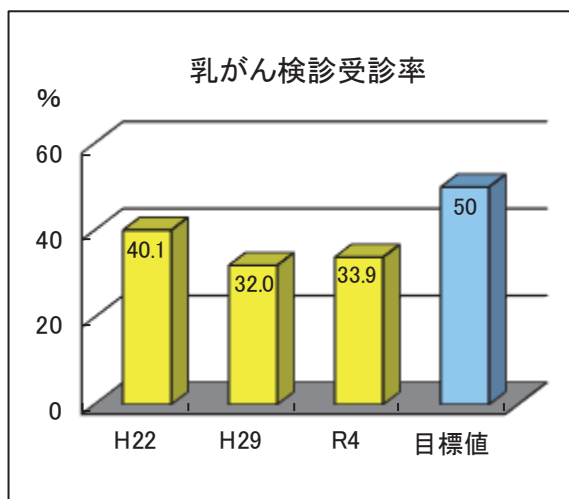
目標：がん検診の受診率を高めよう
(子宮頸がん検診)



子宮頸がん検診受診率は、H29年度より0.3ポイントとわずかに増加した。

※子宮頸がん検診受診率(管内)
H22:H22年度、H29:H27年度、R4:R2年度

目標：がん検診の受診率を高めよう
(乳がん検診)

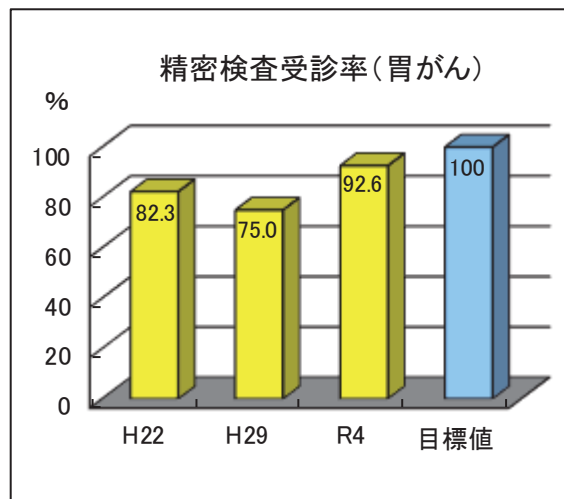


乳がん検診受診率は、H29年度より1.9ポイント増加した。

がん検診の中では、最も受診率が高かった。

※乳がん検診受診率(管内)
H22:H22年度、H29:H27年度、R4:R2年度

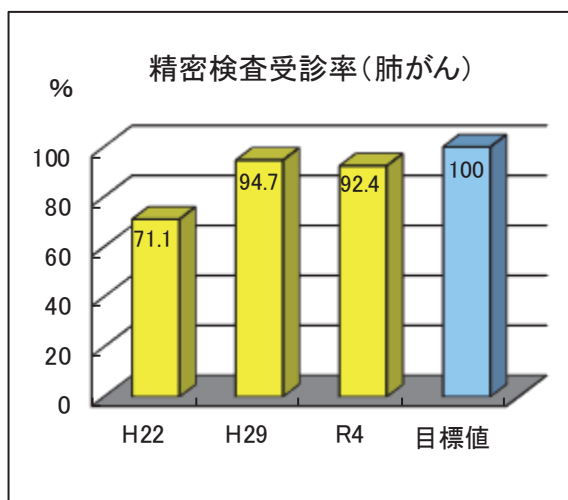
目標：がん検診の精密検査受診率を高めよう
(胃がん検診)



精密検査受診率(胃がん)は、H29年度より17.6ポイントと大きく増加した。

※胃がん精密検査受診率(管内)
H22:H21年度、H29:H26年度、R4:R元年度

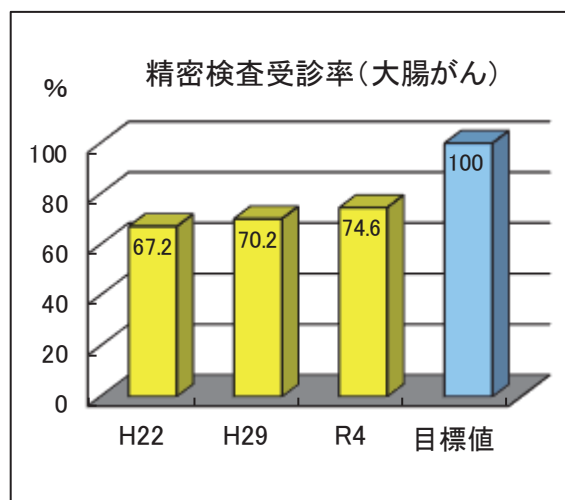
目標：がん検診の精密検査受診率を高めよう（肺がん検診）



精密検査受診率(肺がん)は、H29年度より2.3ポイント減少した。

※肺がん精密検査受診率(管内)
H22:H21年度、H29:H26年度、R4:R元年度

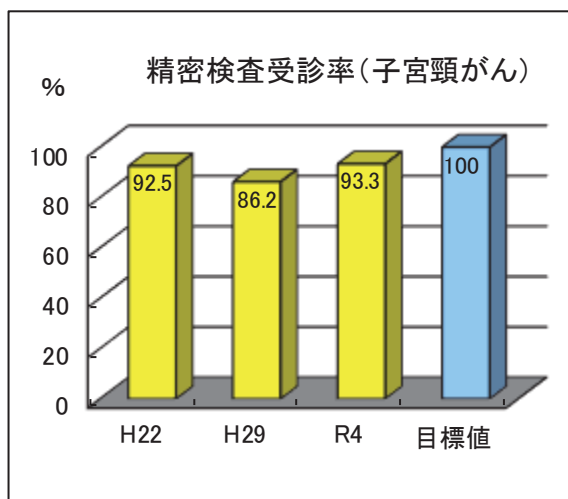
目標：がん検診の精密検査受診率を高めよう（大腸がん検診）



精密検査受診率(大腸がん)は、H29年度より4.4ポイント増加したが、各種がん検診の精密検査の中では、最も受診率が低かった。

※大腸がん精密検査受診率(管内)
H22:H21年度、H29:H26年度、R4:R元年度

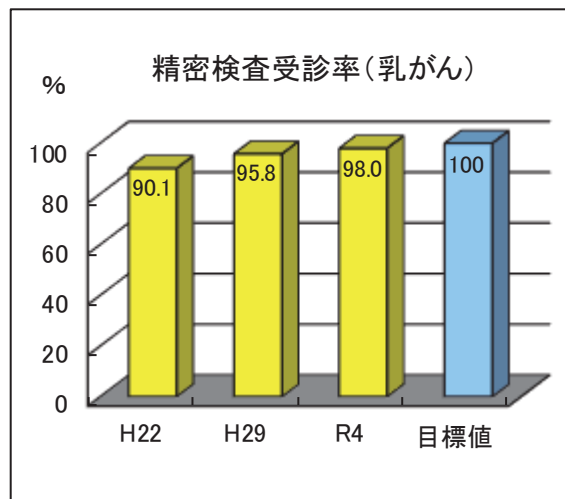
目標：がん検診の精密検査受診率を高めよう（子宮頸がん検診）



精密検査受診率(子宮頸がん)は、H29年度より7.1ポイントと大きく増加した。

※子宮頸がん精密検査受診率(管内)
H22:H21年度、H29:H26年度、R4:R元年度

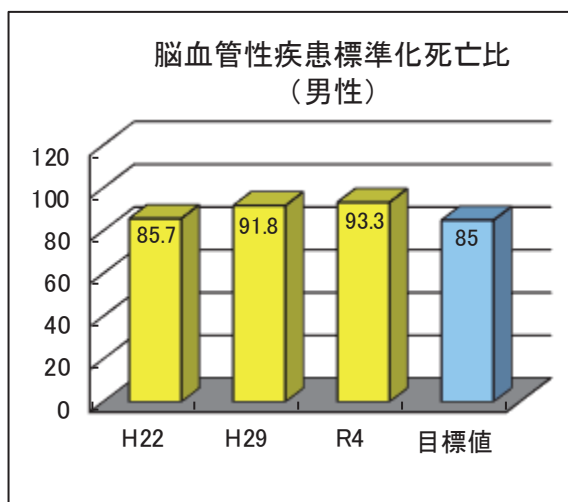
目標：がん検診の精密検査受診率を高めよう（乳がん検診）



精密検査受診率(乳がん)の割合は、H29年度より2.2ポイント増加した。
各種がん検診の精密検査の中では、最も受診率が高かった。

※乳がん精密検査受診率(管内)
H22:H21年度、H29:H26年度、R4:R元年度

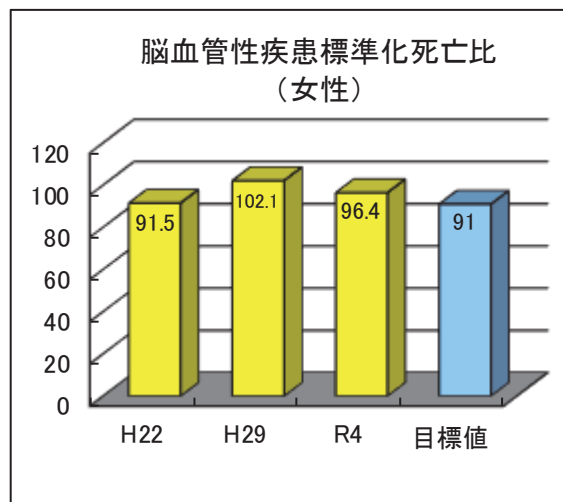
目標：脳血管疾患の死亡率の増加をおさえよう（男性）



脳血管疾患の標準化死亡比(男性)は、策定時、中間評価、今回とも全国より低いですが、目標より高かった。

※脳血管疾患標準化死亡比(管内男性)
 H22:H18～22年計
 H29:H23～27年計
 R4:H28～R2年計

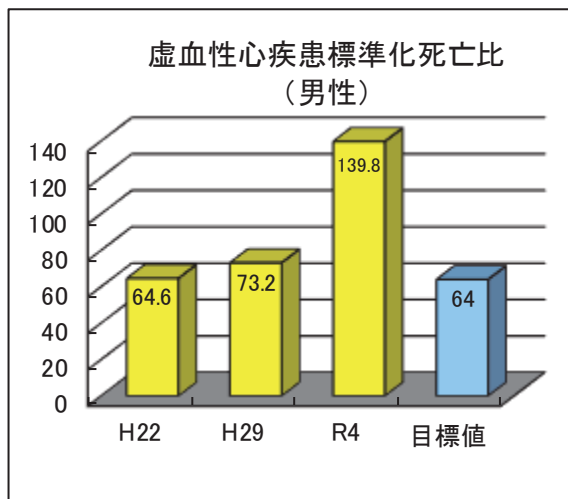
目標：脳血管疾患の死亡率の増加をおさえよう（女性）



脳血管疾患の標準化死亡比(女性)は、中間評価は、全国よりわずかに高かったが、今回は全国よりわずかに低かった。

※脳血管疾患標準化死亡比(管内女性)
 H22:H18～22年計
 H29:H23～27年計
 R4:H28～R2年計

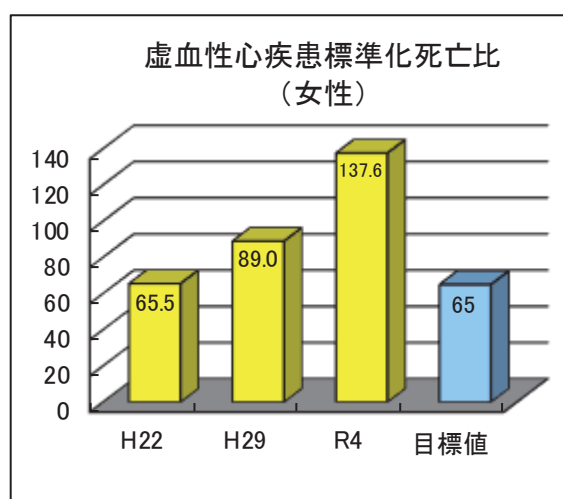
目標：虚血性心疾患の死亡率の増加をおさえよう（男性）



虚血性心疾患標準化死亡比(男性)は、策定時、中間評価は全国より低かったが、今回は、全国の1.4倍高かった。

※虚血性心疾患標準化死亡比(管内男性)
 H22:H18～22年計
 H29:H23～27年計
 R4:H28～R2年計

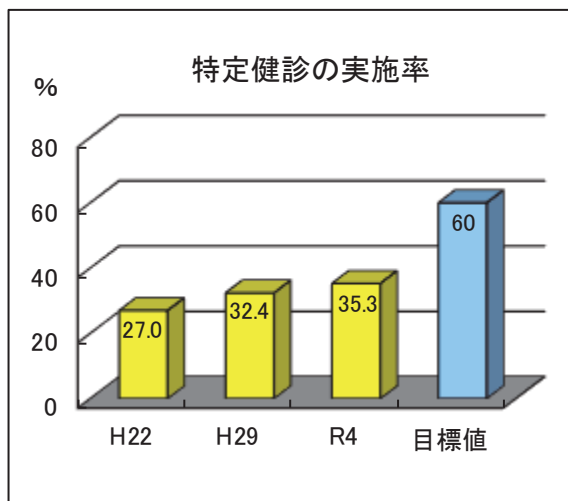
目標：虚血性心疾患の死亡率の増加をおさえよう（女性）



虚血性心疾患標準化死亡比(女性)は、策定時、中間評価は全国より低かったが、今回は、全国の1.38倍高かった。

※虚血性心疾患標準化死亡比(管内女性)
 H22:H18～22年計
 H29:H23～27年計
 R4:H28～R2年計

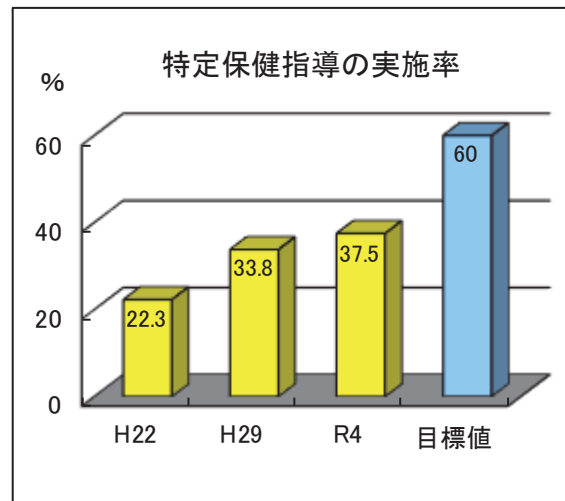
目標：特定健診・特定保健指導の実施率を高めよう
(特定健診実施率)



特定健診の実施率は、H29年度より2.9ポイント増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

※特定健診実施率(管内)
H22:H22年度、H29:H27年度、R4:R3年度

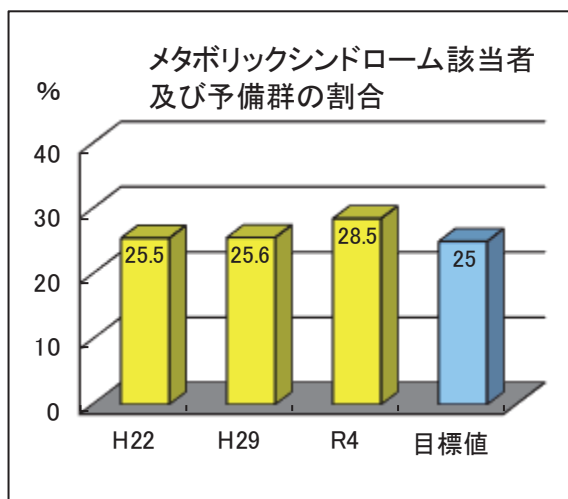
目標：特定健診・特定保健指導の実施率を高めよう
(特定保健指導実施率)



特定保健指導の実施率は、H29年度より3.7ポイント増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

※特定保健指導実施率(管内)
H22:H22年度、H29:H27年度、R4:R3年度

目標：メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合を増やさないようにしよう

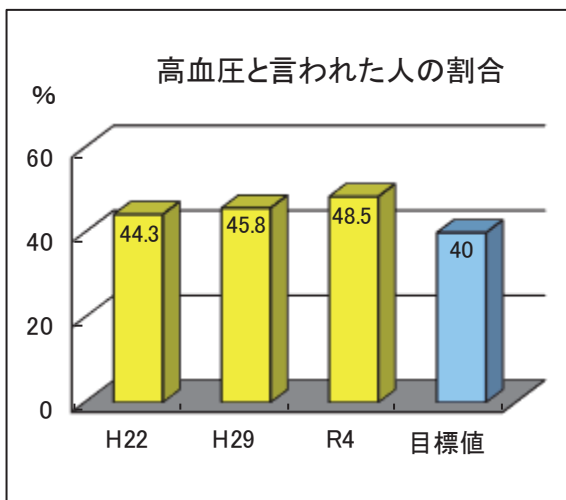


メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は、H29年度より2.9ポイント増加した。

H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

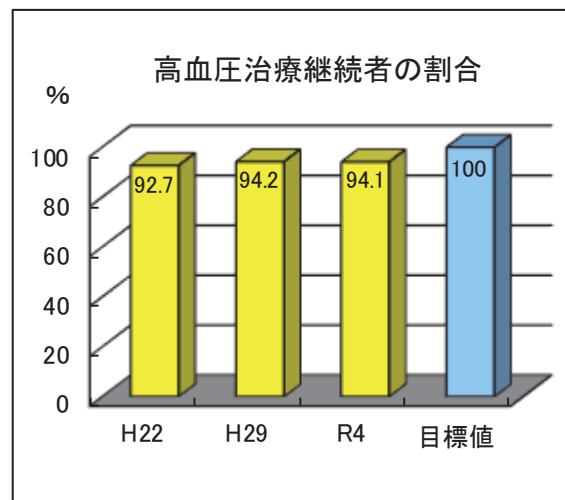
※メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合(管内)
H22:H22年度、H29:H27年度、R4:R2年度

目標：健診で血圧が高いと指摘される人を増やさないようにしよう（40歳以上）



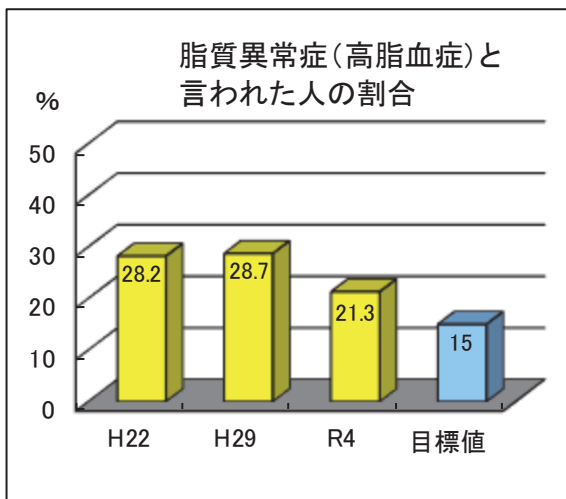
高血圧と言われた人の割合は、H29年度より2.7ポイント増加した。
H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：高血圧治療継続者の割合を高めよう



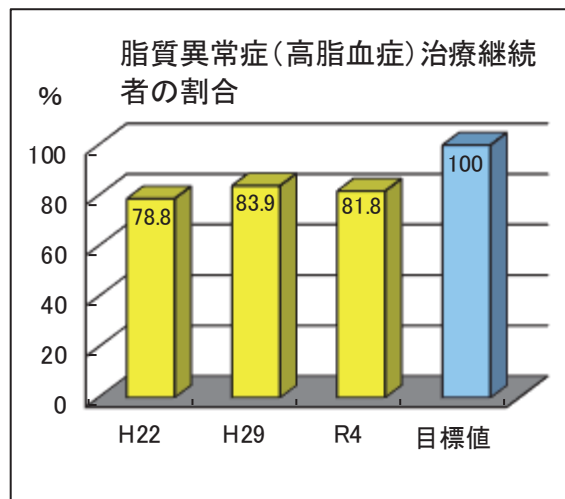
高血圧治療継続者の割合は、H29年度より0.1ポイントとわずかに減少した。

目標：脂質異常症（高脂血症）有病率を減らそう



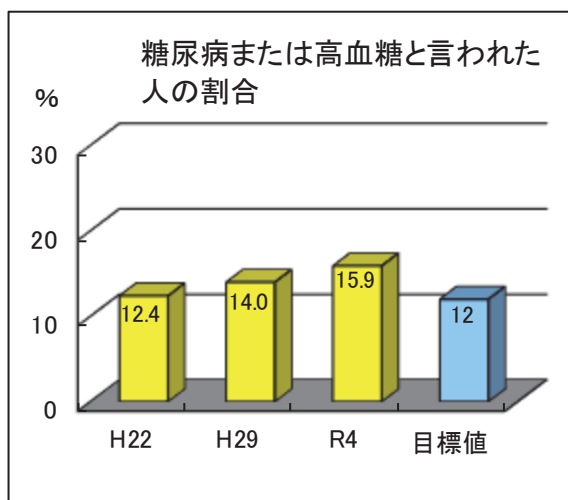
脂質異常症（高脂血症）と言われた人の割合は、H29年度より7.4ポイントと大きく減少した。

目標：脂質異常症（高脂血症）治療継続者の割合を高めよう



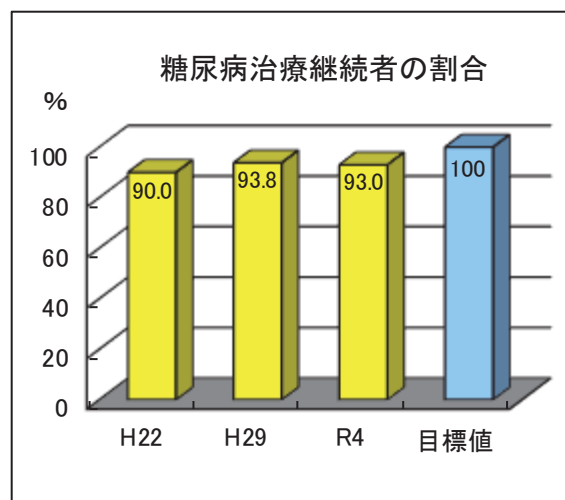
脂質異常症（高脂血症）治療継続者の割合は、H29年度より2.1ポイント減少した。

目標：糖尿病有病率の増加をおさえよう



糖尿病または高血糖と言われた人の割合は、H29年度より1.9ポイント増加した。H22年度、H29年度、R4年度と増加した。

目標：糖尿病治療継続者の割合を高めよう



糖尿病治療継続者の割合は、H29年度より0.8ポイントとわずかに減少した。

生活習慣病

【判定区分】◎：達成、○：順調に改善、△：やや改善、×：横ばい・悪化、—：判定不能

課 題 目 標	基準値 H 2 2 年度	中間評価 H 2 9 年度	最終評価 R 4 年度	目標値	最終評価 判定
がんの死亡率を減らそう	男 113.9	男 99.2	男 103.6	100	○
	女 97.8	女 103.3	女 92.7	97	◎
がん検診の受診率を高めよう					
胃がん検診	19.9	15.1	20.5	40	△
肺がん検診	28.7	26.5	23.0	40	×
大腸がん検診	20.4	23.2	21.1	40	△
子宮頸がん検診	33.0	31.9	32.2	50	×
乳がん検診	40.1	32.0	33.9	50	×
がん検診の精密検査受診率を高めよう					
胃がん検診	82.3	75.0	92.6	100	○
肺がん検診	71.1	94.7	92.4		○
大腸がん検診	67.2	70.2	74.6		△
子宮頸がん検診	92.5	86.2	93.3		△
乳がん検診	90.1	95.8	98.0		○
脳血管疾患・虚血性心疾患の死亡率の増加をおさえよう					
脳血管疾患標準化死亡比（男性）	85.7	91.8	93.3	85	×
脳血管疾患標準化死亡比（女性）	91.5	102.1	96.4	91	×
虚血性心疾患標準化死亡比（男性）	64.6	73.2	139.8	64	×
虚血性心疾患標準化死亡比（女性）	65.5	89.0	137.6	65	×
特定健診・特定保健指導の実施率を高めよう					
特定健診の実施率	27.0	32.4	38.6	60	△
特定保健指導の実施率	22.3	33.8	40.0	60	△
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合を増やさないようにしよう	25.5	25.6	28.5	25	×
健診で血圧が高いと指摘される人を増やさないようにしよう（40歳以上）	44.3	45.8	48.5	40	×
高血圧治療継続者の割合を高めよう	92.7	94.2	94.1	100	△
脂質異常症（高脂血症）有病率を減らそう	28.2	28.7	21.3	15	○
脂質異常症（高脂血症）治療継続者の割合を高めよう	78.8	83.9	81.8	100	△
糖尿病有病率の増加をおさえよう	12.4	14.0	15.9	12	×
糖尿病治療継続者の割合を高めよう	90.0	93.8	93.0	100	△

基準値、中間評価、最終評価の単位は%（ただし、がんと脳血管疾患、虚血性心疾患の標準化死亡比を除く）

（行動レベル）

がんの死亡（標準化死亡比）は、女性は目標を達成し、男性の評価は「順調に改善」だった。

がん検診受診率は、「肺がん」と「大腸がん」以外の検診で増加したが、全てのがんで目標を達成しなかった。

がん検診の精密検査受診率で、「肺がん」以外は全て増加した。

精密検査受診率については、全ての検診において100%にする必要があるため、今後も積極的な働きかけが必要である。

虚血性心疾患による死亡は、中間評価時は全国より低かったが、今回は全国より1.4倍高かった。

また、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は、中間評価よりも増加した。

今後は、脳血管疾患や虚血性心疾患の予防、メタボリックシンドローム該当者及び予備群を減らすために、生活習慣の見直しや改善に向けた取組を実施していく必要がある。

特定健診及び特定保健指導実施率は、中間評価よりも増加したが目標には達しておらず、これらについてもがん検診と合わせて積極的な受診勧奨を行っていく必要がある。

脂質異常症（高脂血症）有病率は、前回よりも減少したが、健診で血圧が高いと指摘された人や糖尿病有病率は、

前回よりも増加した。

また、高血圧、脂質異常症（高脂血症）、糖尿病の治療継続者の割合は、全てにおいて前回よりも減少した。これらから、関係医療機関等と連携を取りながら、定期的な受診勧奨と保健指導の充実強化が必要である。

4 今後の方向性

今後の方向性

平成25年度に「健康日高21（第2次）」計画を策定し、住民のモチベーションを上げるための取組として、ヘルスポイント事業やラッピングバスによる啓発等の事業を実施し、地域の健康づくりを推進してきた。

平成29年度には、管内のたばこ対策に広域的に取り組むため、健康日高21推進協議会の「たばこ専門部会」を設置し、関係機関及び団体との情報共有や積極的な啓発によるたばこ対策を実施してきた。

今回の評価で明らかになった点として、歩数計を使用している人の増加、がんや自殺死亡率の減少、歯と口の健康項目の改善など取組成果がみられた項目があるものの、栄養と食生活に関する項目全般、ストレスや睡眠に関する項目、健（検）診受診率、虚血性心疾患の死亡などは、様々な取組を実施してきたものの成果には繋がっていなかった。また、年代別では、働く世代の結果が他の年代に比べて思わしくなかった。

今回の結果を踏まえて、従来の事業を継続して行うだけでなく、行動変容を促して成果に繋がるような新たな取組を関係機関と協議しながら実施していく必要があり、特に働く世代へアプローチを行っていくためには、職域団体と連携し、働く世代本人やその家族等が健康になれる環境づくりに努めることが重要である。

継続する取組	新たな取組
<ul style="list-style-type: none"> ●インセンティブを活用した健（検）診率向上の仕掛けづくり 特定健診や各種がん検診の受診、健康に関するイベントや講演会への参加ごとにヘルスポイントを加算し、一定ポイントを有する方に抽選で賞品を贈呈するヘルスポイント事業を活用し、受診率の向上を図る。 ●健康づくりを推進する人材育成 職域団体や住民等を対象に、地域での健康づくりの核となる人材を育成する。 ●地域の魅力を活用した健康増進イベントの実施 管内の見どころスポットなどを取り入れたウォーキングイベントを開催する。 ●様々な機会を通じた啓発事業の実施 禁煙週間や健康増進普及月間をはじめとする健康行事を機会とした啓発や健診事業等での健康情報の提供を行う。 ●働く世代への健康づくり 働く世代やその家族等の健康づくりを推進するため、地域と職域が連携し、実効性のある取組の実施や知識の普及啓発に努める。 ●たばこ対策の推進 たばこ専門部会において、各機関の取組について意見交換するとともに、地域における課題を共有し検討することで、地域全体でたばこ対策を一層進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣病対策の推進 一次予防（健康増進、疾病予防）、二次予防（早期発見、早期治療）の各段階において、住民の理解と切れ目のない対策に努めるとともに、生活習慣病や重症化予防に関する知識の普及啓発を図る。

5 「健康日高2.1（第2次）」最終評価判定一覧

判定区分	判定基準
◎達成	到達係数 100 以上
○順調に改善	到達係数 50～99
△やや改善	到達係数 1～49
×横ばい・悪化	到達係数 0 以下
—判定不能	データがないため判定不能

※ 到達係数 = $\frac{\text{最終評価} - \text{基準値}}{\text{目標値} - \text{基準値}} \times 100$

「健康日高21(第2次)」最終評価判定一覧

領域	課題目標	基準値 H22年度	中間評価 H29年度	最終評価 R4年度	目標値	目標値の考え方	最終評価 判定
栄養・食生活	毎日野菜を摂取する人の割合を増やそう	84.7	84.2	80.5	100	1次計画策定時の目標値と同じ 「生活習慣に関する調査」で1日1回以上野菜を摂取していると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	×
	牛乳を摂取する人の割合を増やそう	32.8	31.4	31.8	70	1次計画策定時(33.6%)の2倍 「生活習慣に関する調査」で毎日牛乳を飲んでいると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	×
	乳製品を摂取する人の割合を増やそう	23.3	28.7	30.7	70	2次計画策定時(基準値)の3倍 「生活習慣に関する調査」で毎日乳製品を食べていると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	△
	減塩を実行している人の割合を増やそう	27.2	24.9	24.6	70	1次計画策定時(35.5%)の2倍 「生活習慣に関する調査」で日頃の食生活の中で減塩を実行していると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	×
	油を使った料理を好む人の割合を減らそう	35.5	36.5	39.3	27.3	1次計画策定時の目標値と同じ 「生活習慣に関する調査」で油を使った料理を好むと答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	×
	自分の適正体重を知っている人の割合を増やそう	42.1	40.0	39.4	100	1次計画策定時の目標値と同じ 「生活習慣に関する調査」で自己申告による身長から適正体重(BMI 22kg/m ² に相当)を求め、自分の理想体重との差が±5%以内の人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	×
	食生活について勉強する人を増やそう	60.9	61.3	51.4	80	2次計画策定時(基準値)の3割増加 「生活習慣に関する調査」で食生活について学ぶ機会があると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	×
	適正体重を維持している人を増やそう (肥満・やせの減少)					・20～60歳代男性肥満者と40～60歳代女性肥満者の割合は、増加させないことを目標として、加齢により肥満者の割合が増加するのではなく、10年後も国の2次計画策定時の肥満者の割合が維持されると仮定している ・20歳代女性のやせの者の割合は、最近10年間20%から30%の間を推移しており、15～19歳の年齢階級も20歳代と同様に高い割合を示している(国の考え方と同じ) ※20～60歳代男性肥満者と20歳代女性のやせの者は国の目標値と同じ、40～60歳代女性肥満者については、国の目標値を達成していたため独自に14%に設定した	×
	20～60歳代男性肥満者の割合	30.4	30.8	31.9	28		×
	40～60歳代女性肥満者の割合	16.8	13.3	17.6	14		×
20歳代女性のやせの者の割合	22.8	16.1	20.5	20	「生活習慣に関する調査」で自己申告による身長、体重からBMIを求め、日本肥満学会の判定基準に基づき判定 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	○	
運動・身体活動	運動習慣者の割合を増やそう	17.9	18.0	19.3	35	1次計画策定時(17.1%)の2倍 「生活習慣に関する調査」で運動習慣がある(週2回以上1回30分以上の運動を1年以上継続している)と答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	△
	意識的に運動する人の割合を増やそう	59.7	58.9	59.2	70	1次計画策定時(62.6%)の1割増加 「生活習慣に関する調査」で意識的に運動をいつもしている人と時々していると答えた人の合計割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	×
	歩数計を使用している人の割合を増やそう	7.8	12.7	19.3	8.6	2次計画策定時(基準値)の1割増加 「生活習慣に関する調査」で歩数計を使用していると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	◎
	60歳以上の人で積極的に外出する人の割合を増やそう	72.0	71.1	66.5	80	1次計画策定時(70.4%)の1割増加 「生活習慣に関する調査」で積極的に外出すると思うと答えた人の割合(60歳以上) 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	×
	70歳以上の人で地域活動をしている人の割合を増やそう	39.3	38.9	30.2	49	1次計画策定時(38.9%)の1割増加 「生活習慣に関する調査」で地域活動をしていると答えた人の割合(70歳以上) 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	×
	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している人の割合を増やそう	—	23.7	25.0	80	国の目標値と同じ 「生活習慣に関する調査」でロコモティブシンドロームを認知している人(言葉だけ、言葉も意味も)の割合 中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	—

基準値、中間評価、最終評価、目標値の単位は%(ただし、自殺死亡率とがん、脳血管疾患、虚血性心疾患の標準化死亡比を除く)

国の目標値は、健康日本21または健康日本21(第2次)の目標値

領域	課題目標	基準値 H22年度	中間評価 H29年度	最終評価 R4年度	目標値	目標値の考え方	最終評価 判定
休養・こころの健康	自殺死亡率を減らそう(人口10万対)	31.2	17.5	18.3	23.4	H22年の管内自殺死亡率が、H22年の全国自殺死亡率の1.3倍であることからH22年の全国自殺死亡率を目標値とした 人口10万対の管内自殺死亡率(和歌山県人口動態統計の概況) 基準値:H22年度、中間評価:H28年度、最終評価:R2年度	◎
	ストレスを感じた人の割合を減らそう	56.6	57.4	57.9	45	1次計画策定時の目標値と同じ 現状から1割減少させる(国の考え方) 「生活習慣に関する調査」で直近1か月間にストレスを非常に感じたと感じたと答えた人の合計割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	×
	十分な睡眠がとれている人の割合を増やそう	34.1	30.6	30.8	40	1次計画策定時の目標値と同じ 睡眠による休養を十分とれている人の割合に、十分ではないがとれている人の割合の1割を加算した割合 「生活習慣に関する調査」で睡眠による休養を十分とれていると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	×
	認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率を増やそう	—	—	—	10	国の目標値と同じ 介護予防事業における認知機能低下ハイリスク高齢者の割合(スクリーニング時の「基本チェックリスト」で、認知症関連3項目のうち1項目以上に該当する場合) H22年度、H29年度、R4年度全てにおいてデータなし(H27年度の介護保険制度改正により指標の把握が困難となった)	—
酒	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合を減らそう 多量飲酒習慣のある人(≧純アルコール摂取量60g)	全体 5.9	4.7	5.8	4.7	2次計画策定時(基準値)の2割以上の減少(国の考え方と同じ) ※健康日本21では多量飲酒者(純アルコール摂取量≧60g/日)を2割減少とし、健康日本21(第2次)では、多量飲酒者(純アルコール摂取量が、男性≧40g/日、女性≧20g/日)を15%減少と定義している 「生活習慣に関する調査」で現在飲酒習慣がありかつ多量飲酒(純アルコール摂取量が≧60g/日)していると答えた人の割合 ※()内は純アルコール摂取量が男性≧40g/日、女性≧20g/日の人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	△
		男 12.3	9.4 (21.0)	11.7 (21.2)	9.9		△
		女 0.8	1.2 (7.0)	1.3 (7.5)	0.6		×
	適度な飲酒量を知っている人の割合を増やそう	33.4	33.1	30.3	100	1次計画策定時の目標値と同じ 「生活習慣に関する調査」で飲酒の適量を知っていると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	×
	アルコールが及ぼす健康影響について知っている人を増やそう					1次計画策定時の目標値と同じ 「生活習慣に関する調査」でアルコールを飲むと影響があると思うと答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	100
	肝臓障害	90.8	89.9	91.6	△		
	すい炎・糖尿病	73.4	75.4	76.9	△		
	心臓病	53.7	57.6	60.8	△		
	高血圧	70.1	73.6	73.4	△		
	胃腸障害	61.0	64.6	66.8	△		
	がん	47.7	52.9	56.7	△		
	脳機能障害	48.0	51.8	58.4	△		
	睡眠障害・うつ病	35.8	42.6	49.2	△		
依存症	74.7	77.9	80.5	△			
未成年者の飲酒をなくそう(20歳未満)	—	—	—	0	国の目標値と同じ(20歳未満の者の喫煙の禁止に関する法律で定められているため) H22年度、H29年度、R4年度全てにおいてデータなし	—	
妊娠中の飲酒をなくそう	—	2.2	0.6	0	国の目標値と同じ(胎児性アルコール症候群や胎児の発達障害の予防のため) 管内の妊婦飲酒率(母子保健に関する実施状況調査乳幼児健康情報システム) 中間評価:H28年度、最終評価:R2年度	—	

領域	課題目標	基準値 H22年度	中間評価 H29年度	最終評価 R4年度	目標値	目標値の考え方	最終評価 判定	
たばこ	成人の喫煙習慣のある人を減らそう(20歳以上)	18.5	14.4	13.2	8	1次計画策定時の目標値と同じ(達成できなかったため同じ目標値を設定した) 喫煙者のうち65%がたばこをやめることができると仮定している 「生活習慣に関する調査」で、現在喫煙していると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	○	
	未成年者の喫煙をなくそう(20歳未満)	16.9 (17.1)	16.6	15.8	0	国の目標値と同じ(20歳未満の者の喫煙の禁止に関する法律で定められているため) 管内の未成年者喫煙(経験)率(成人式調査結果概要報告書) 基準値:H24年度、中間評価:H28年度、最終評価:R元年度 ※()内は、みなべ町を含む割合	△	
	妊娠中の喫煙をなくそう	6.5	2.0	3.0	0	国の目標値と同じ(出産時の低体重や流産・早産の予防のため) 管内の妊婦喫煙率(たばこに関するアンケート(妊娠届出時)) 基準値:H22年度、中間評価:H28年度、最終評価:R元年度	○	
	喫煙が及ぼす健康影響について知っている人を増やそう							
	肺がん	95.4	93.4	95.0	100	1次計画策定時の目標値と同じ 「生活習慣に関する調査」でたばこを吸うとかかりやすくなると思うと答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	×	
	喘息	76.2	83.3	85.1			△	
	気管支炎	82.0	87.1	89.2			△	
	心臓病	63.4	66.4	68.0			△	
	脳卒中	65.0	72.3	70.7			△	
	胃潰瘍	49.2	52.7	55.0			△	
	妊娠に関連した異常	76.1	83.0	81.7			△	
	歯周病	49.2	58.8	60.2			△	
	喫煙対策をする職場を増やそう	72.5	78.1	87.0	100	1次計画策定時の目標値と同じ(健康増進法第25条(受動喫煙の防止)が定められたため) 「生活習慣に関する調査」で働いている人のうち職場は何らかの喫煙対策(誰も吸っていない、禁煙、分煙)をしていると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	○	
	喫煙対策をする家庭を増やそう	80.2	88.2	91.1	100	1次計画時は普及啓発として100%を目指す、住居等の問題で分煙できない個人の状況を勘案して目標値を90%以上に設定し、2次計画策定時には100%に変更した 「生活習慣に関する調査」で家庭で何らかの喫煙対策(喫煙者なし、家で吸わない、家族の居る場所では吸わない)をしていると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	○	
歯・口の健康	う歯のない幼児の割合を増やそう(3歳児)	68.8	75.2	81.4	80	国の目標値と同じ むし歯のない者の割合(3歳児) 母子保健事業実施状況報告(3歳児歯科健康診査管理報告書) 基準値:H22年度、中間評価:H28年度、最終評価:R3年度	◎	
	う歯のない学童の割合を増やそう(小学生)	67.7	74.2	81.1	73	2次計画策定時(基準値)に5%以上の上乗せ う歯のない者の割合(小学生)(永久歯のみ) 学校保健統計調査結果(児童生徒の体位疾病調査結果) 基準値:H22年度、中間評価:H28年度、最終評価:R3年度	◎	
	歯科検診を受ける人の割合を増やそう	50.2	56.4	56.3	65	国の目標値と同じ 「生活習慣に関する調査」で過去1年間に歯科検診を受けたと答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	△	
	健康な歯を保つため、歯石除去や歯面清掃を受ける人の割合を増やそう	37.7	45.6	47.6	43	2次計画策定時(基準値)に5%以上の上乗せ 「生活習慣に関する調査」で過去1年間に予防処置(歯石除去や歯面清掃など)を受けたと答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	◎	
	デンタルフロスや歯間ブラシ等の歯間部清掃用器具を使用する人の割合を増やそう	32.3	47.6	50.7	50	国の目標値と同じ 「生活習慣に関する調査」で歯間部清掃用器具(デンタルフロス、歯間ブラシなど)を使用していると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	◎	
	80歳以上で20本以上の歯を有する人の割合を増やそう	14.7	23.5	28.0	50	国の目標値と同じ 「生活習慣に関する調査」で80歳以上の人で現在の自分の歯の本数が20本以上と答えた人の割合(8020達成者の割合) 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	△	
	60歳代で24本以上の歯を有する人の割合を増やそう	42.1	55.3	62.1	70	国の目標値と同じ 「生活習慣に関する調査」で60歳代で現在の自分の歯の本数が24本以上と答えた人の割合(6024達成者の割合) 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	○	
	歯肉炎のある学童の割合を減らそう(小学生)	15.3 (小学生) 24.0 (小学6年生)	26.3 (小学生)	11.4 (小学生) 15.4 (小学6年生)	20 (小学6年生)	2次計画策定時(基準値:24.0%)の約4人に1人の有症者の割合を5人に1人の割合に減らす 歯肉炎のある者の割合(小学生でG0及びGを持つ者) 学校保健統計調査結果(児童生徒の体位疾病調査結果) 基準値:H22年度、中間評価:H28年度、最終評価:R3年度	— (小学生) ◎ (小学6年生)	
	フッ化物洗口を実施している施設の割合を増やそう	11.3	18.8	21.9	25	2次計画策定時(基準値)の2倍以上の増加 フッ化物洗口を実施している施設(保育所、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校)の割合 県健康推進課調査結果 基準値:H24年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	○	

領域	課題目標	基準値 H22年度	中間評価 H29年度	最終評価 R4年度	目標値	目標値の考え方	最終評価 判定
	がんの死亡率を減らそう	男 113.9	99.2	103.6	100	男性:国のSMR以下 女性:基準値(2次計画策定時の現状値)維持 人口動態統計 基準値:H18~22年度SMR、中間評価:H23~27年度SMR、最終評価:H28~R2年度SMR	○
		女 97.8	103.3	92.7	97		◎
生活習慣病	がん検診の受診率を高めよう					国の目標値と同じ 各がん検診受診率(地域保健・健康増進事業報告) 基準値:H22年度、中間評価:H27年度、最終評価:R2年度	
	胃がん検診	19.9	15.1	20.5	40	対象年齢は40歳以上(子宮頸がん検診は20歳以上) 胃がん検診の受診者数(R2) 子宮及び乳がん検診の受診者数(H22、H27、R2) (当該年度受診者数)+(前年度受診者数)-(2年連続受診者数)	△
	肺がん検診	28.7	26.5	23.0	40	※基準値、中間評価、最終評価全てにおいて、対象者数(国勢調査を基に算出した推計対象者(年齢上限なし))と受診者数(対象年齢の全住民(年齢上限なし))により算出【H22年度基準値の算出方法に合わせた】	×
	大腸がん検診	20.4	23.2	21.1	40	※推計対象者数=市町村人口-(就業者数-農林水産業従事者数) ※中間評価時の値は、年齢上限あり(69歳以下)で算出していたため、今回基準値と比較するため中間評価時の値を算出し直した	△
	子宮頸がん検診	33.0	31.9	32.2	50		×
	乳がん検診	40.1	32.0	33.9	50	(参考) H23→H24対象者が年齢上限なしから69歳以下に変更 H26→H27対象者数が推計対象者から全住民に変更	×
	がん検診の精密検査受診率を高めよう					1次計画策定時の目標値と同じ 各がん検診精密検査受診率(地域保健・健康増進事業報告) 基準値:H21年度、中間評価:H26年度、最終評価:R元年度 ※基準値、中間評価、最終評価全てにおいて、要精密検査者数(年齢上限なし)と精密検査受診者数(年齢上限なし)により算出 ※中間評価時の値は、年齢上限あり(69歳まで)で算出していたため、今回基準値と比較するため中間評価時の値を算出し直した	
	胃がん検診	82.3	75.0	92.6	100		○
	肺がん検診	71.1	94.7	92.4		○	
	大腸がん検診	67.2	70.2	74.6		△	
	子宮頸がん検診	92.5	86.2	93.3		△	
	乳がん検診	90.1	95.8	98.0		○	
脳血管疾患・虚血性心疾患の死亡率の増加をおさえよう					基準値(2次計画策定時の現状値)維持 保健所事業概要(虚血性心疾患は本計画のため独自に算出) 基準値:H18~22年度SMR、中間評価:H23~27年度SMR、最終評価:H28~R2年度SMR ※中間評価時の虚血性心疾患の値には、その他虚血性心疾患を含めていなかったため、今回基準値と比較するため中間評価時の値を算出し直した		
脳血管疾患標準化死亡率(男性)	85.7	91.8	93.3	85		×	
脳血管疾患標準化死亡率(女性)	91.5	102.1	96.4	91		×	
虚血性心疾患標準化死亡率(男性)	64.6	73.2	139.8	64		×	
虚血性心疾患標準化死亡率(女性)	65.5	89.0	137.6	65	※虚血性心疾患は、急性心筋梗塞とその他の虚血性心疾患の合計	×	
特定健診・特定保健指導の実施率を高めよう					第二期医療費適正化計画の目標値と同じ 特定健康診査実施率、特定保健指導終了者率 市町村国保・国保組合特定健康診査受診状況、特定保健指導実施状況(市町国保集計) 基準値:H22年度、中間評価:H27年度、最終評価:R3年度		
特定健診の実施率	27.0	32.4	38.6	60		△	
特定保健指導の実施率	22.3	33.8	40.0	60		△	
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合を増やさないようにしよう	25.5	25.6	28.5	25	2次計画策定時(基準値)以下 内臓脂肪症候群該当者+内臓脂肪症候群予備群者の割合 特定健診・特定保健指導実施結果集計表(県集計) 基準値:H22年度、中間評価:H27年度、最終評価:R2年度	×	
健診で血圧が高いと指摘される人を増やさないようにしよう(40歳以上)	44.3	45.8	48.5	40	1次計画策定時の目標値と同じ(達成できなかったため同じ目標値を設定した) 「生活習慣に関する調査」で健診で血圧が高いと言われたことがあると答えた人の割合(40歳以上) 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	×	
高血圧治療継続者の割合を高めよう	92.7	94.2	94.1	100	高血圧治療者は治療を継続する必要がある 「生活習慣に関する調査」で健診において血圧の治療が必要と言われ治療を受けていると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	△	
脂質異常症(高脂血症)有病率を減らそう	28.2	28.7	21.3	15	1次計画策定時の目標値と同じ(達成できなかったため同じ目標値を設定した) 「生活習慣に関する調査」で健診において脂質異常症(高脂血症)と言われたことがあると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	○	
脂質異常症(高脂血症)治療継続者の割合を高めよう	78.8	83.9	81.8	100	脂質異常症(高脂血症)治療者は治療を継続する必要がある 「生活習慣に関する調査」で健診において脂質異常症(高脂血症)の治療が必要と言われ治療を受けていると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	△	
糖尿病有病率の増加をおさえよう	12.4	14.0	15.9	12	2次計画策定時(基準値)以下(今後増加が予想される中で増やさない) 「生活習慣に関する調査」で健診において糖尿病または血糖が高いと言われたことがあると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	×	
糖尿病治療継続者の割合を高めよう	90.0	93.8	93.0	100	糖尿病治療者は治療を継続する必要がある 「生活習慣に関する調査」で健診において糖尿病の治療が必要と言われ治療を受けていると答えた人の割合 基準値:H22年度、中間評価:H29年度、最終評価:R4年度	△	

6 健康日高21推進協議会設置要綱

健康日高21推進協議会（日高地方地域・職域連携推進協議会）設置要綱

（目的）

第1条 広域的に住民の健康づくりに関する意識の向上を図り、健康日高21計画を総合的かつ効果的に推進することを目的とし「健康日高21推進協議会（日高地方地域・職域連携推進協議会）」（以下「推進協議会」という）を設置する。

（組織）

第2条 推進協議会は、別表1に掲げる機関及び団体の代表者等で組織する。

2 推進協議会に事業の推進に関する企画立案等を行うための「専門部会」（以下「部会」という）を設置する。

（事業）

第3条 推進協議会は、健康日高21事業計画を推進するため次の事業を行う。

- （1）推進協議会の運営
- （2）市町における健康づくり活動の支援
- （3）健康づくりのための環境整備の推進
- （4）その他目的達成に必要な事業

（役員）

第4条 推進協議会には会長、副会長及び監事を置く。

- 2 会長には御坊保健所長があたり、副会長は会長が選任する。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故等があった場合はその職務を代理する。
- 5 監事は、御坊市健康福祉課長及び日高郡町村会長が所属する町の保健福祉担当課長が当たる。

（会議）

第5条 推進協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 推進協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 推進協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（専門部会）

第6条 会長は、必要に応じて部会を設け、かつ招集し、議長となる。

- 2 部会の構成員は、会長が選任し、必要に応じて委員以外の者を構成員とすることができる。

（経費）

第7条 経費は、各市町の分担金、その他をもってこれに充てる。

(会計年度)

第8条 会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。

(庶務)

第9条 推進協議会の庶務は、御坊保健所におく。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会の運営に関する必要事項は、会長が別に定める。

附則

この要綱は、平成15年 6月27日から施行する。

この要綱は、平成18年 4月 1日から施行する。

この要綱は、平成20年 6月 5日から施行する。

この要綱は、平成21年 5月29日から施行する。

この要綱は、平成23年 5月16日から施行する。

この要綱は、令和 元年 5月30日から施行する。

この要綱は、令和 2年 6月25日から施行する。

健康日高 2 1 推進協議会機関及び団体 (日高地方地域・職域連携推進協議会機関及び団体)

- ・ 日高医師会
- ・ 日高歯科医師会
- ・ 日高薬剤師会
- ・ 在宅栄養士会
- ・ 母と子の健康づくり運動協議会日高支部
- ・ 日高食生活改善推進協議会
- ・ 日高食品衛生協会
- ・ NPO食と健康を考える会
- ・ 日高郡老人クラブ連合会
- ・ 日高地方学校保健会
- ・ 御坊市公立幼稚園園長会
- ・ 紀州農業協同組合
- ・ 御坊商工会議所
- ・ 御坊労働基準監督署
- ・ 全国健康保険協会和歌山支部
- ・ 御坊市
- ・ 美浜町
- ・ 日高町
- ・ 由良町
- ・ 印南町
- ・ 日高川町
- ・ 御坊保健所

みんなで進めよう！ 健康日高21(第2次)
「健康日高21(第2次)」最終評価報告書

発行 令和5年3月
健康日高21推進協議会

連絡先 健康日高21健康推進協議会事務局
(御坊保健所)
〒644-0011
和歌山県御坊市湯川町財部 859-2
TEL 0738-22-3481 (代表)
FAX 0738-23-3004